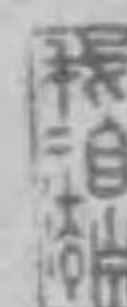


1250-29



穉
穉

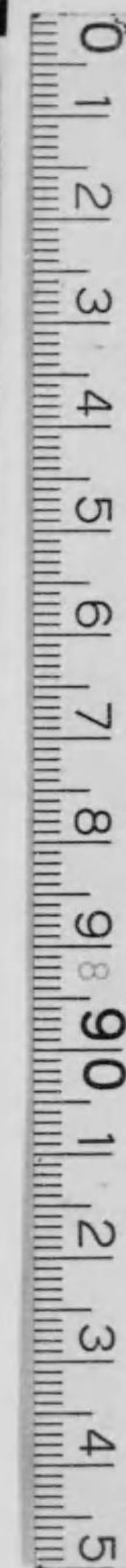


穉
穉

大正丙辰秋
新平題



大正
5. 11. 8
内交



圖



指

菊

緘

丙辰九月

貞義題



序

今次臺灣總督府は時勢の要求に應じ汽船會社をして南洋一帶に定期の航路を擴張せしめ其處女航海に當り南洋觀光團の組織せらるゝあり五十有餘の團員は親しく風土人情將又農商工業等の實況を視察し彼我意思の疏通を圖り相互の經濟關係を密接にし以て將來に於ける平和幸福の増進に資せんが爲め比律賓、ボルネオ、セレベス、瓜哇、海峽殖民地、印度支那及南支一帶の地を巡遊す蓋し近時の壯舉たるを失はず茲に團員拓殖新報社長吉武源五郎君歸來觀光記念寫真帖を上梓して廣く江湖に紹介せんこそ今や世界有史以來の變局に際會し國民正に大に覺醒を要するの秋外は以て東洋の平和幸福を増進し内は以て大國民として健全なる發達を期し治く海外の智識を周知するは寔に刻下の急務たり本書を觀る者爲めに感奮興起する所あらんか幸何者か之れに如かん

于時

大正丙辰歲秋九月下旬

海南 下村 宏

序

曩きに大阪商船會社主催の南洋南支觀光團中には余亦一員として加はりたりき。六十餘名の團員が濶き曠き南洋に、一葉の汽船を朝夕の天地として起臥を共にし、一つ竈の飯を取り、上陸してはホテルを同ふし行くには汽車を同ふして、面白き話を交はしつゝ、六十日餘の長き旅行を俱にしけるは、余が生涯中の忘れ難き一事に屬す、定めて我團員諸君も亦余と感を同くせん。

凡そ日本人の僻として多人數集まれば、或は小き黨を樹て互に好悪の感何角に觸れて現はれ勝にて、兎角不愉快に流れ易き例なるが、今回長日子の旅行中にはさせる不快事は一たびこて起らず團員相互の初對面の多きに拘らず、親しく打解けて情は宛がら兄弟の如くに温かりしは實に深く記念すべき事柄なりき。而かも余は此一事を回想する毎に中心深く欣快を禁ずる能はず。

團員吉武君見る所ありて南洋南支寫眞帖を調製して之を公けにす。同帖が我々の家族や友人に海陸長旅行の土産話の好參考となるは言ふ迄も無く斯の如き寫眞帖の坐右に在ることは愉快なる記念を毎に新にする所以なるべし。左れば本帖は南洋南支一般の美化的説明の一資料として單に智識的價值あるのみならず、又一種言ふべからざる甘味をも併せ與ふるものに非ず哉。

十月上旬

新渡戸 稻造

本帖發行の辭

今や一代の人心は舉て南向せんごし、本邦の産業并に民族的南方發展の潮流は滔々奔漲將に天を衝かんごす。此時に方り弊社の南洋南支寫真帖を世に公にする、豈に無用の業ならんや。

曩に臺灣總督府は國際時局の革進に稽へ、本邦の經濟的勢力の南方扶殖と、航海權の南洋擴大の急務なるを察し、大阪商船會社をして去四月より新に南洋航路を開始せしむるに前ち、先づ南洋南支觀光團を舉行せしむ。此團に加はる者東京、大阪、神戸、臺灣其他各地の財力又は知識階級者六十名餘多士濟々の概あり。蓋し團體としての一種のバオニアと稱するを害げず弊社亦此行に參し、僕は寫真技師を伴ひ南方六大殖民地到る處の風光、民俗、交通、殖産乃至歴史的特徴の跡に就て撮影を試み、歸來材題の選擇に意を用ゐて寫真帖を編す。窃かに現時の問題たる南方説明の一縮圖たらしめむと同時に、有形無形の間國際的好反響を揚げたる我觀光團の一記念たらしめむことを期す。

此れ片々たる小帖に過ぎずと雖も、覽者にして若し靈犀の眼光を放たば或は三百年來南方列國殖民地の興廢盛衰の由來を尋ね、且つ將來邦人の對南方經綸畫策上の一筌蹄たるも亦知るべからず。

大正五年十月九日

東京、拓殖新報社編輯局ニ於テ

吉 武 源 五 郎

南洋南支寫眞帖目次

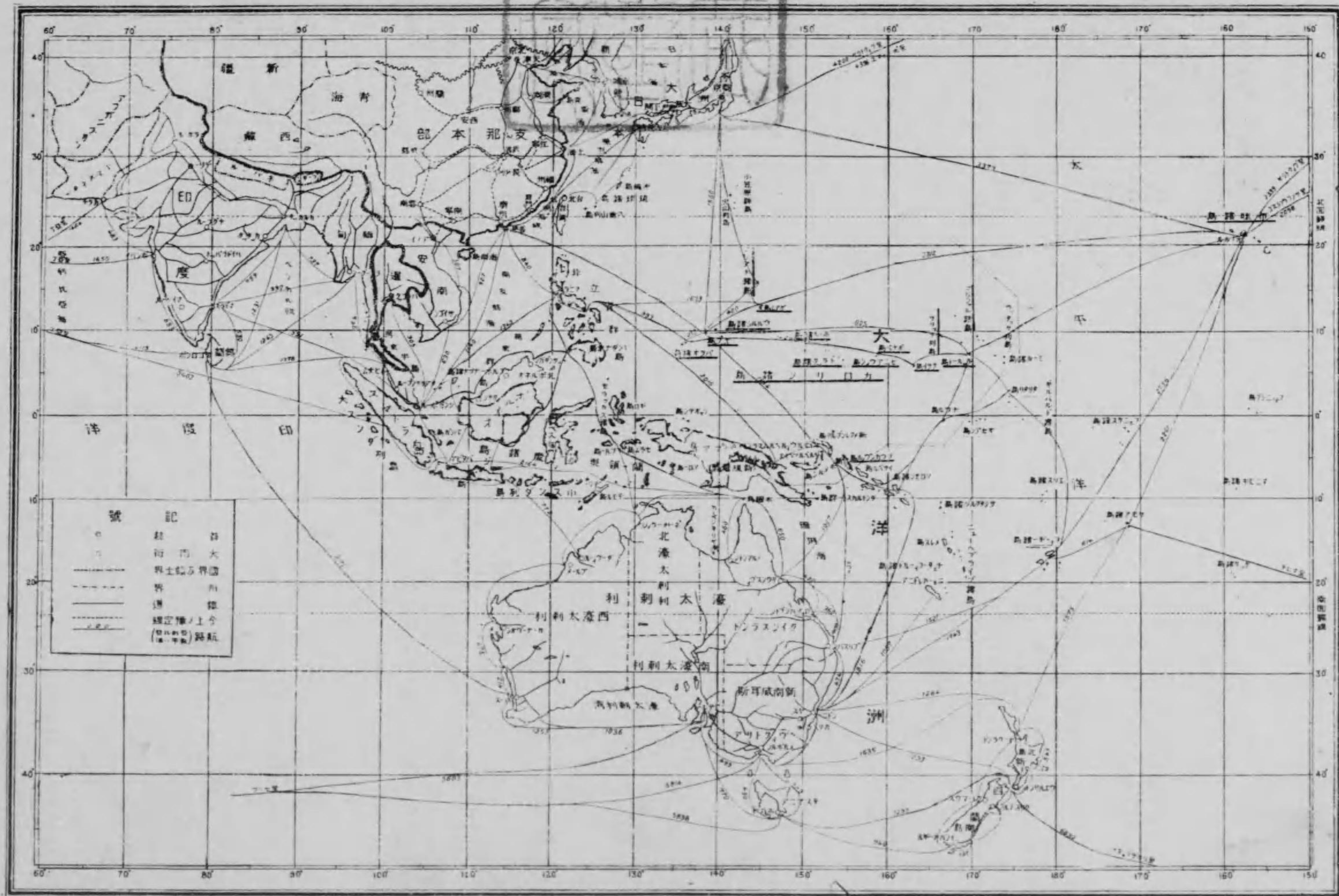
- 後藤内務大臣題字
- 安東臺灣總督題字
- 下村民政長官序文
- 新渡戸^農法學博士序文
- 本帖發行の辭
- 南洋南支那地圖
- 臺灣總督府廳舎
- 奉迎門と迎賓館
- 兒玉後藤記念博物館
- 臺灣銀行臺北本店
- 閑院宮殿下橋仔頭御休息所
- 新高丸の打狗發纜
- 觀光團マニラ上陸とマニラホテル歡迎會
- マニラホテル前の日米比人の會同
- リザールの記念塔——マニラ水族館
- 水族館内の珍色奇形の魚族
- 比律賓島の煙草烟と煙草工場
- 盛裝の比島土人娘と白骨墓地
- 比島人の米搗と田舎の稻刈り
- マニラ麻の原料乾燥とアバカの繁茂
- マニラ市の天刑病院と闘鶏場
- 比島山中の土人部落——新舊式土人學校
- 土人公學校生の手工と椰子實割り
- 觀光團ザンボアング上陸と招待會
- ザンボアング地方官衙と教會堂
- 出稼邦人の眞珠採集船——太田君の店
- モロー民族の住屋と同巡查
- 船中講演
- 帝國軍艦對馬とサンダカン上陸
- 英領北ボルネオの政廳と土人の水上住み
- 南洋の銘酒屋
- 久原鑛業會社のタワオゴム園
- 同ゴム園内の記念寫眞
- ゴム園中の光景
- 理事官と觀光團の歡迎會
- セレベス島メナド港景
- メナド町の光景
- 南洋の日光—トモホンの學校
- 赤道祭と假裝
- マカツサル市理事官邸
- マカツサル在留邦人と歡迎會
- 同地方の民屋と水田
- 椰子油製造工場とホテル
- スラバヤ市官民の日人歡迎
- 同市知事と副知事
- 同市の支那人成功者等
- 三井物産會社出張所
- 官邸内の大榕樹
- 蘭人並に土人小學校
- スラバヤ政廳と知事官邸
- 瓜哇の汽車と其設備
- 同鐵道沿線の所見
- スマラン港と税關
- 同市の光景とホテル
- 同理事廳と理事官
- スマラン鐵道本部と兵營

- 同地の臺灣籍民成功者と歡迎場
- 製糖工場と幹部
- ソロ王妃兩殿下と王城
- ソロ王城の入口
- 同博物館所見
- 郭春秧と觀光團午餐會
- 瓜哇土人の奏樂と頭巾巻き
- 熱帯地の甘き果物類
- ジョクジャ市街と水城
- 瓜哇更紗の製造とサロリン
- 土人芝居―花婿花嫁
- ボルドボアの名蹟佛舍利塔
- 同塔前の觀光團集合
- 同塔組立の部分説明
- 瓜哇の踊り兒―小供
- バンドンの政廳と高山鐵道
- 同回々教寺院
- 同市に於ける邦人雜貨店
- 舊バタバアの停車場と河船
- 郊外の凱旋門―壁上の梟首
- 帝國領事館と留愛碑
- ホテルインデス樹下の集團
- ウエルトフレードンの鐵道と美術館
- ポーラン山上の大茶園
- パイテンゾルク植物園の景趣
- 總督官邸と大運池
- 藤畑と無花果種
- チボータス高山植物園の樟林
- シンガポアの帝國領事館と園遊會
- 同市の臺銀社宅と三井社宅

注意 註中説明書の文字に多少の誤植あり再版の際訂正すべし

- 藤井領事と高木新渡戸兩博士
- 同地の邦字新聞南洋日々社
- 同地の馬來人の住家と民風
- 馬來の獅子と土人娘
- 西貢の總督官邸と公園
- 同兵營と新聞社
- 西貢市立大劇場と寺院
- シヨローンの宮殿と巨船
- 香港港の光景
- 香港總督府と記念像
- 同市中の所見
- 同獄舎と土人船
- 雨奇晴好の香港灣
- 廣東の租界と古塔
- 同地の臺灣銀行支店
- 廣東の裁判所と阿片吸食
- 同地郊外の所見
- 汕頭の帝國領事館と在留邦人
- 同館庭前と觀光團
- 同地の邦人小學校と臺灣籍民生徒
- 廈門の帝國領事館と在留邦人
- 同地の臺灣籍民公會堂と歡迎會
- 廈門の東瀛學院と臺灣公會
- 同地の港景畫の如し
- 基隆港と停車場前
- 臺灣總督府の南洋南支觀光團歸府歡迎
- 臺灣鐵道ホテル
- 下村民政長官邸と觀光團有志
- 臺北梅屋敷と大阪商船會社の張宴
- 南洋南支觀光團六十名外船員諸君の各地小照

南洋全圖

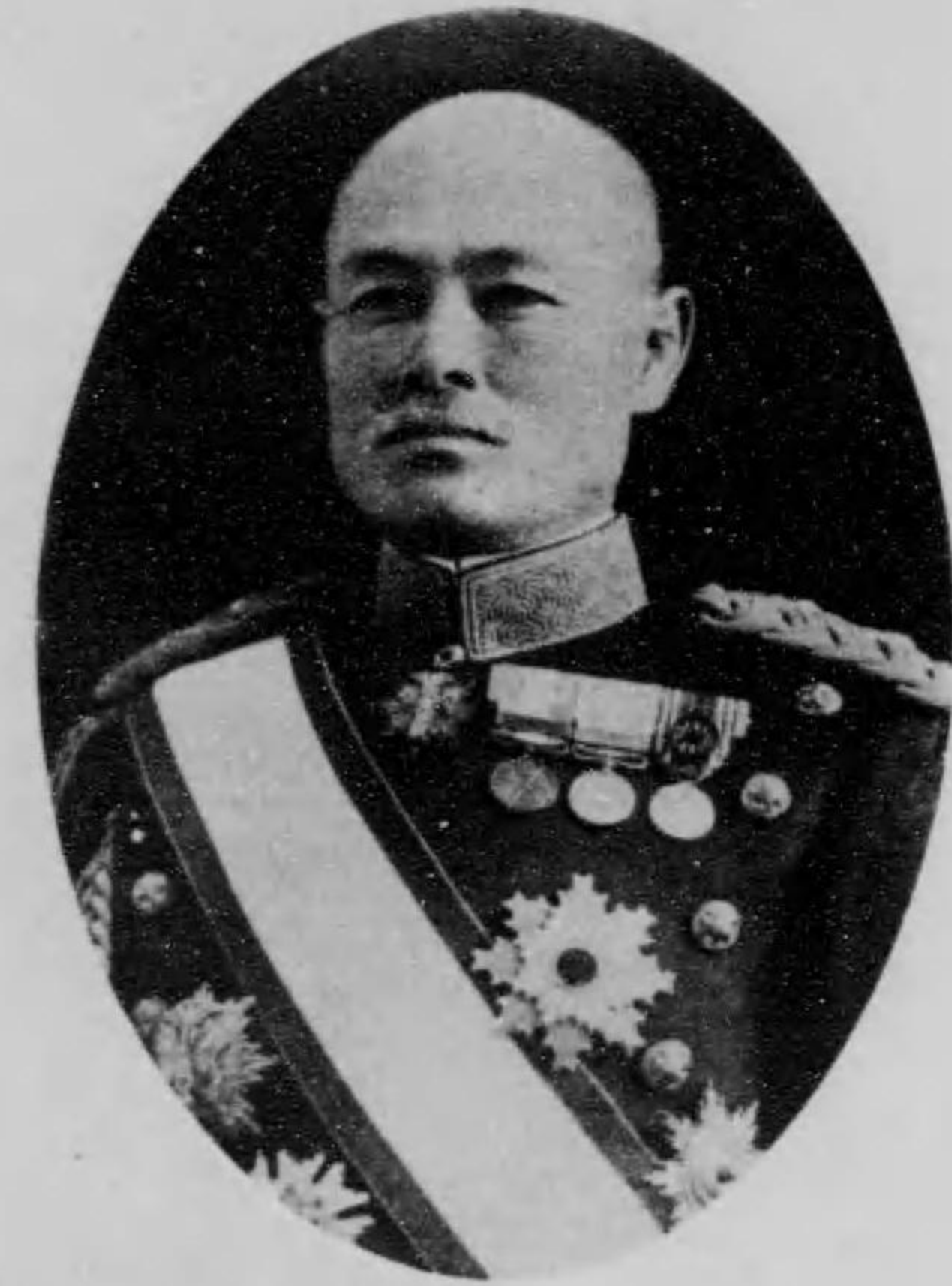


○同市の支線社宅と三井社宅
 注意 帖中説明書の文字に多少の誤植あり再版の際訂正すべし
 ○南洋南支線光國六十名外船員諸君の各地小照



同總督府民政長官下村宏氏

(るらて充に場會一第時當會進共業産)



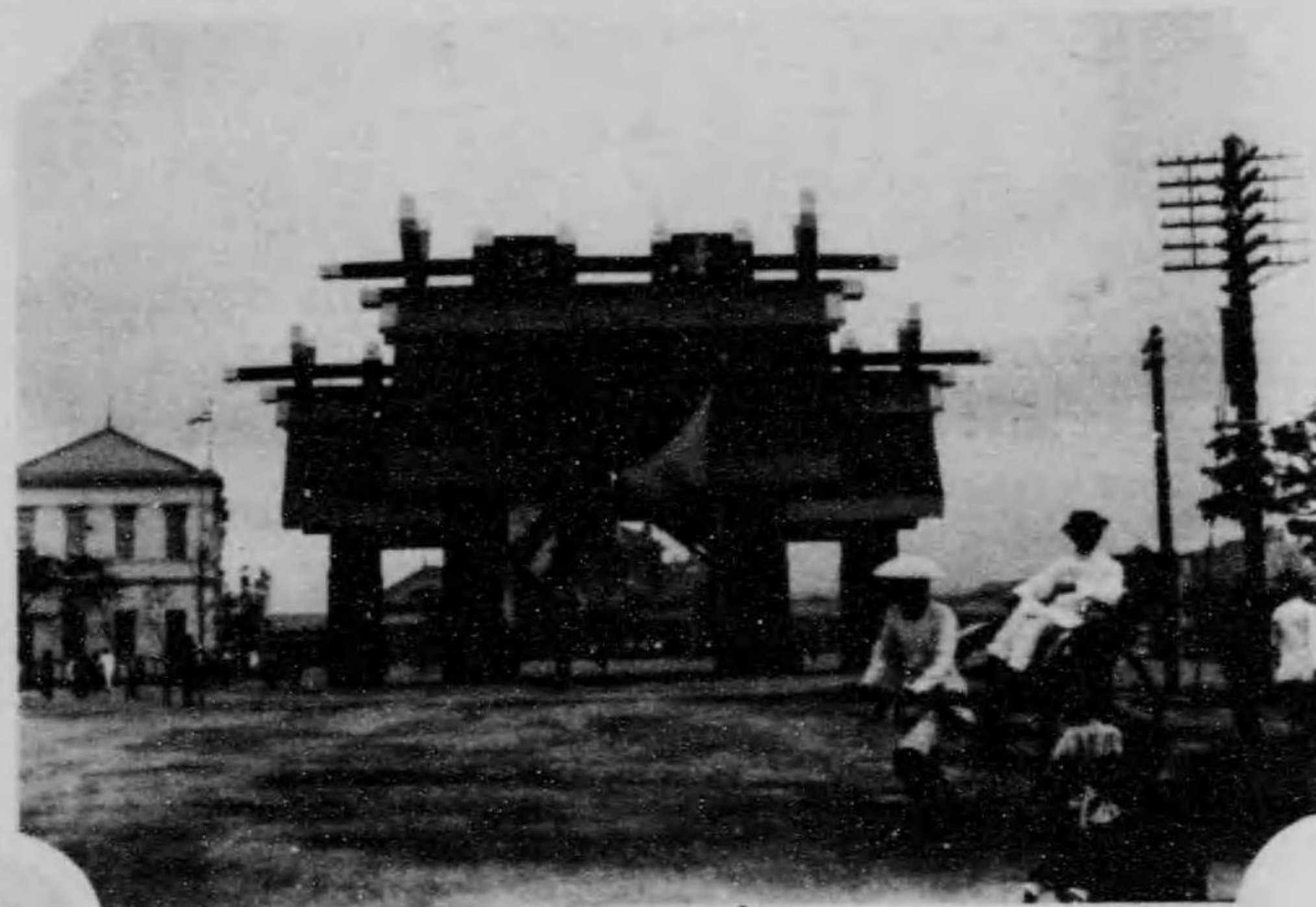
臺灣總督男爵安東貞美氏



北臺—舍廳府督總灣臺の築新



迎 賓 館



奉 迎 門

去四月十日より五月十七日迄臺灣
勸業共進會開設の際臺北鐵道停車
場前に奉迎門を建てられ第二會場
には迎賓館新に成りぬ

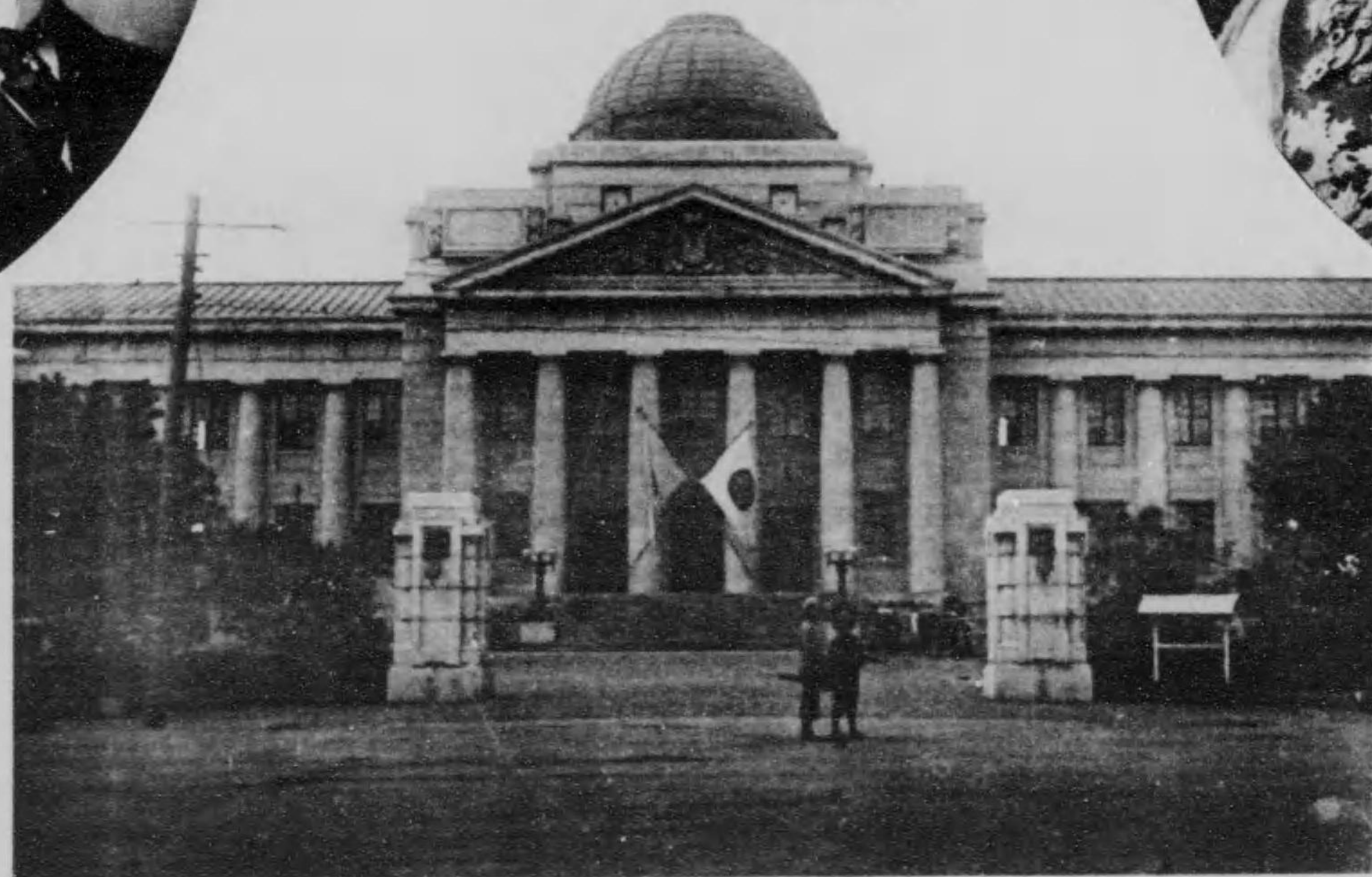


故臺灣總督陸軍大將伯爵 兒玉源太郎卿

博物館は臺北新公園に在り故
兒玉總督と後藤民政長官との
臺灣統治上の功績を記念する
爲めに全臺の官民より三十餘
萬金を醸出し以て建設したる
ものにて當年兩大官の治蹟は
千歳不朽に傳ふるを得ん



前臺灣總督府民政長官
現內務大臣兼鐵道院總裁男爵 後藤新平氏



日當式會開會進共北臺—館物博念記藤後玉兒



臺灣銀行頭取
櫻井鐵太郎氏

臺灣銀行は明治三十二年
九月二十六日の創立にか
ゝり資本金總額、二千萬
圓。臺灣支那南洋歐州及
内地に支店出張所を有す
ること總べて二十六個所
金融機關として國際間に
信用と勢力を年々著く擴
大しつゝあり。



臺灣銀行副頭取
中川小十郎氏



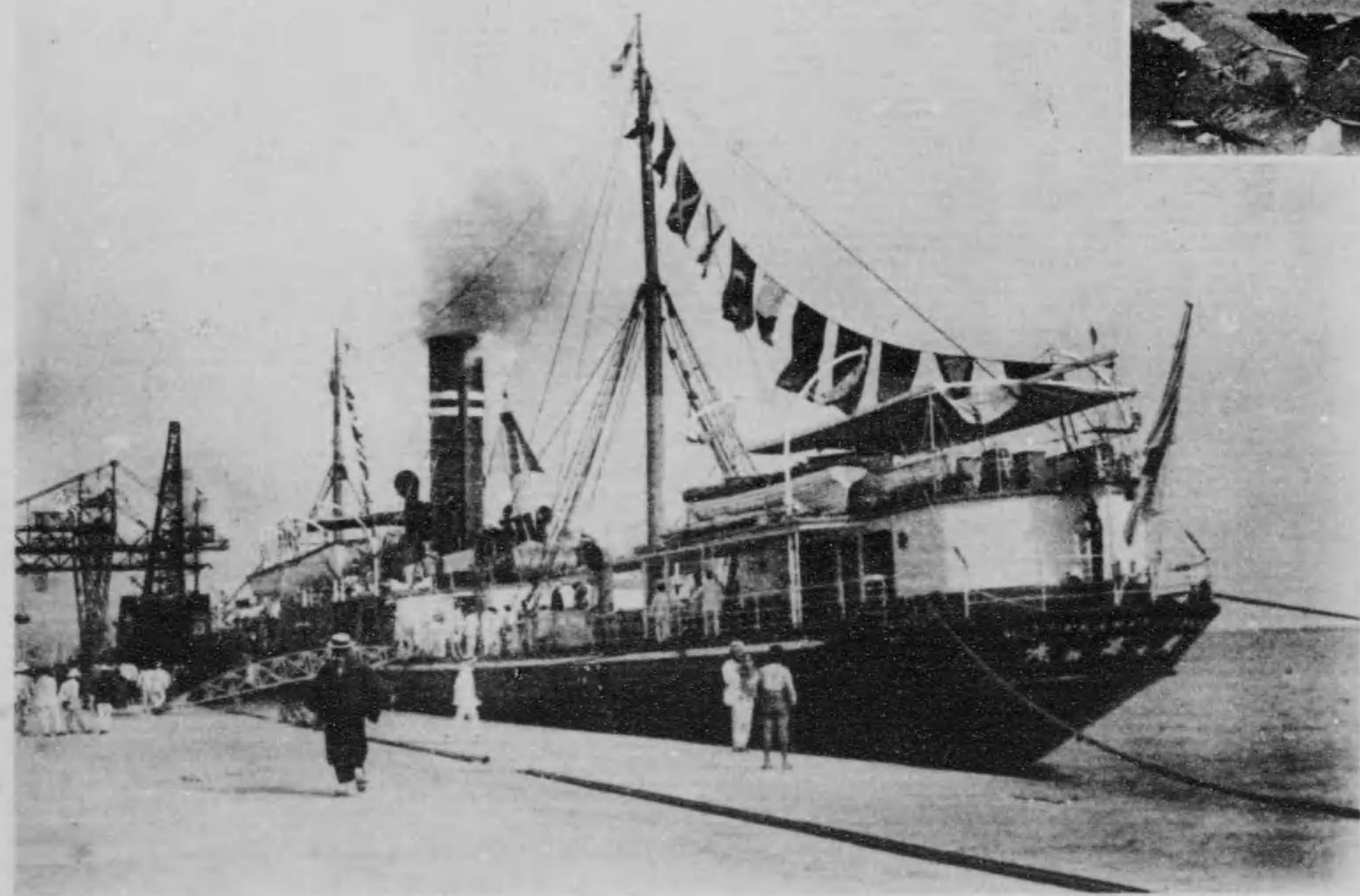
臺灣銀行本行一店臺北



所息休御の際しれらせら成に塙工頭仔橋社會糖製灣臺際の臨台會進共業產灣臺月四去の下殿宮院閑



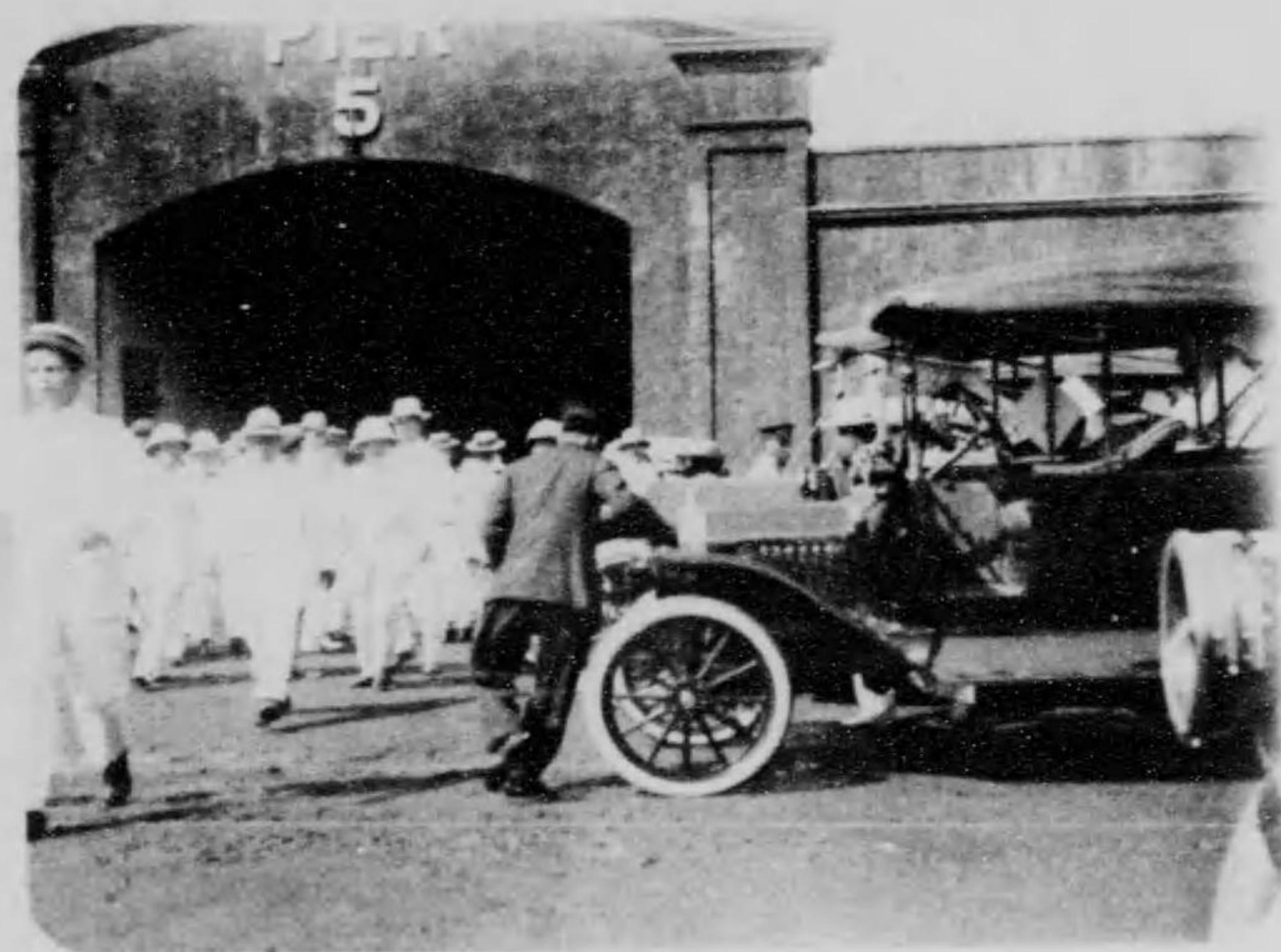
打狗の市街は戸
 數千五百餘人口
 四千六百餘水を
 隔てたる旗後街
 は戸數千五百三
 十餘人口六千七
 百餘を數ふ



打 狗 の 市 街

臺灣總督府曩に工を起し
 て打狗港の口巨巖を除去
 し港内を浚渫し、突堤を
 築き最新式倉庫を設け水
 陸連絡成り三千噸級の巨
 船岸壁に横着す帝國南端
 の輸出港として偉大なる
 將來を有す。

大阪商船會社新高丸と打狗港一正五年四月二十六日打狗解纜南洋處女航に就く

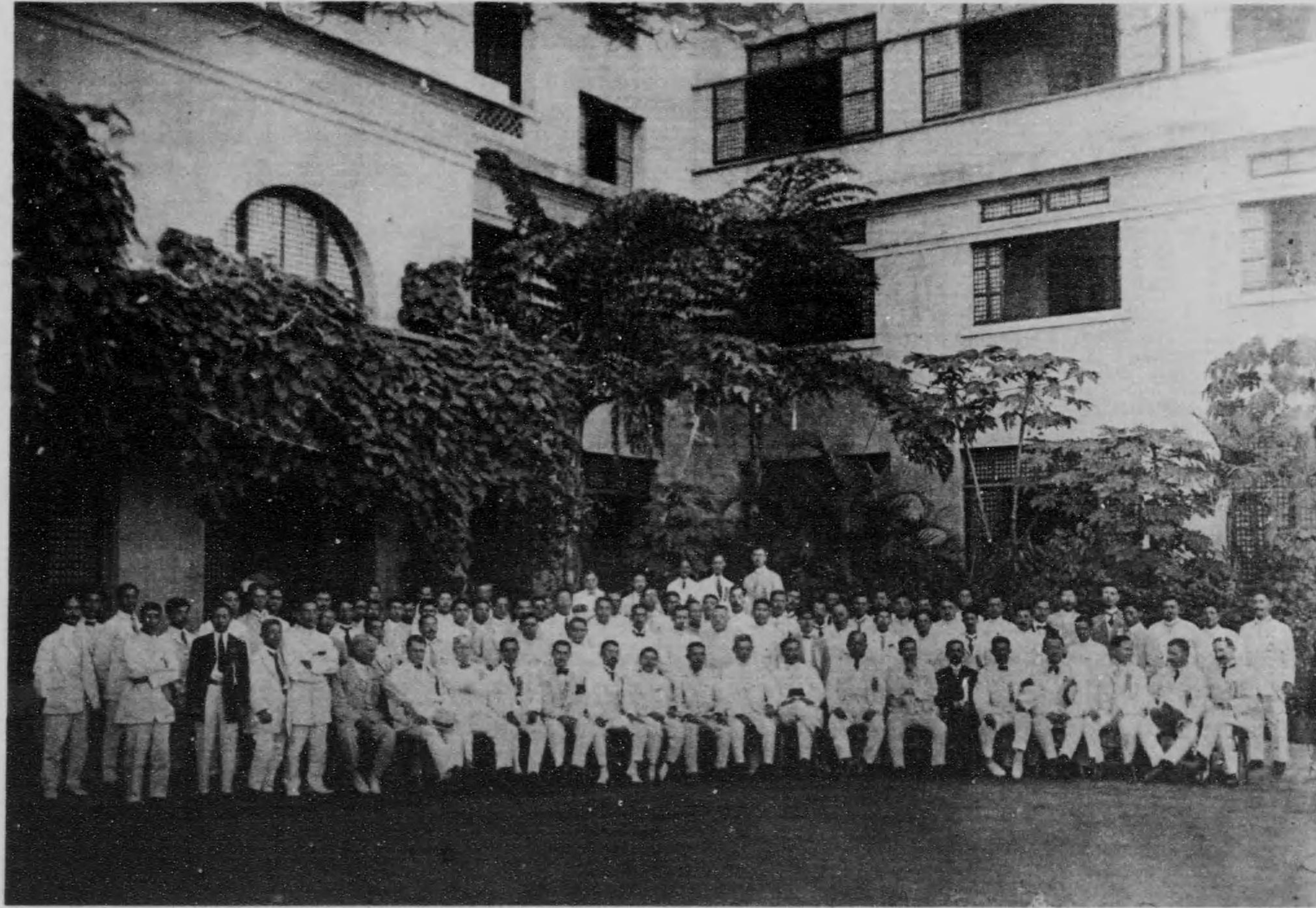


陸上ラニマの團光觀

南洋南支觀光團の四月二十九日朝
 マニラ港に上陸するや同市の米日
 官民代表者の盛大なる歓迎あり三
 十臺の自動車を提供して視察用に
 充てらる



會迎歡員團のて於にルテホラニマ



同會のと人邦留在地同にルテホラニマの團光觀支南洋南



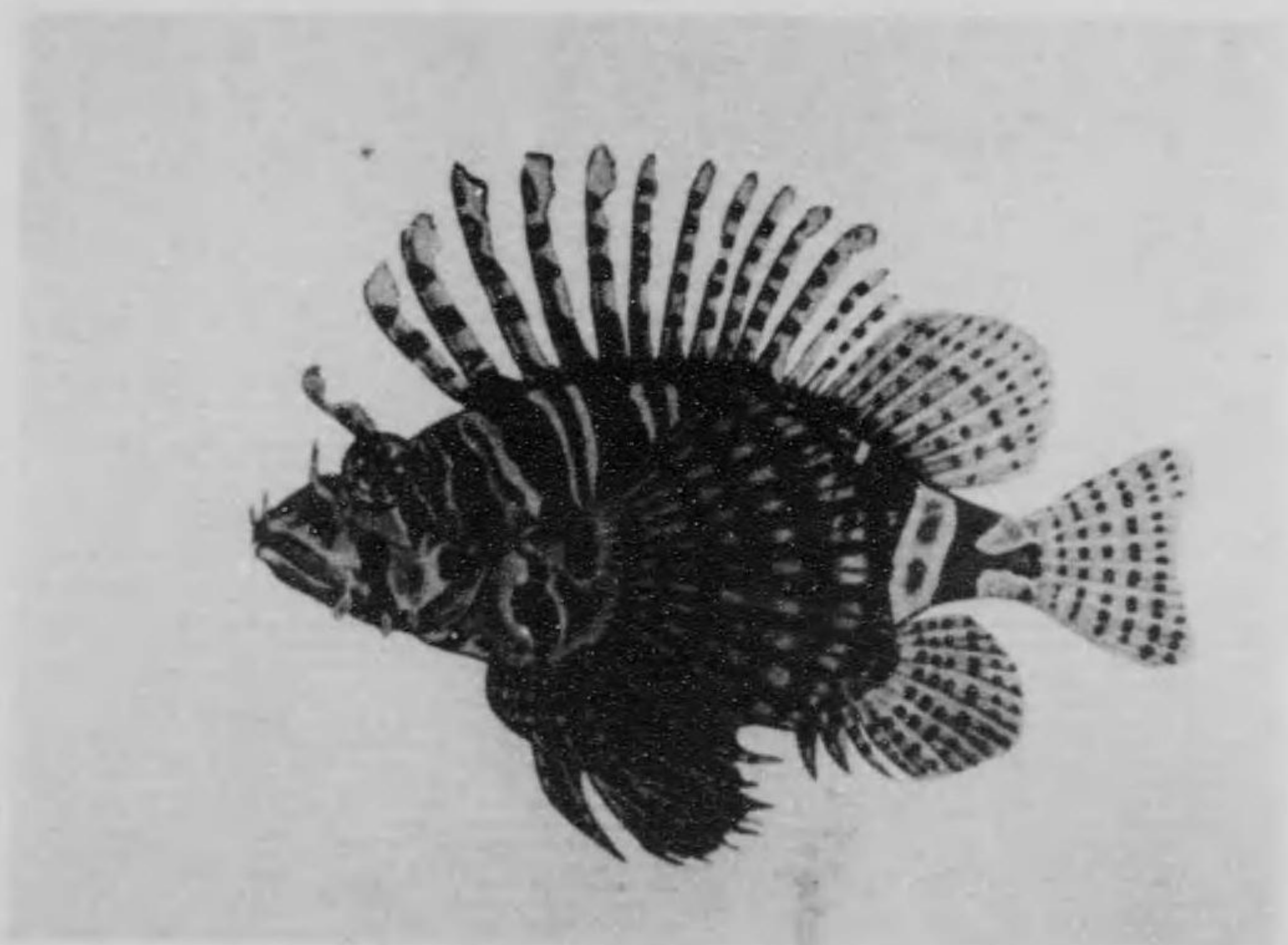
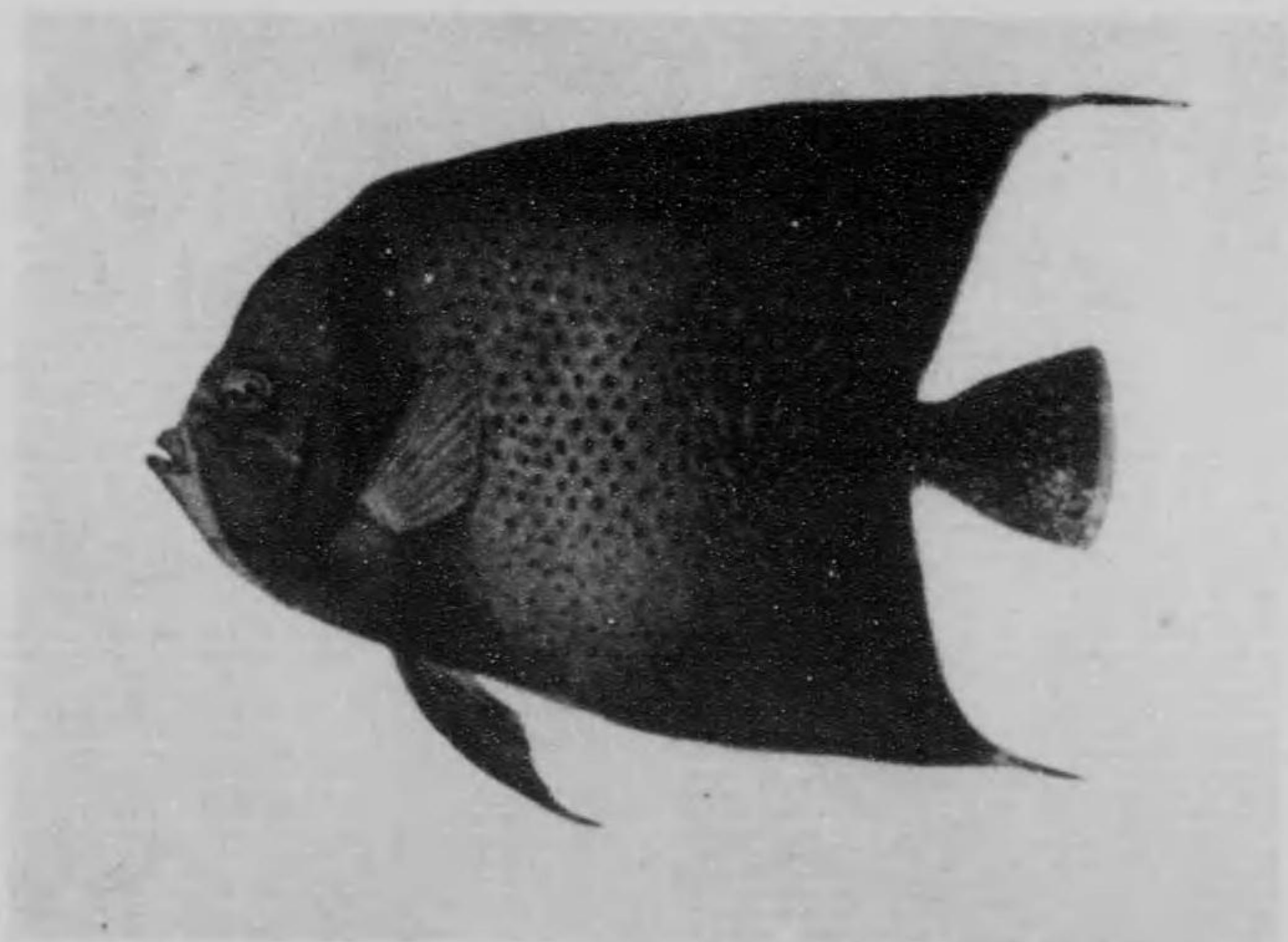
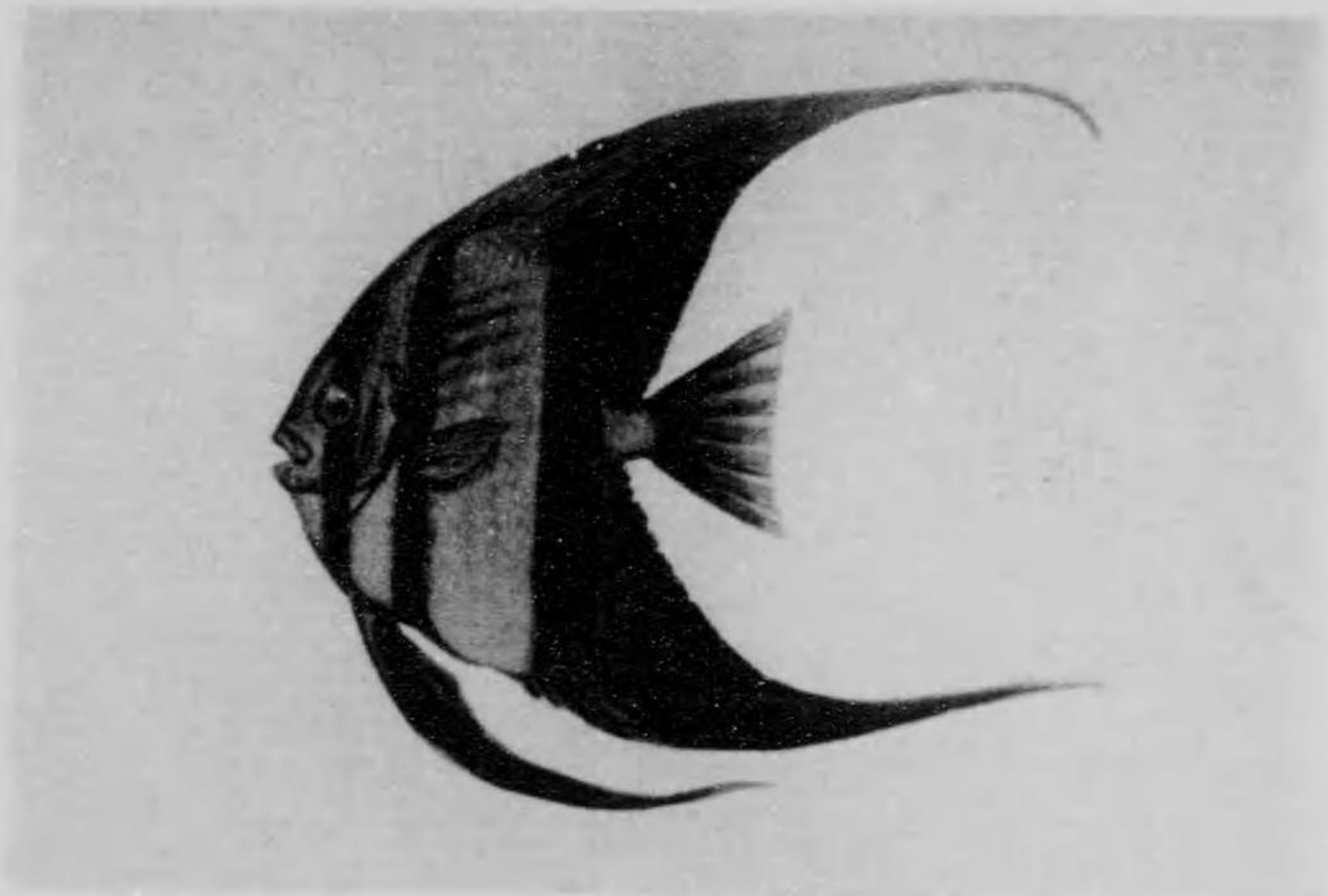
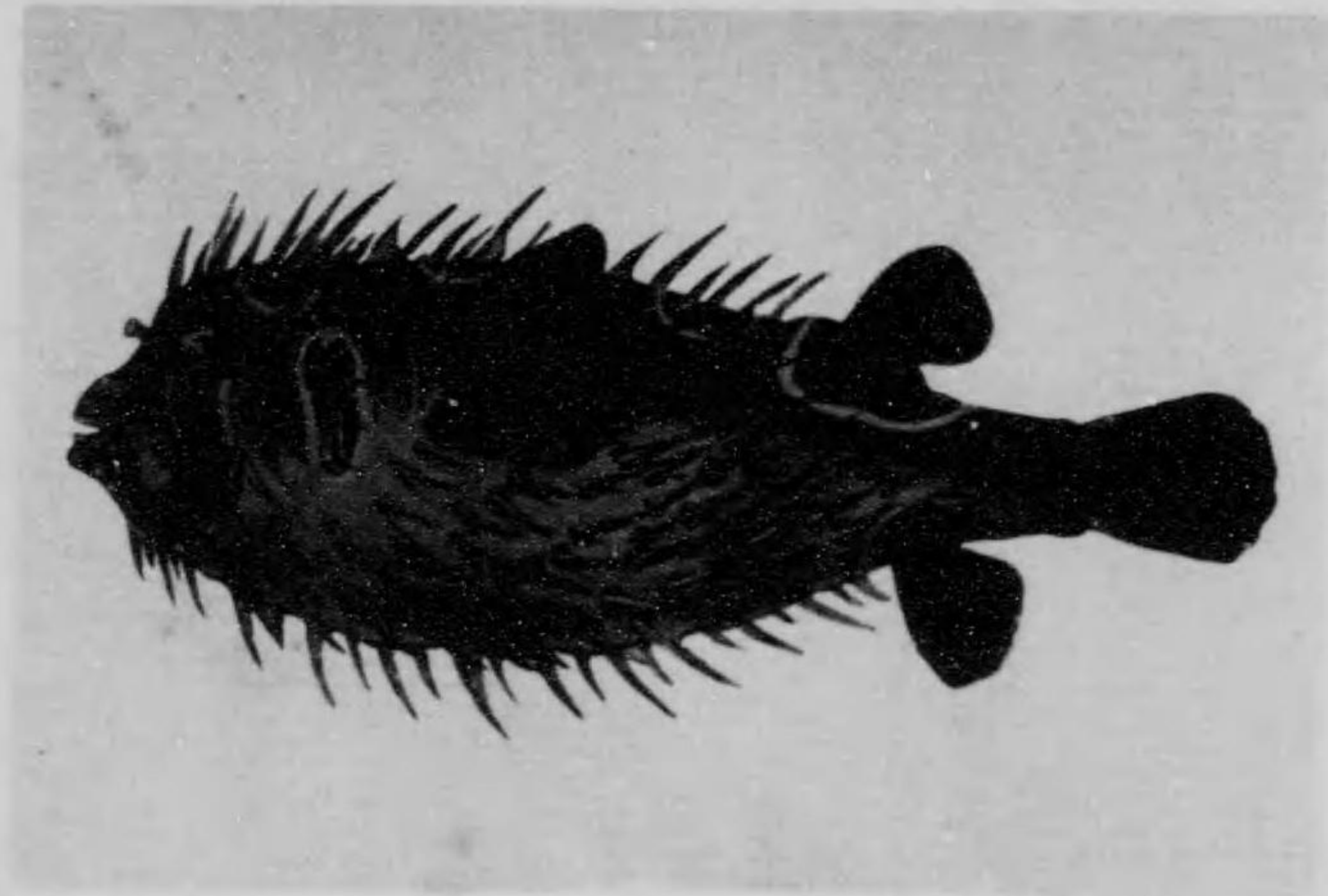
壁城舊



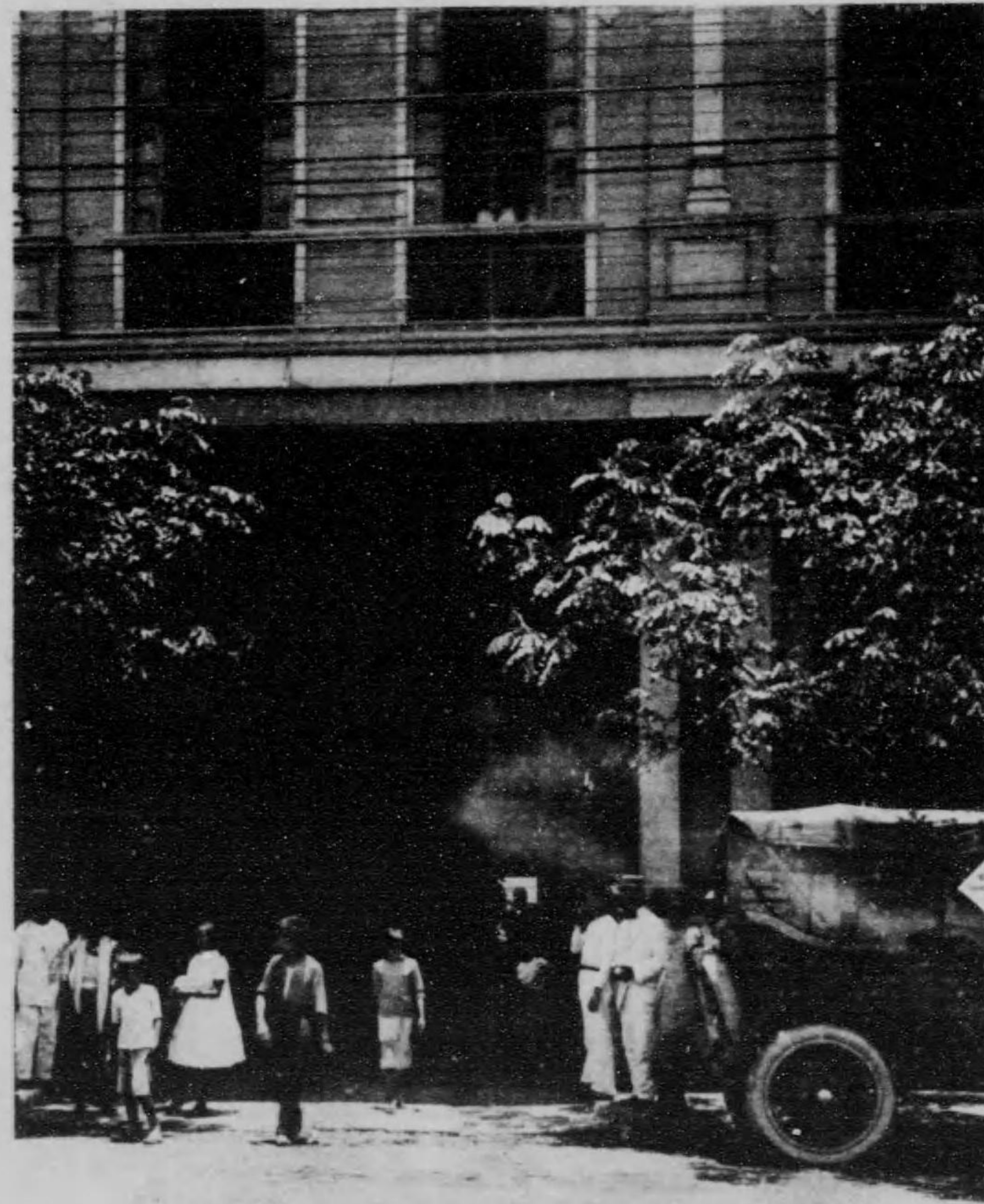
館族水市ラニマ



を立獨に代時領牙班西の島比はルーザリ——塔念記のルーザリ
りた物人心中の拜崇人士もか而るらせ處に刑死すら成てり謀



比島マニラ市の水族館内なる珍奇魚の族



場工草煙ルナミルゲるな市ラニマ



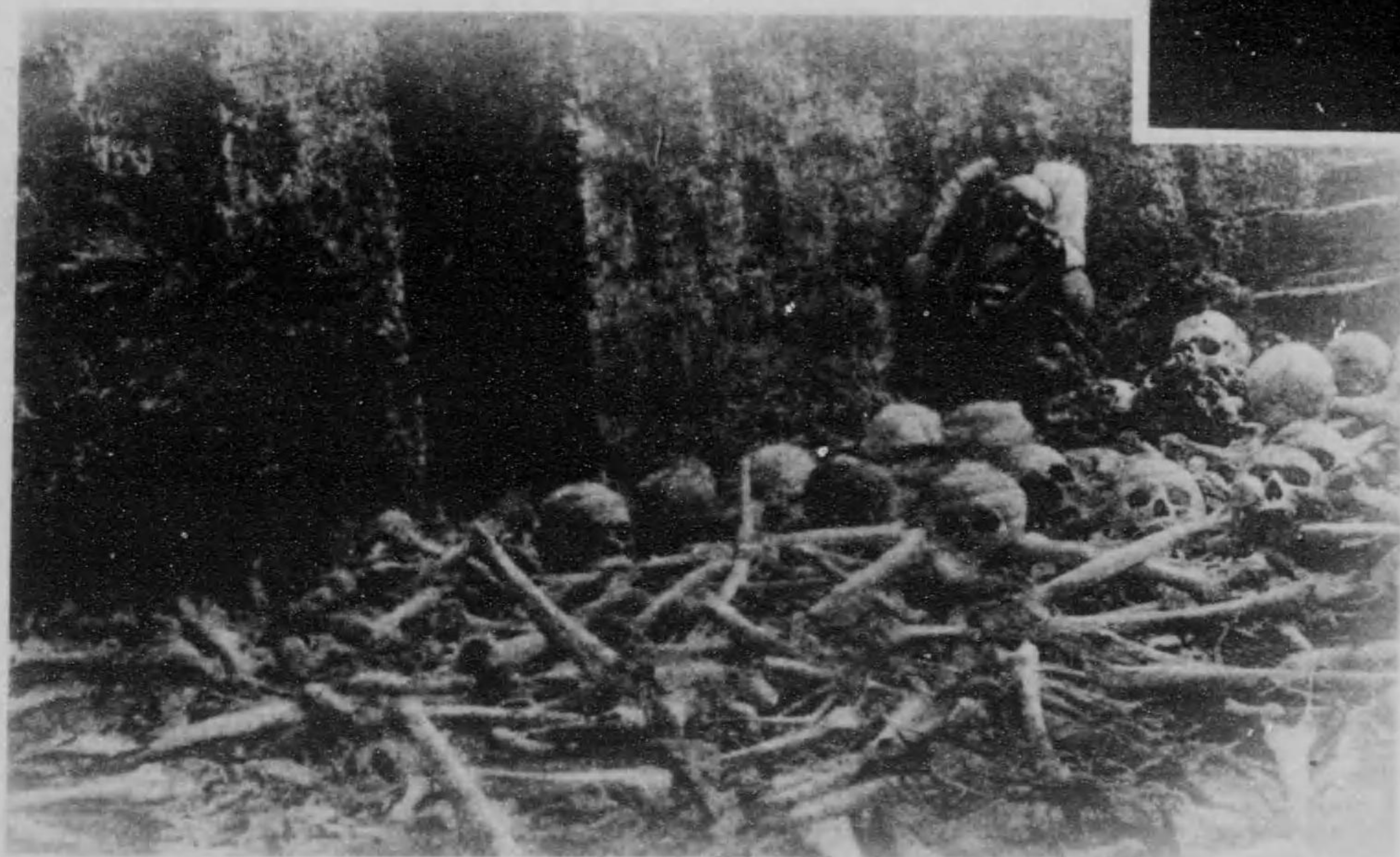
聲名に共と名のブーロラニマは草煙ラニマ——畑草煙の島賓律比
てめ始師教宣牙班西末の紀世六十りな一の物産特島比き高に界世
餘本億三額總出産の草煙巻葉年三一九一りなのもるせ入輸



子女の齡妙人土賓律比るせ裝盛

色
即
是
空

南洋方面渡航者中機
械手寫真師理髮業者
乃至大工左官の如き
一定の職業を有する
者は南洋到處に白人
又は土民間に悦はれ
て比較的成功に近つ
けりと稱すべきもの
あり。無資力にて特
定の伎倆を有せず脛
一本腕一本の者の渡
南は再參考を要す



煙の片一上山部北——地墓るた々壘骨骸の外郊市ラニマ島比



比律賓人の米搗



マニラの郊外民家

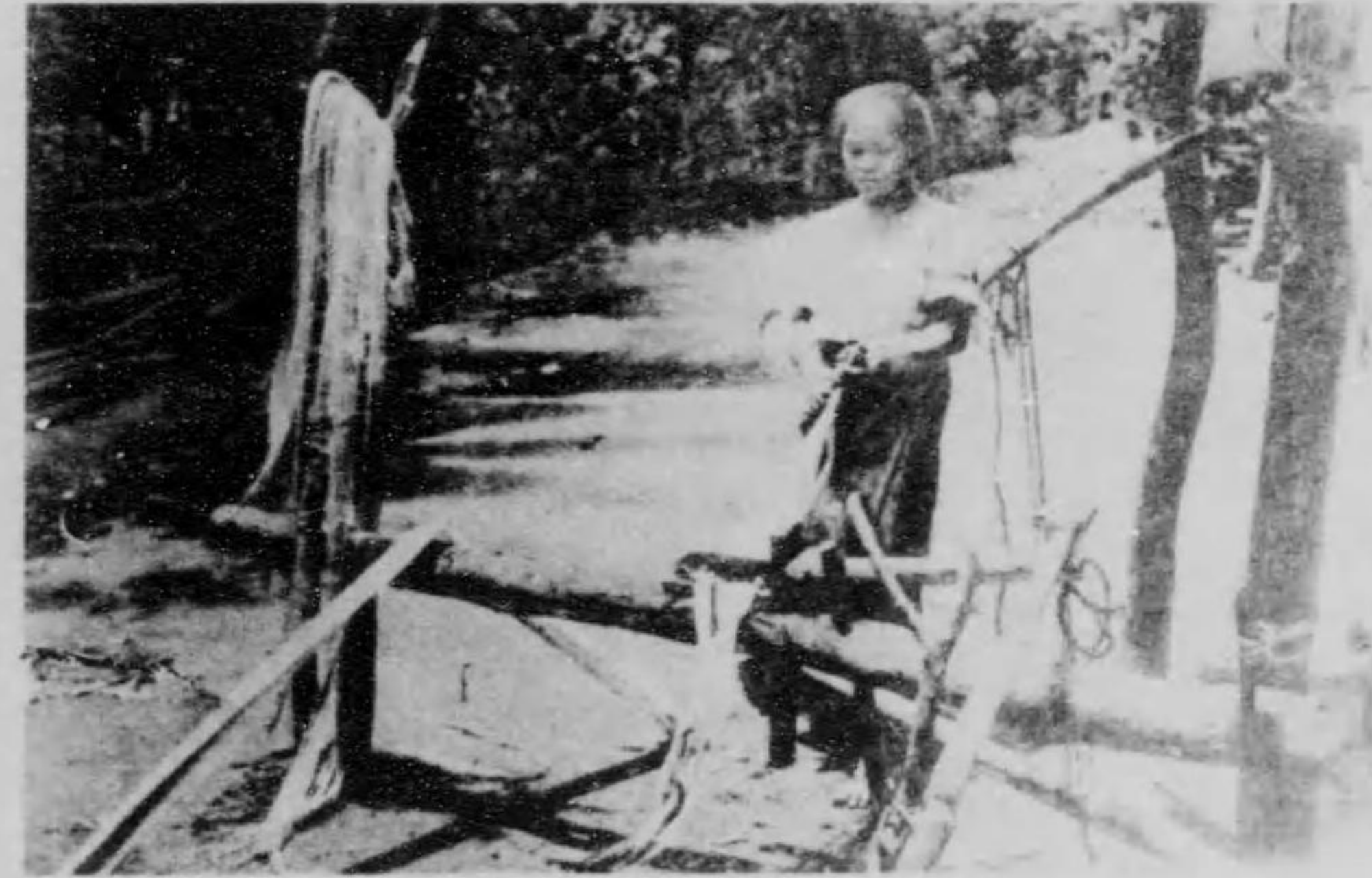


マニラの田舎の稲刈り

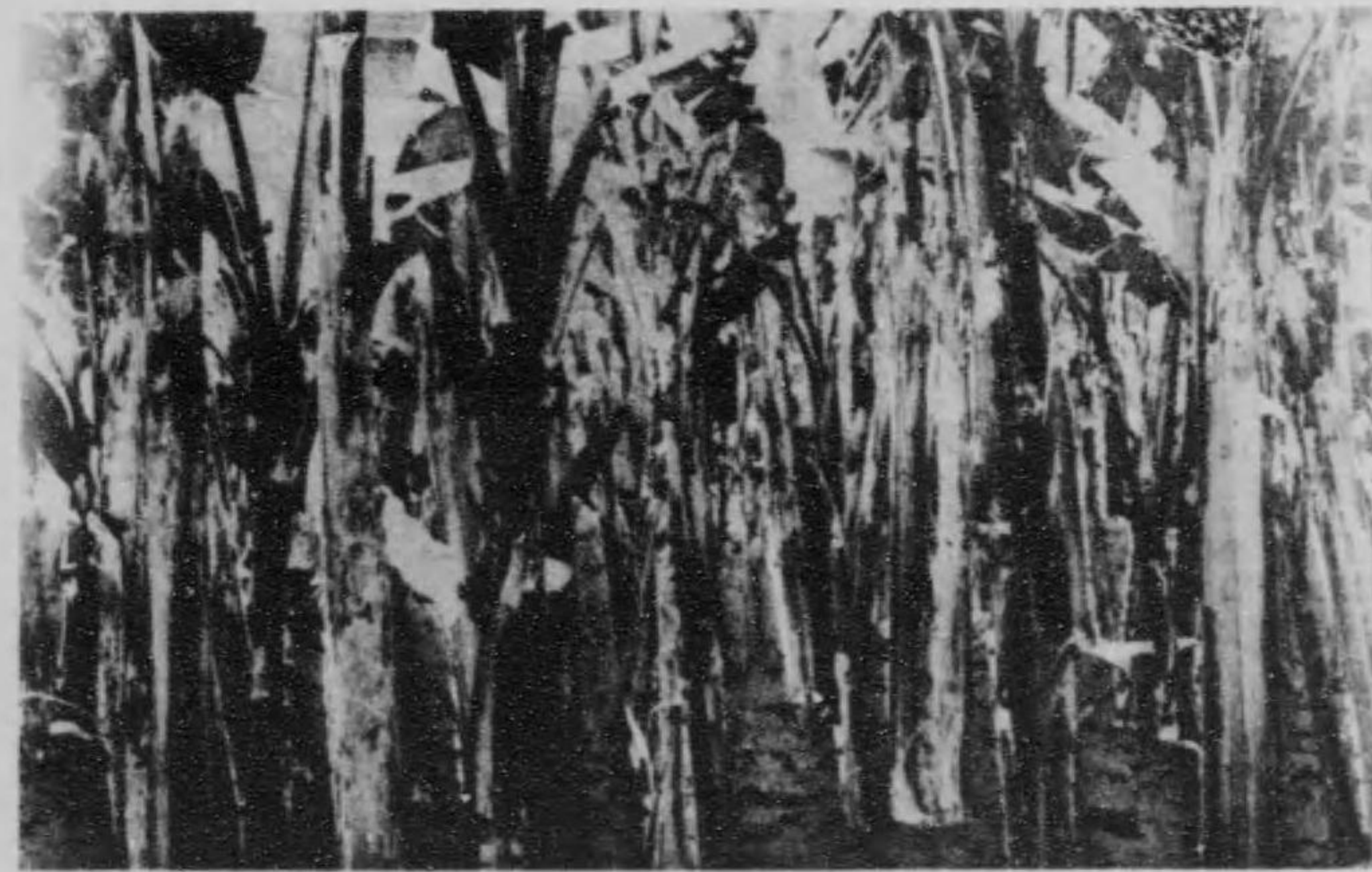


すか乾を科原の麻ラニマ

る採を維織のカバア人土



態状茂繁カバア



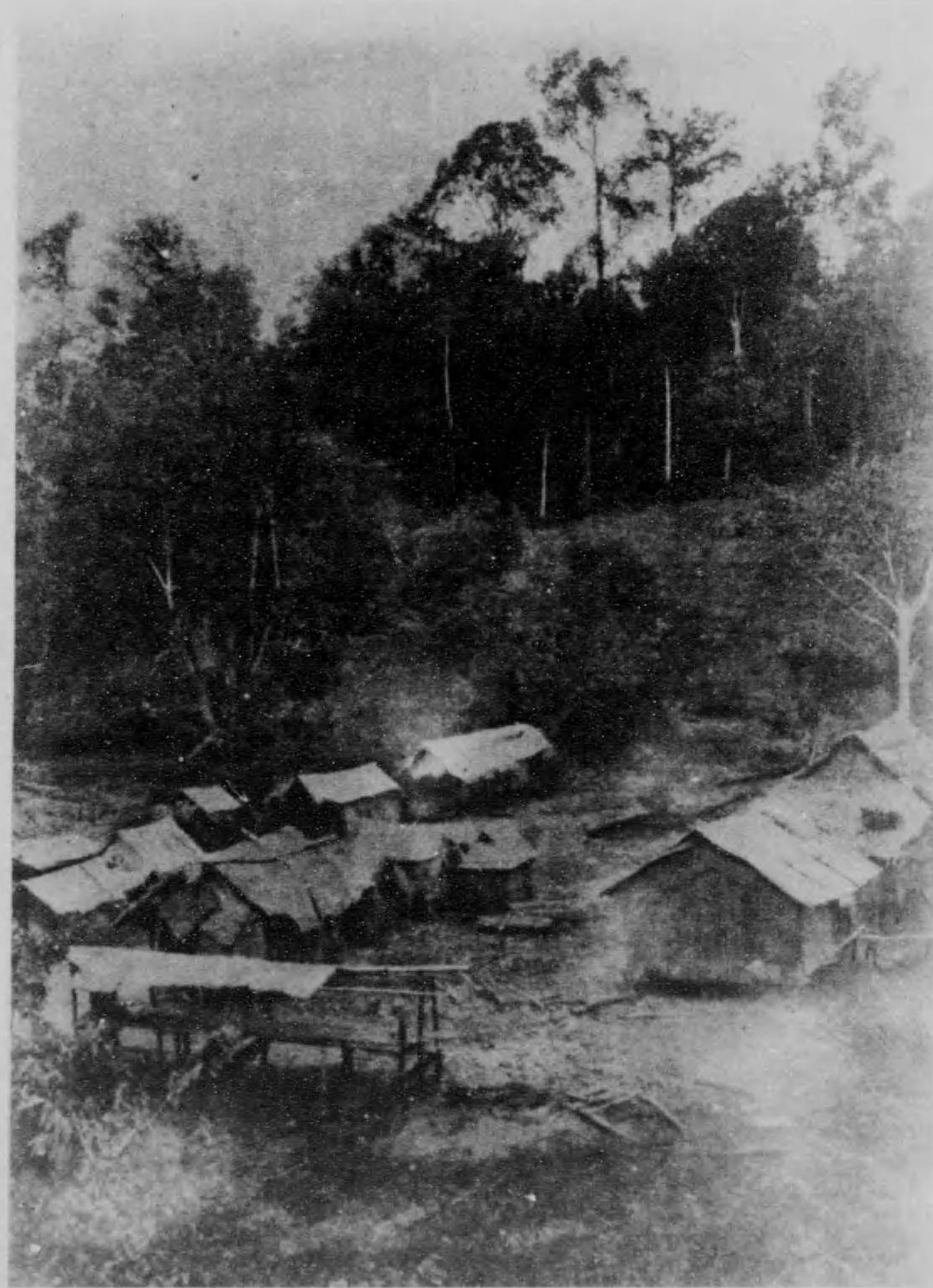
アバカは芭蕉科植物に属し一見芭蕉に類す輕溲なる火山灰土に適し雨量多くして水の状況良好なる土地に繁茂す比島到處に栽培せらる。



教主天の邊崎長やるせ發を令止禁教外の氏川徳——院病刑天の市ラニマ
りあ説のとりせ容收に所此れ遁にラニマに共てへ携相もを者病刑天は徒



博賭認公——場鷄鬪の市ヲニマ
す爲を市馬車日毎前場てに所



りた似相と屋蕃灣臺——落村人土の中林山島比



態狀の校學小人村の式牙班西舊



校學人士式新るたれらて建に風加利米亞

光曙の政行育教加利米亞

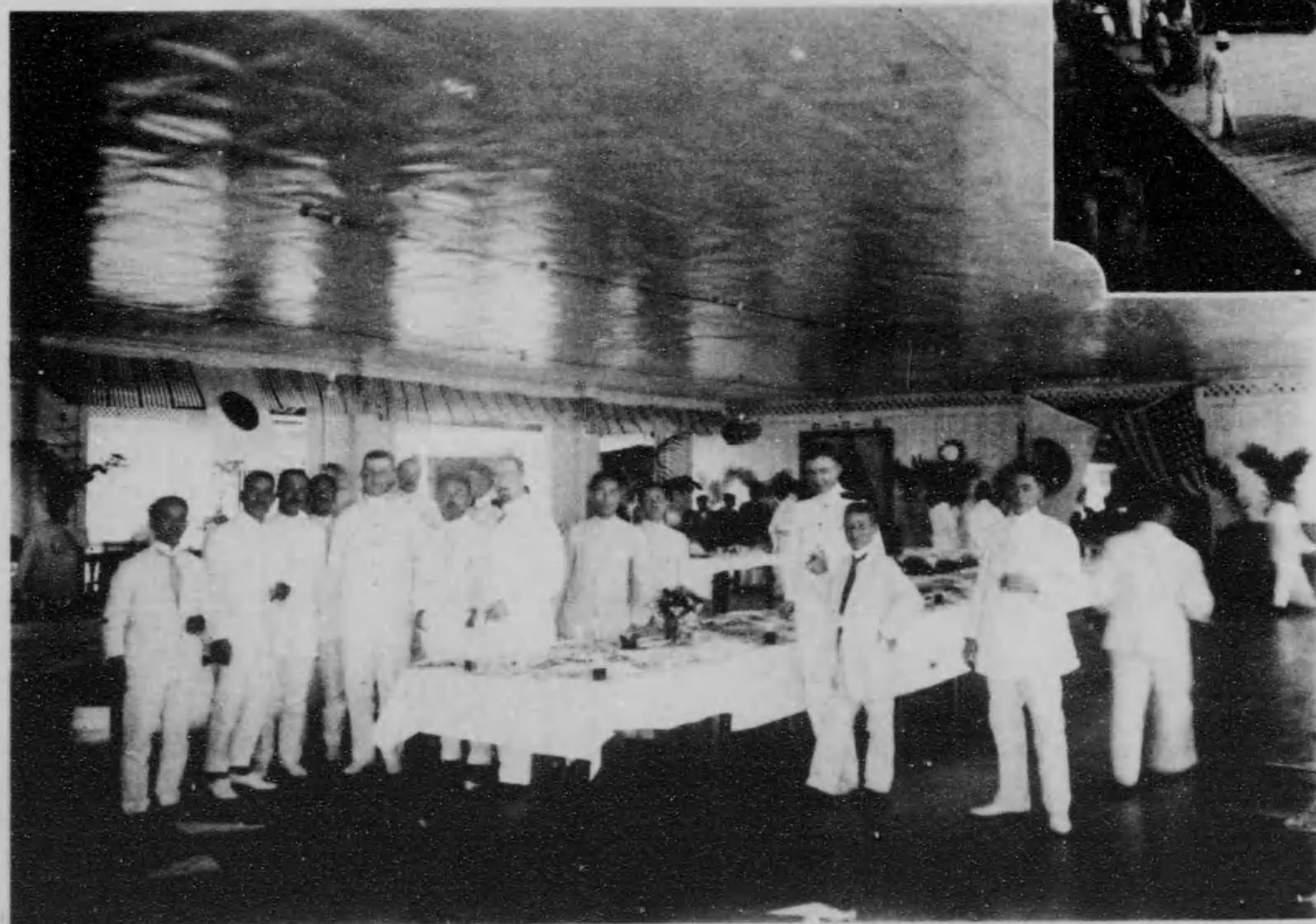


す製編を箱夏—工手の徒生校學公人士

すか乾てき割を實子椰人土島比
椰子の實は元熱帶地方の
土人の食飲料に限られし
が今やバター、製菓材料、
石鹼の原料及飲料に用ゐ
らる皮殻は水掬、菓子器
類、スプーン、樂器等を
造るに適す。ココブラはマ
ニラ麻に次ぐ比島の輸出
重要品にて價年二千五百
萬圓に上る、



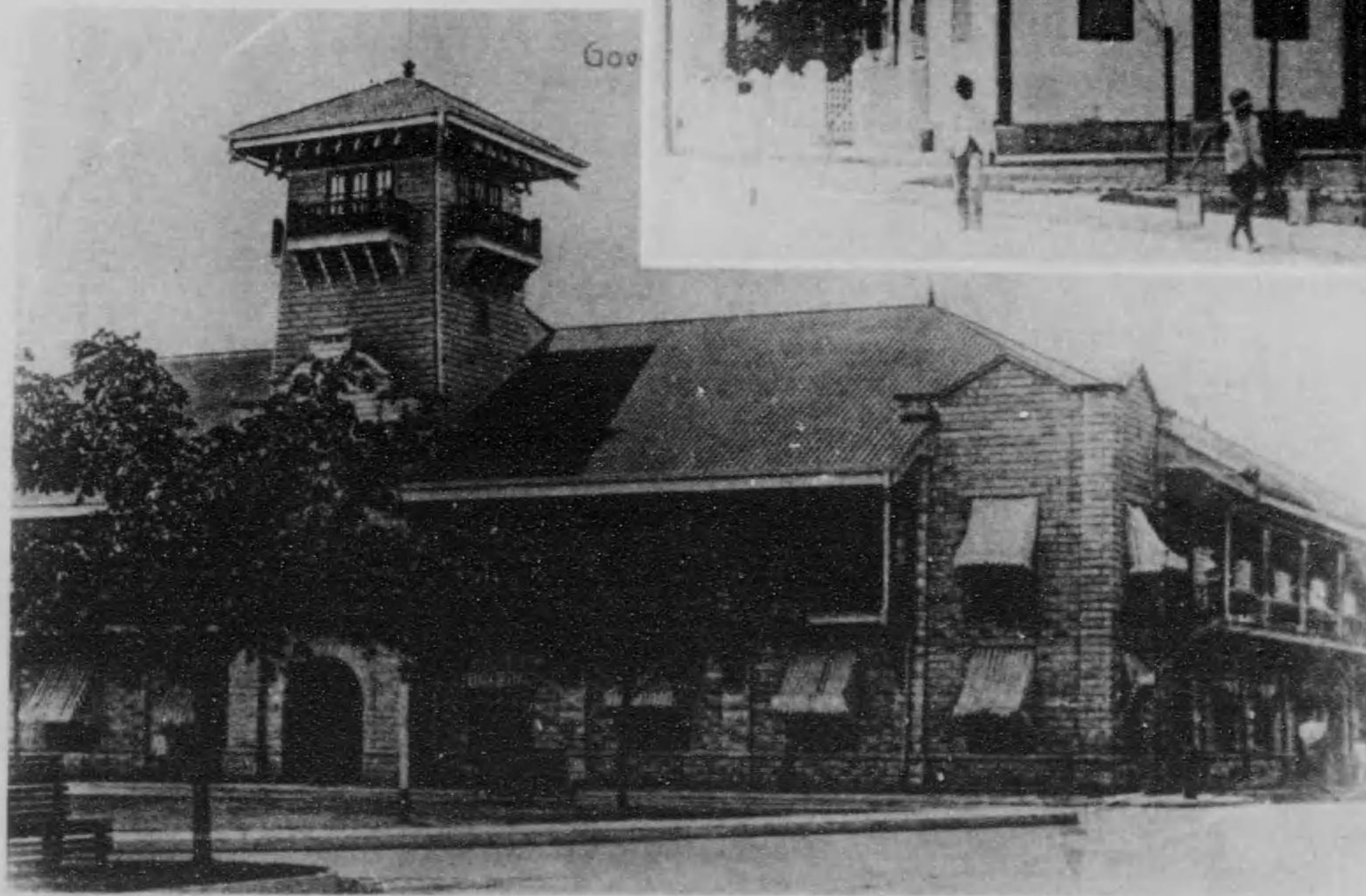
の島オナダンミの團光觀
景光の陸上港ガンアボンザ



す待招にブラクを團光觀者力有民官のガンアボンザ



會教クツリトソカのガンアボンサ



衛官方地のガンアボンサ

比群島は米西戦争の結果、一八九八年十二月十日西班牙より米國に譲與せらる、面積十二萬七千八百五十三方哩、我朝鮮の八萬四千七百三十八方哩、臺灣の一萬三千九百四十四方哩、樺太の一萬三千二百五十方哩に加ふるに白耳義を以てするよりも稍大なり我九州に比して約十倍す。



林子椰と路道岸海のガソボンザ



店の君郎三恭田太と町ガソボンザ



船集採貝珠真の人邦稼出に沖ガソボンザの島オナダソソミ

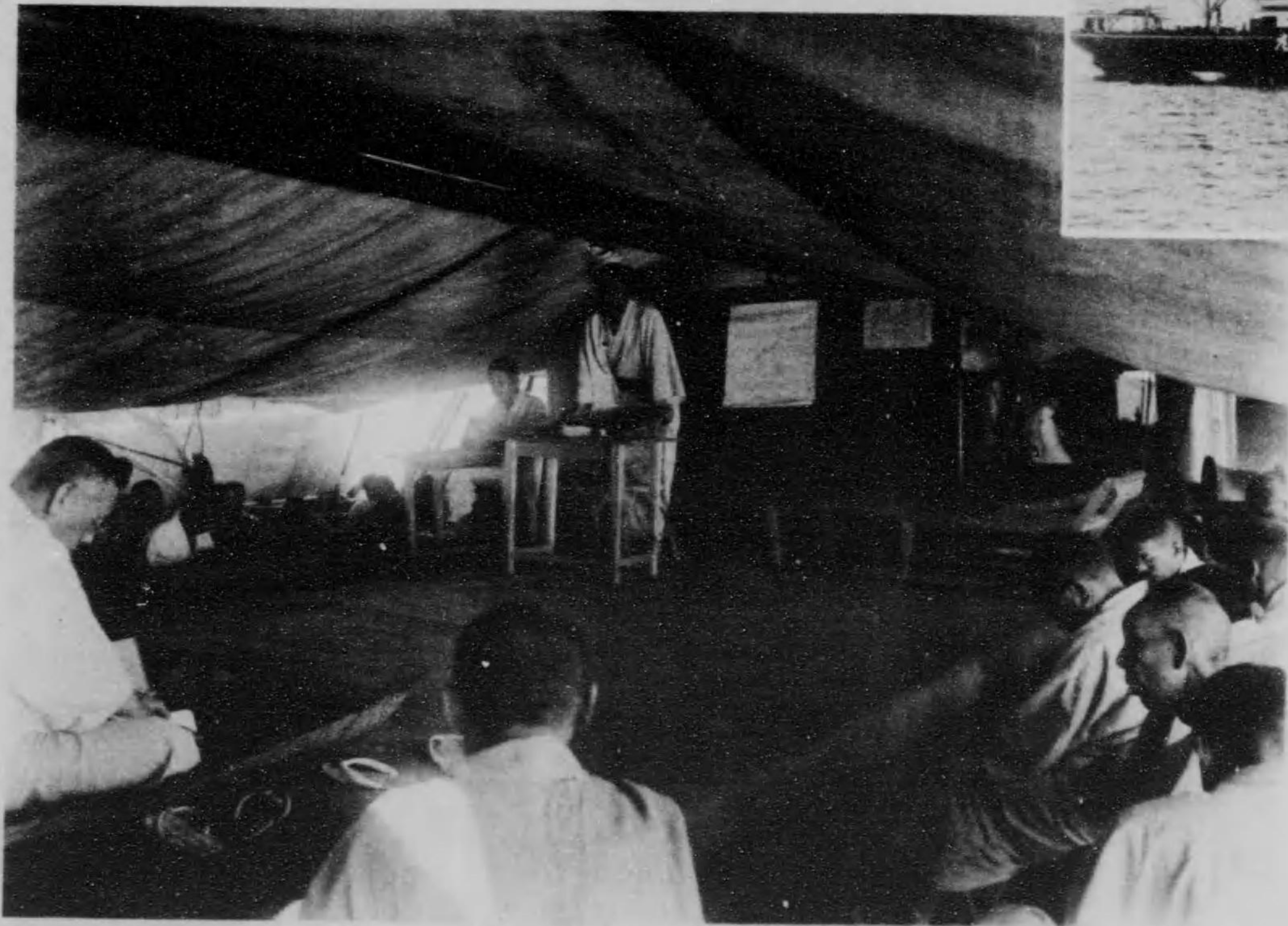
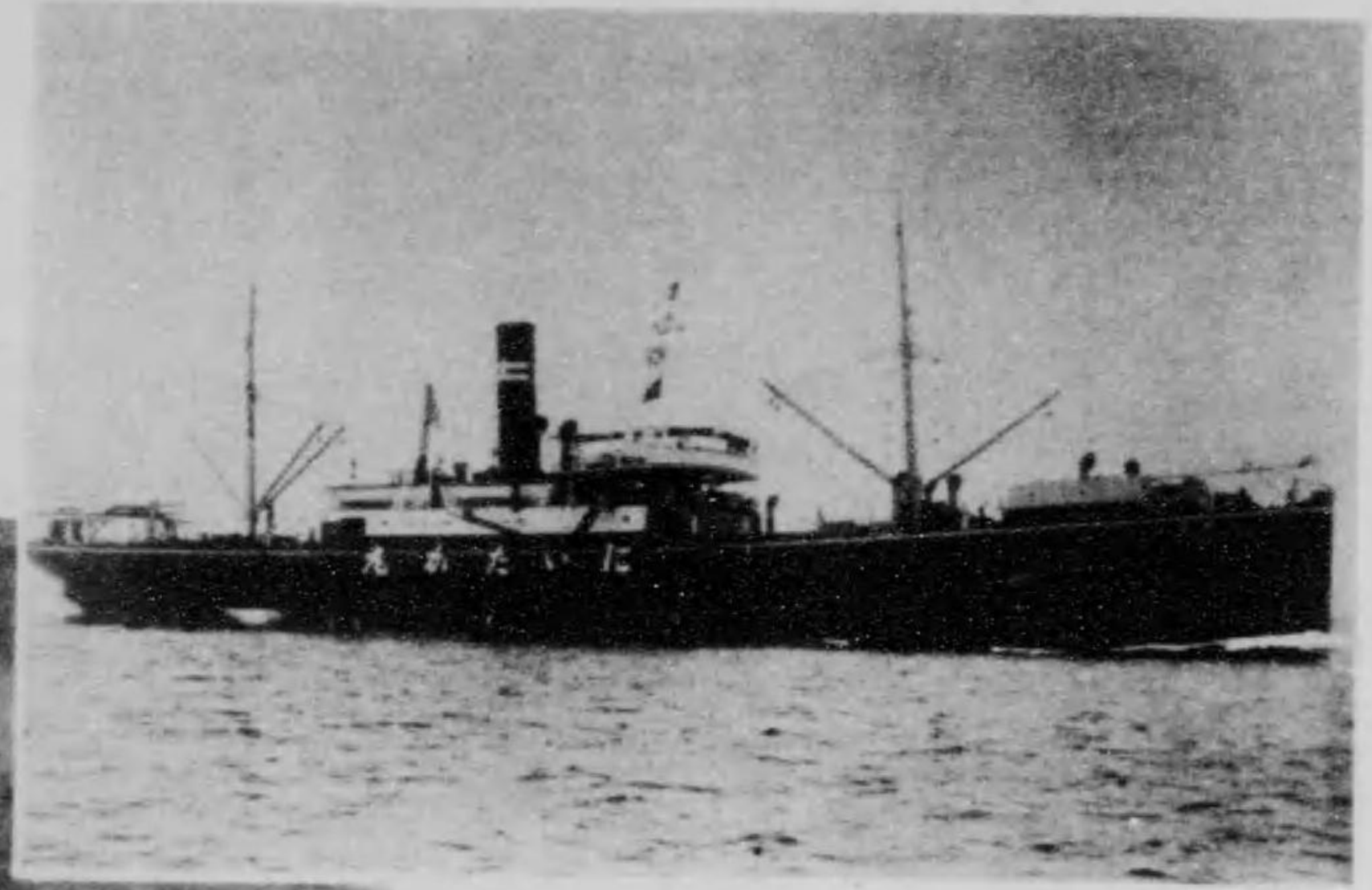
比律賓島のモーロー民種の巡査



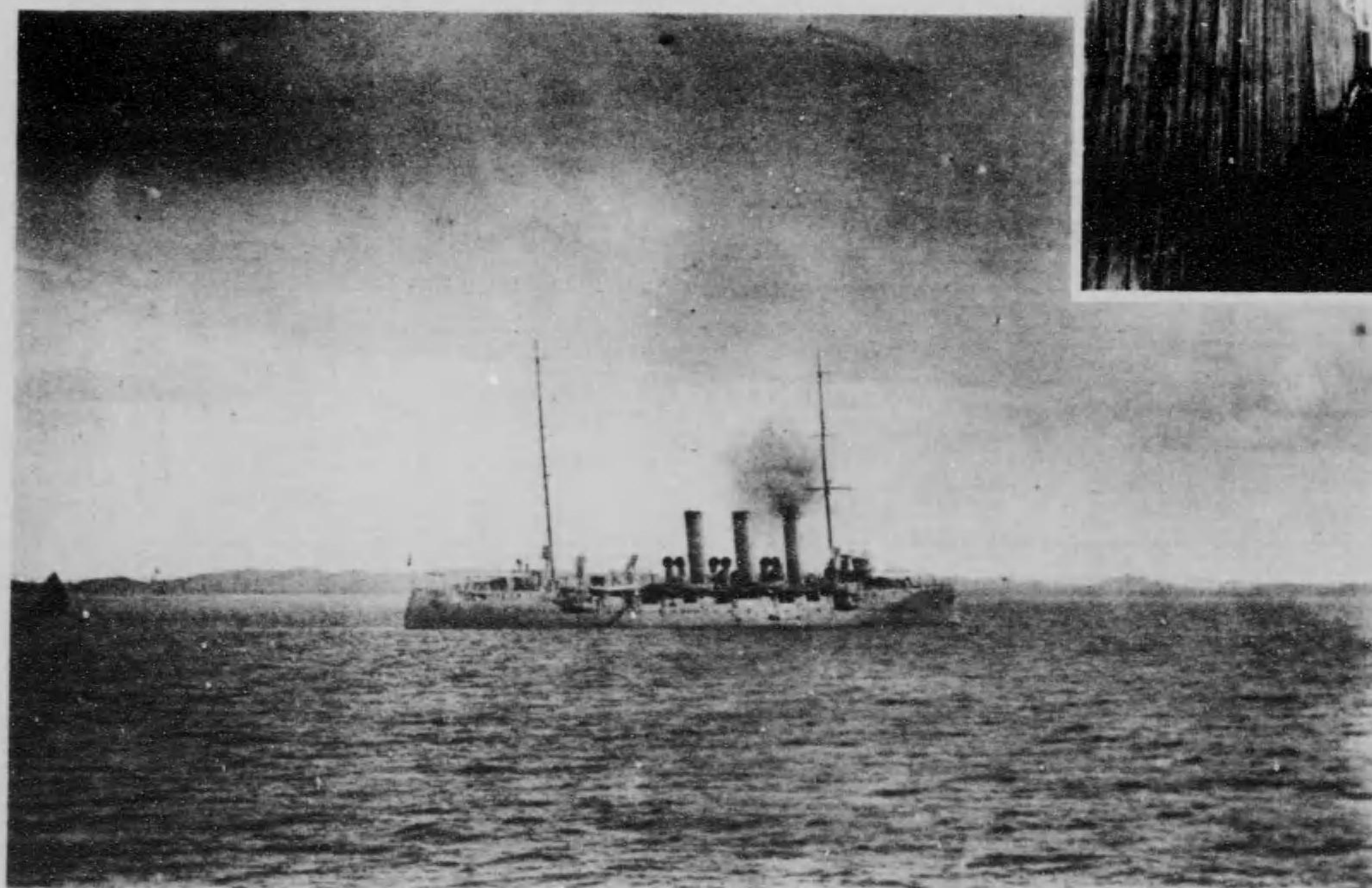
比島の人口八百萬の中九割は基督教を奉し回教を奉するものは即モーロー族なり人口約二十萬餘にして他は皆偶像教を信す其内イゴットの數最も多し



屋 住 の 族 民 - ロ - モ



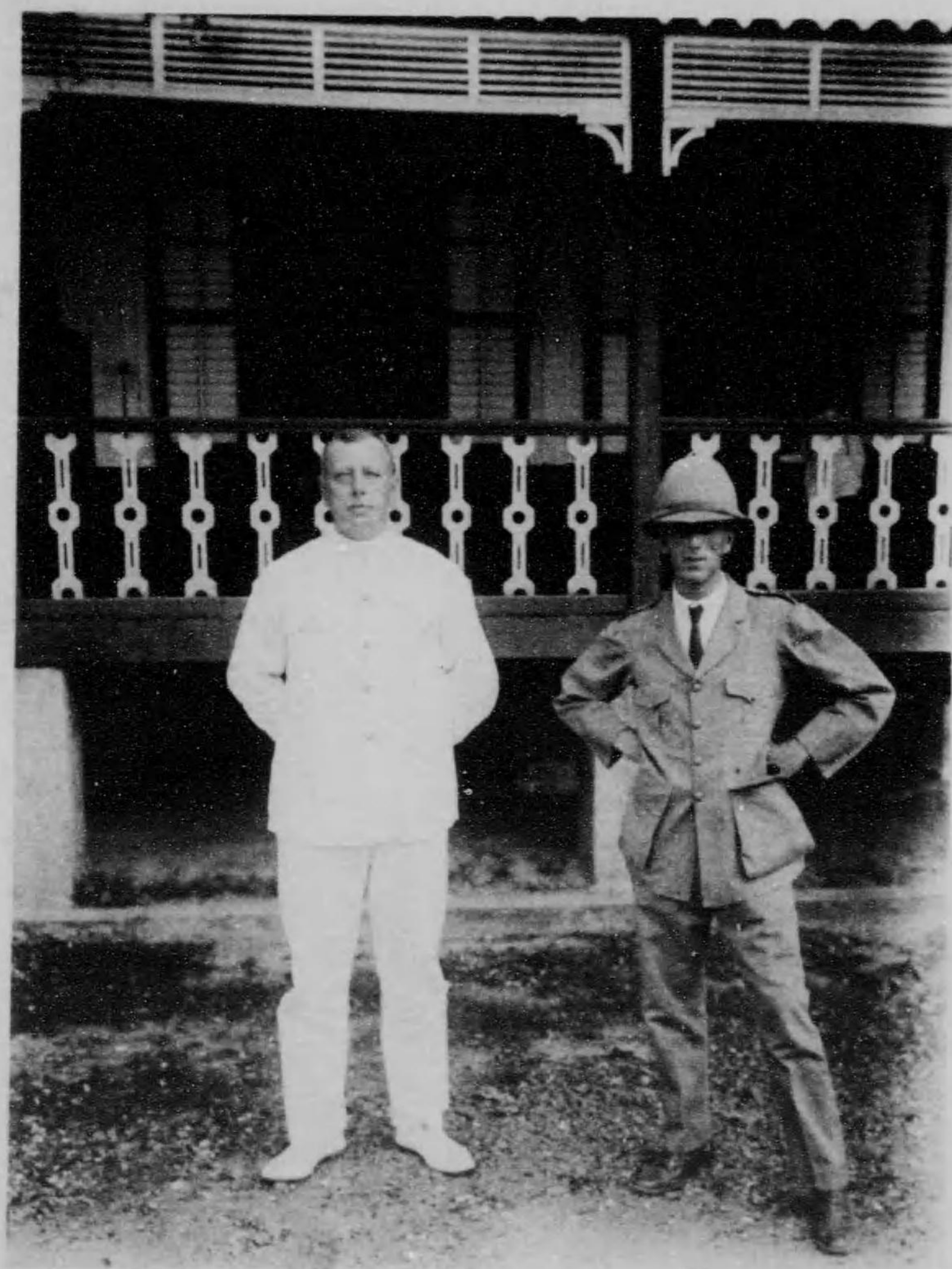
南洋支観を最義もあしめがに爲の中先輩新渡戸博士に請て中船に
て同一南洋に關する演説を傾聴す。昔舟人中大を講し今人船中新智を見求む



す任に備警上海の面方洋南——馬對艦軍國帝るた々堂姿雄の戈遊に沖ンカダンサ



にンカタンサのオネルボ北領英
海のれ外町——園光観るせ陸上
料染るせと料原をチツカキに岸
りあ所材製に並塲工



長署察警及事知理代と廳政のンカダンサのオネルボ北領英



署本察警



屋家上水の人士ンカダンサ



木下くんに妻の女物名のンカダンサ

木下くに妻は此地に住する
三十年南洋に於ける「日本
むすめ」發展の根據地を此
地に造りたりと云ふ、町外
づれの小山には三冢無縁、
隣べき女人共同の墓地あり

サンダカンの人口は
約八千餘り此地在留
の邦人五六十名寫眞
業者理髮業者雜貨商
の諸店及旅館あり、
邦人の重なる群は娘
子軍なりとは驚くの
外無し。



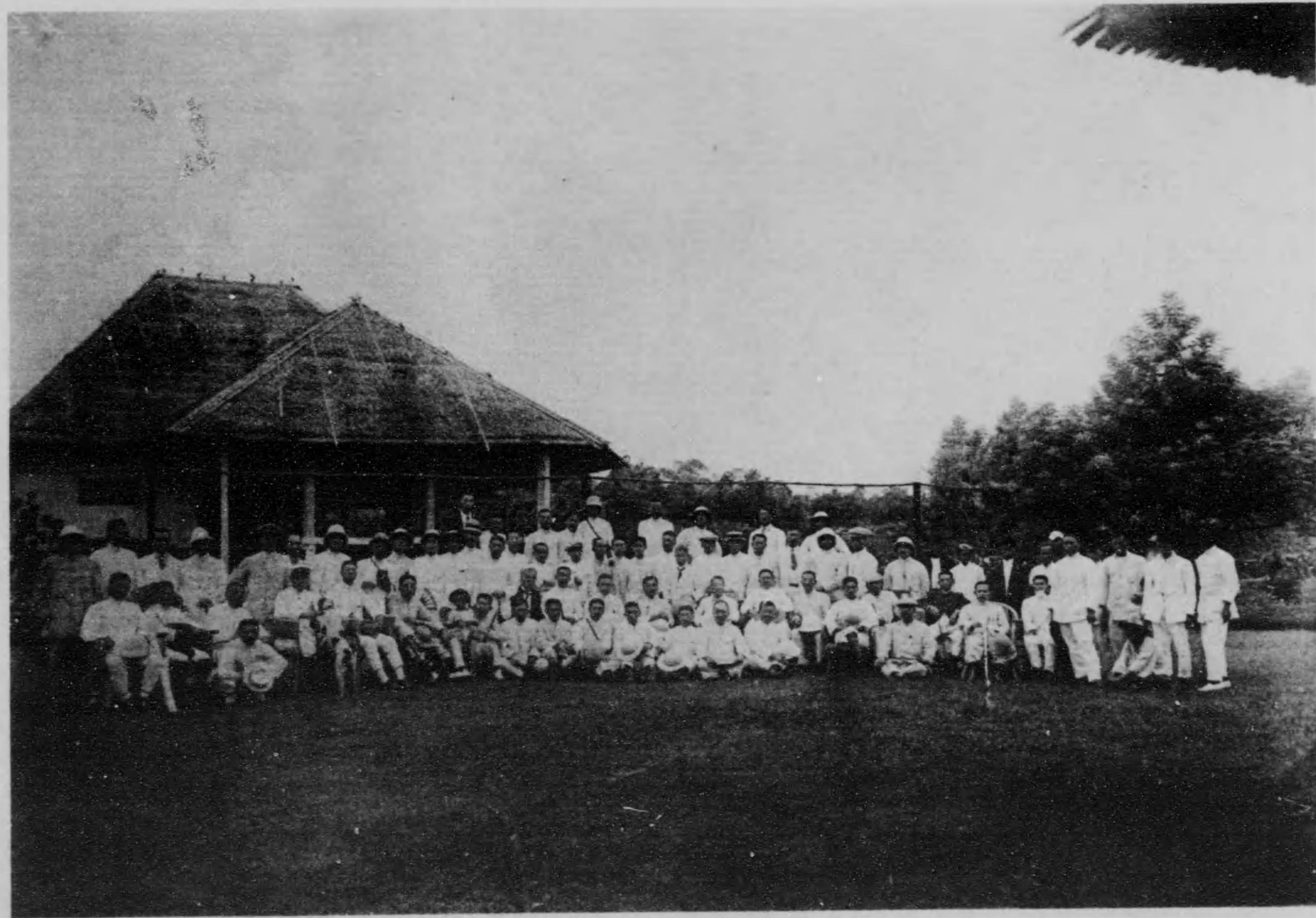
屋酒銘の中市ンカダンサ



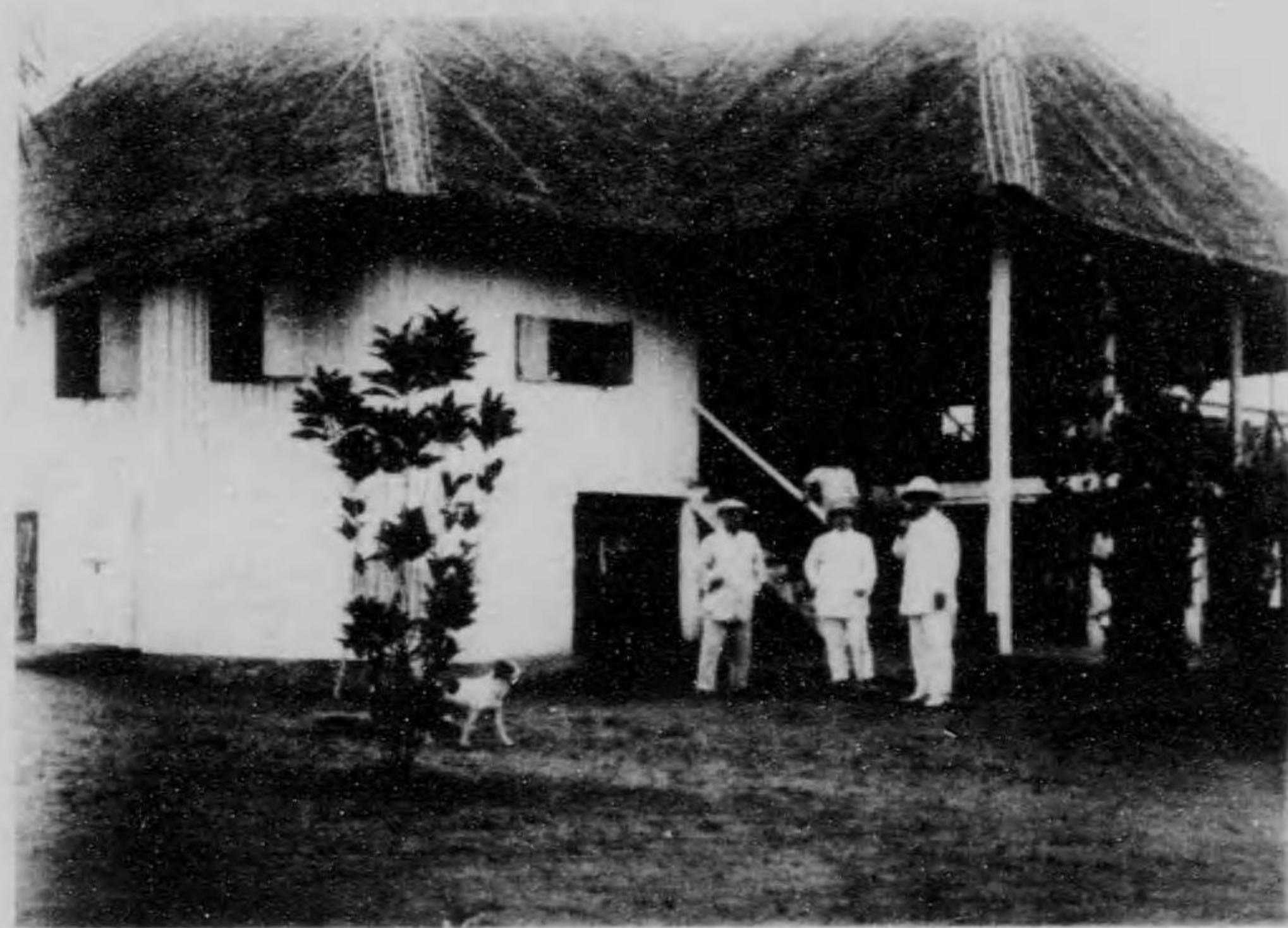
陸上オワタの團光觀

タワオは人口僅かに五百計りの小
 部落なり、タワオの港より十五哩
 を隔て、石炭山あり。上陸地點よ
 り五間幅の道を行くこと十五丁餘
 にして久原の既成ゴム園あり面積
 二五〇町歩之に隣りて一千町餘の
 大森林あり古來斧鉞未だ入らず

門迎款と園ムゴオワタ社會業鑛原久



英領北ボルネオ島のオワタに於て久原ムゴ栽培園あり其支配人事務所の庭前にて同一撮影す英領國事官
メツケトル氏も列す



所務事の園ムゴ原久オワタ



屋小力苦るす事従に働勞の園ムゴ



中途ふ向に園ムゴの園光觀



地整墾開の後採伐林森大

土人踊り



タワオの理事官メッケルトン氏は
観光團に對し歓迎の辞を述へ同盟
國の資本及勞力の到來を熱望する
と同時に出来る丈の諸便宜を與
ふべしと公言す

タワオの久原ゴム國の觀光團歓迎の景



の君田山町ンホモト
席迎歡と店



景港ドナメの島スベレセ

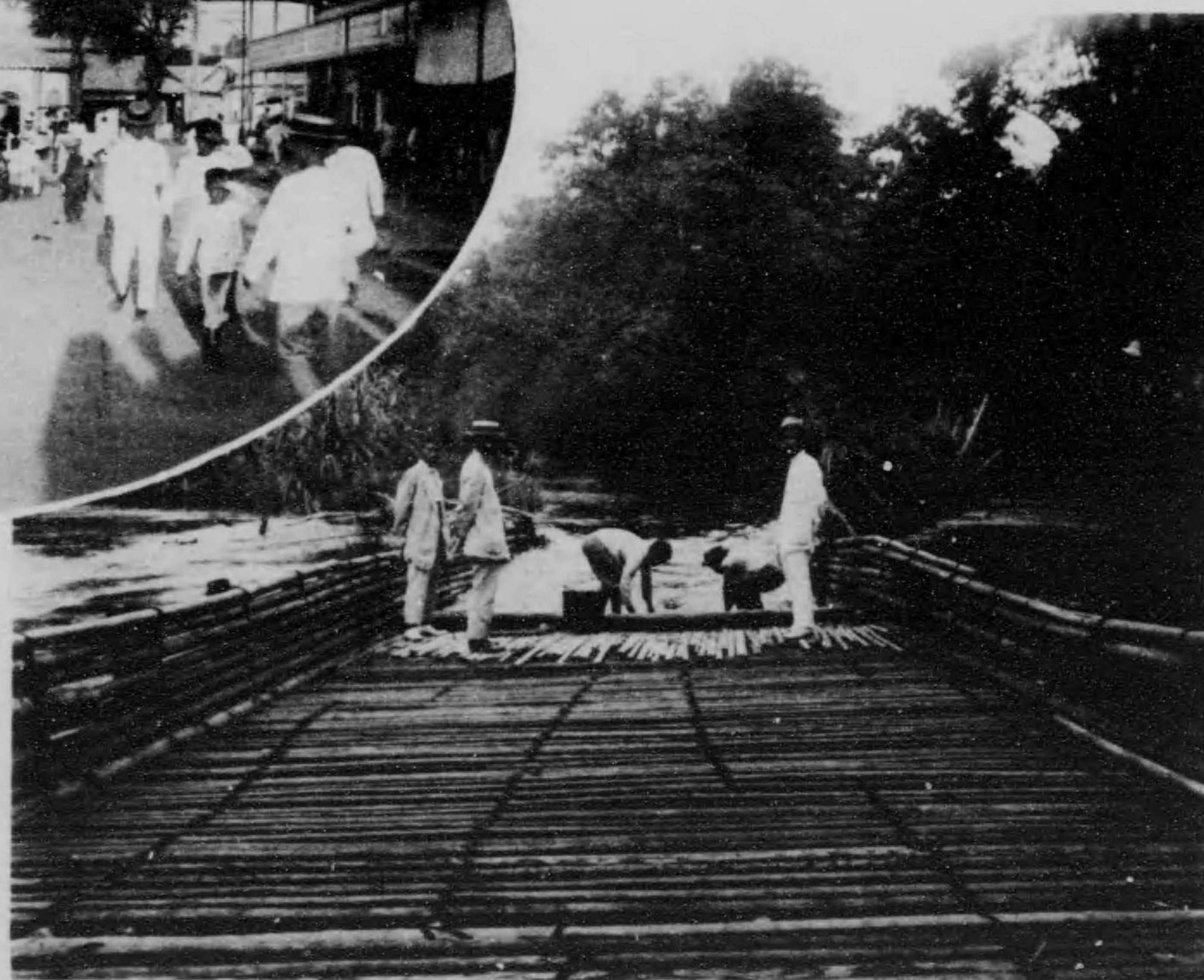


ブラクドナメるせら凝を備準の迎歡團光觀

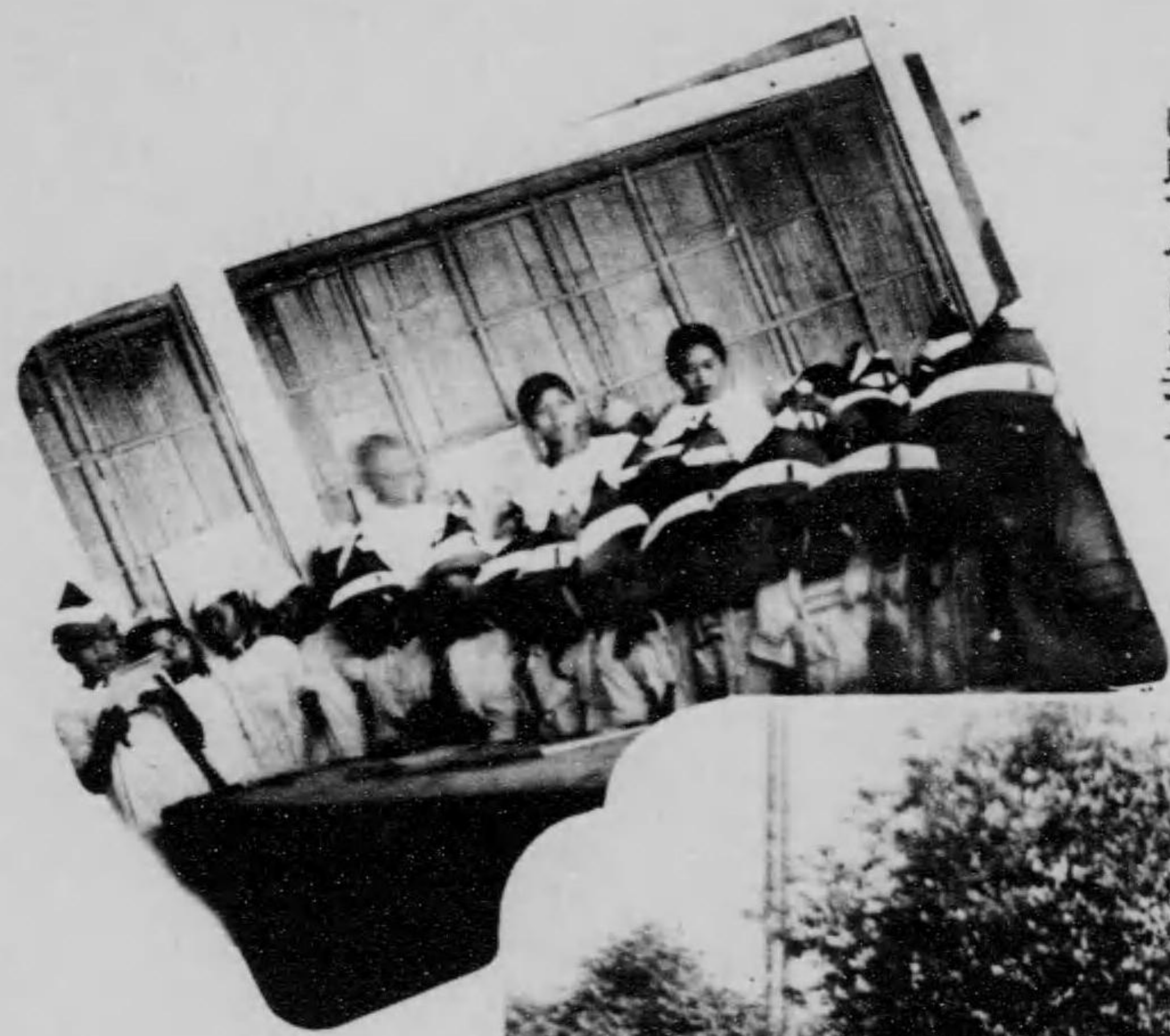


メナド町の光景

メナドはセレス島最
北の港にしてメナド州
の首府なり人口一萬餘
なり市の後方には海拔
六七〇〇呎のクラバト
火山聳立す



メナドにて土人の魚取り

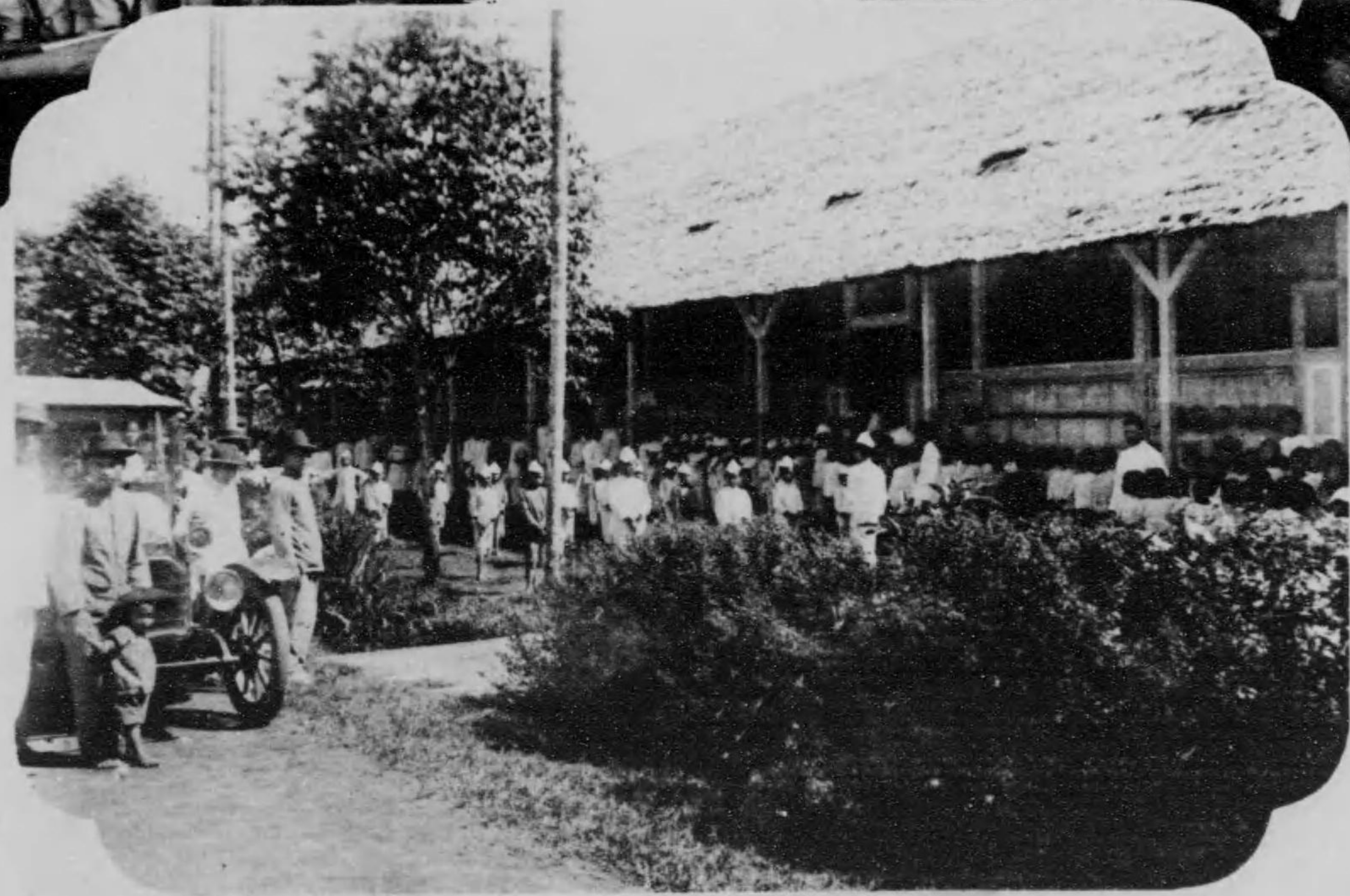


トモホン町小學校教室內

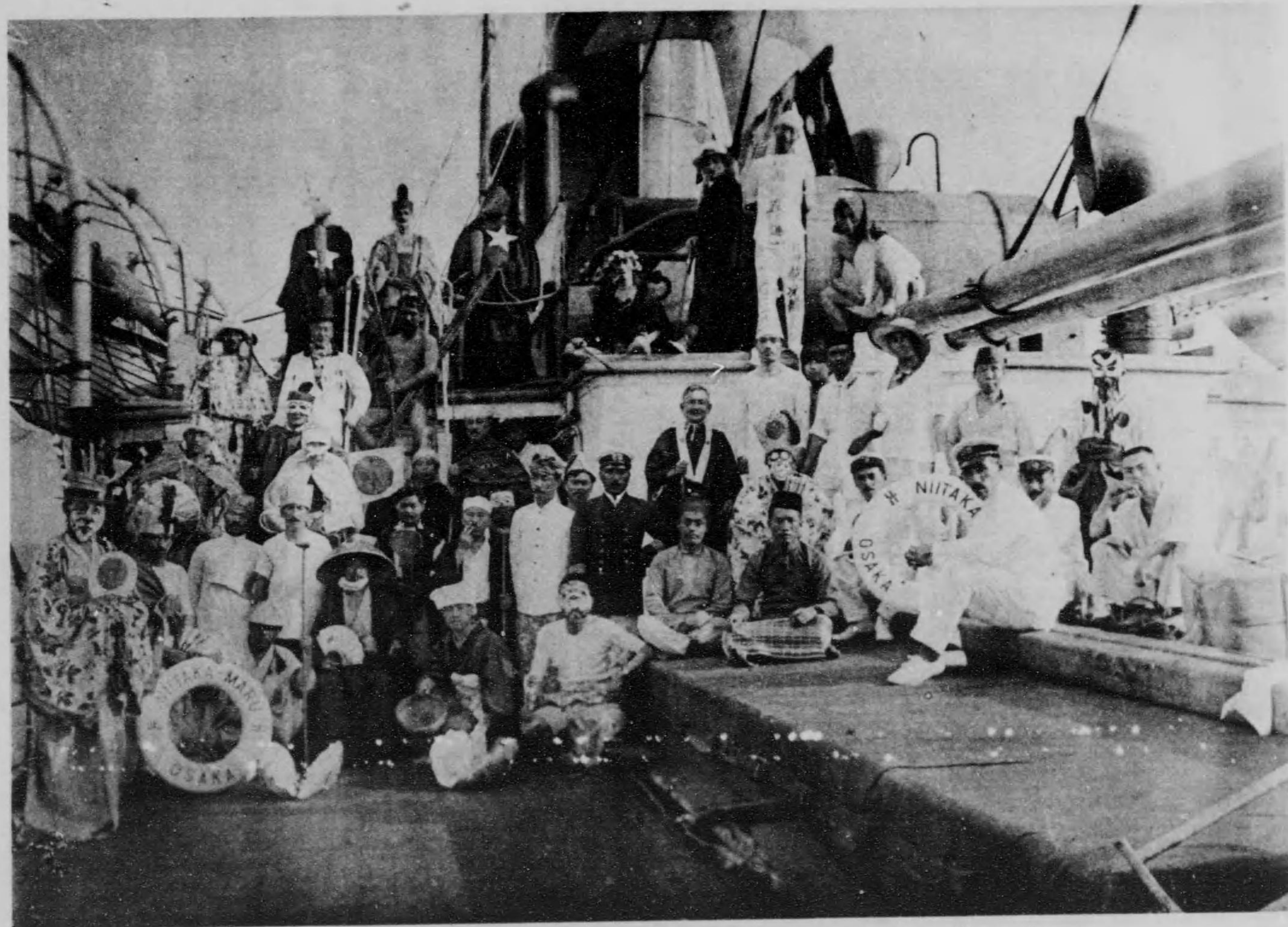
セレベス島ミナハサ地方は
 蘭領東印度中教育の最も盛
 なる地方にして世界の公園
 と稱せらるトングノ湖を中
 禪寺湖に比し其附近を日光
 に比すべしと云ふ



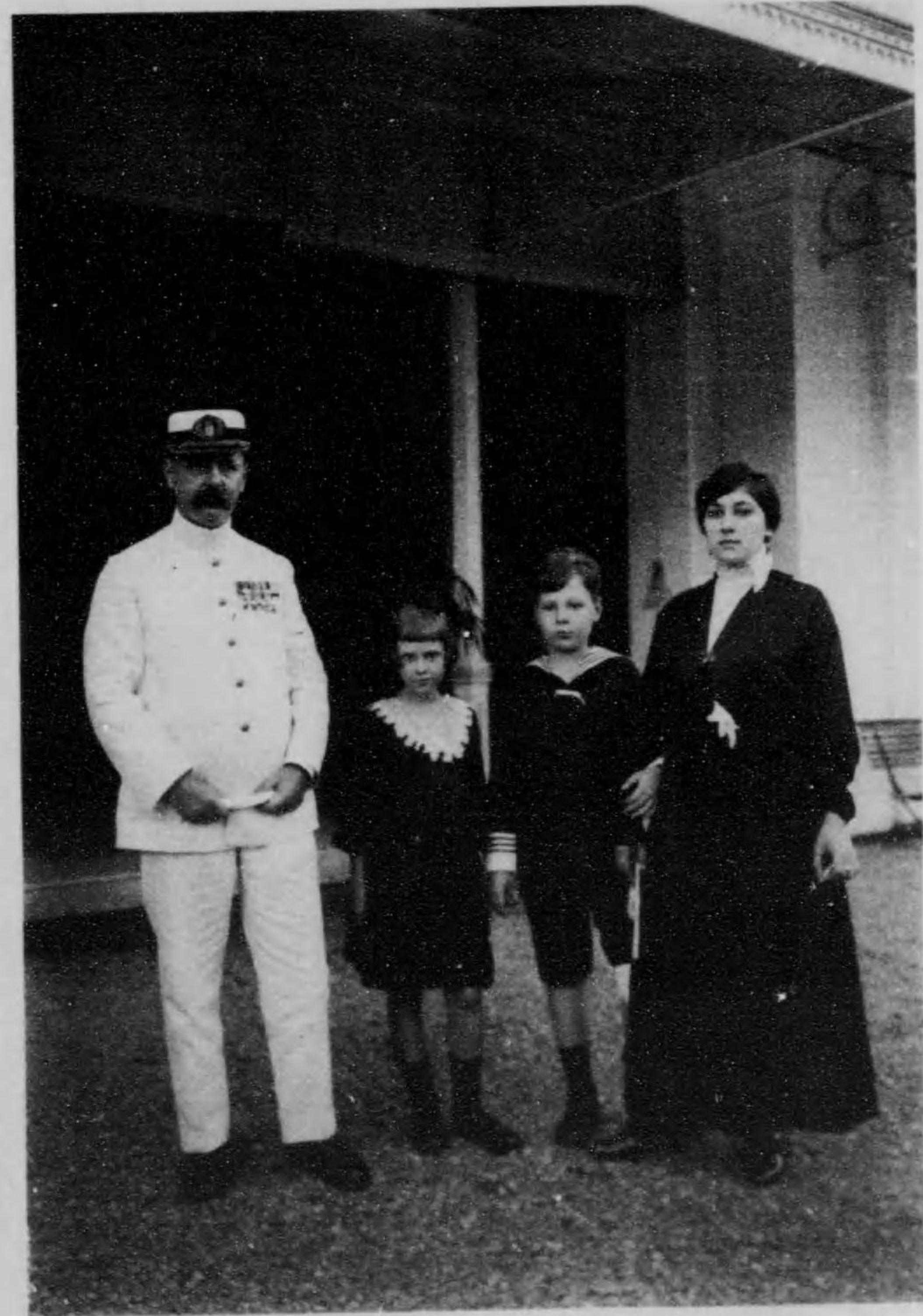
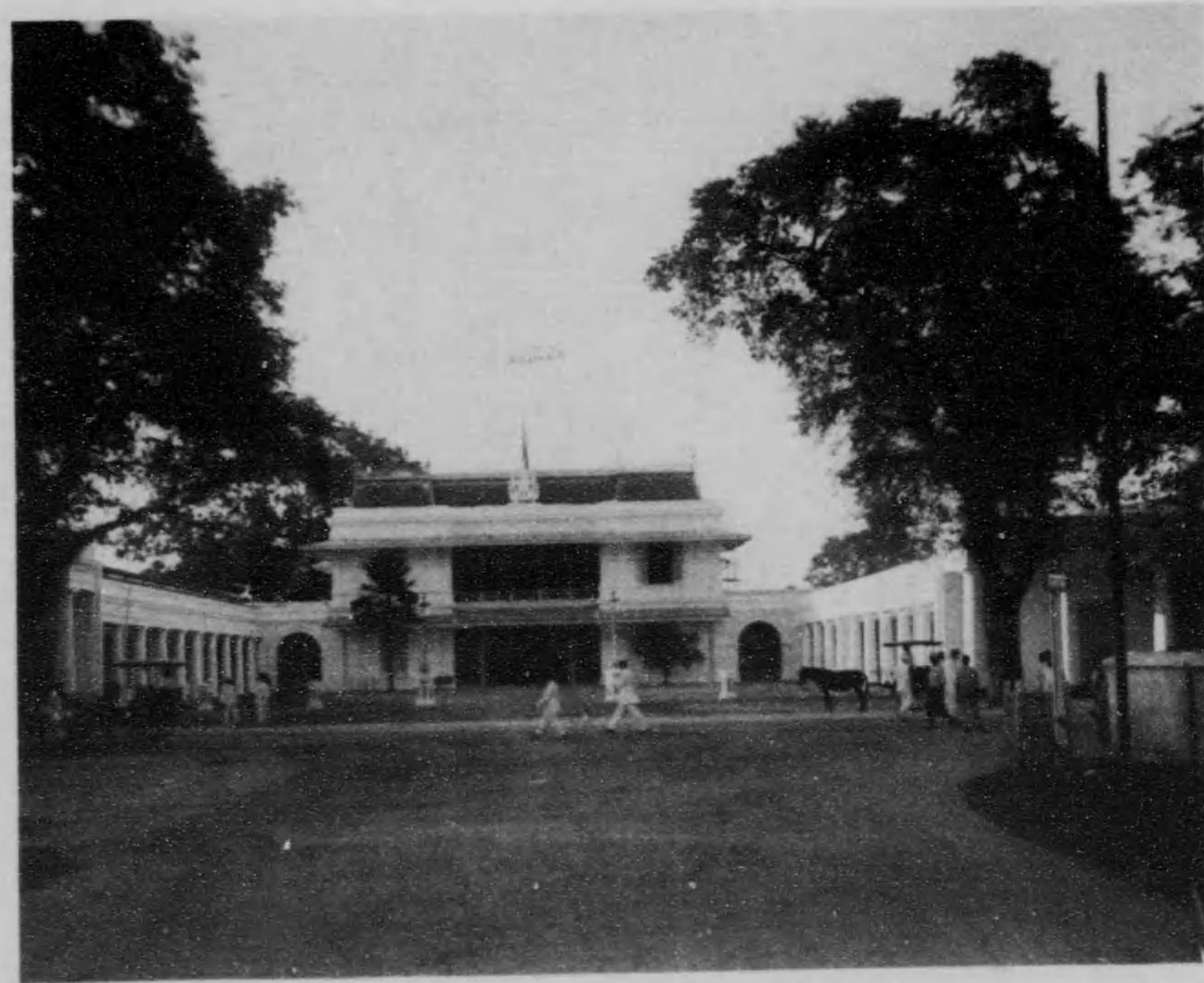
小學男女兒童の屋外體操



童兒と校學町ンホモト島スベレセ



赤道祭と観光團の假装

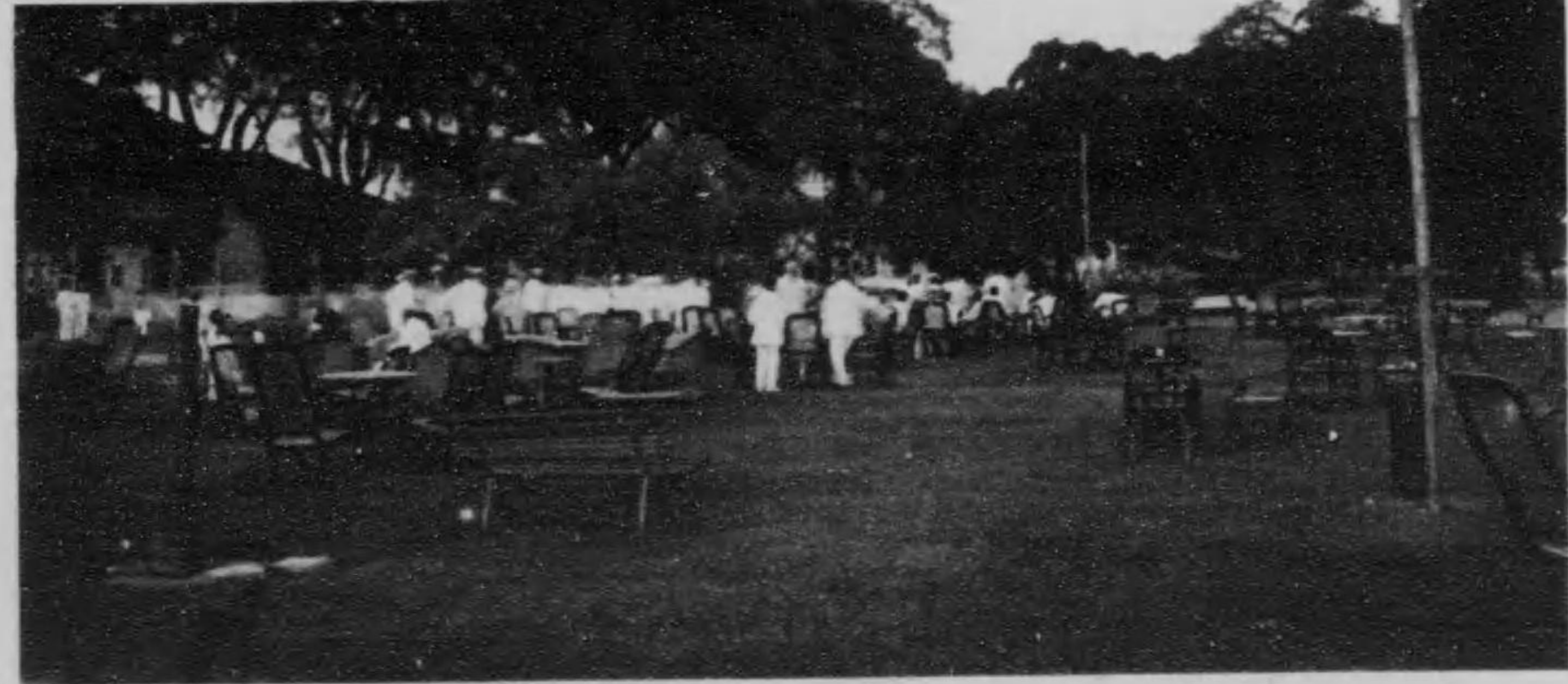


マカツル市理事官邸と理事官夫妻に息嬢



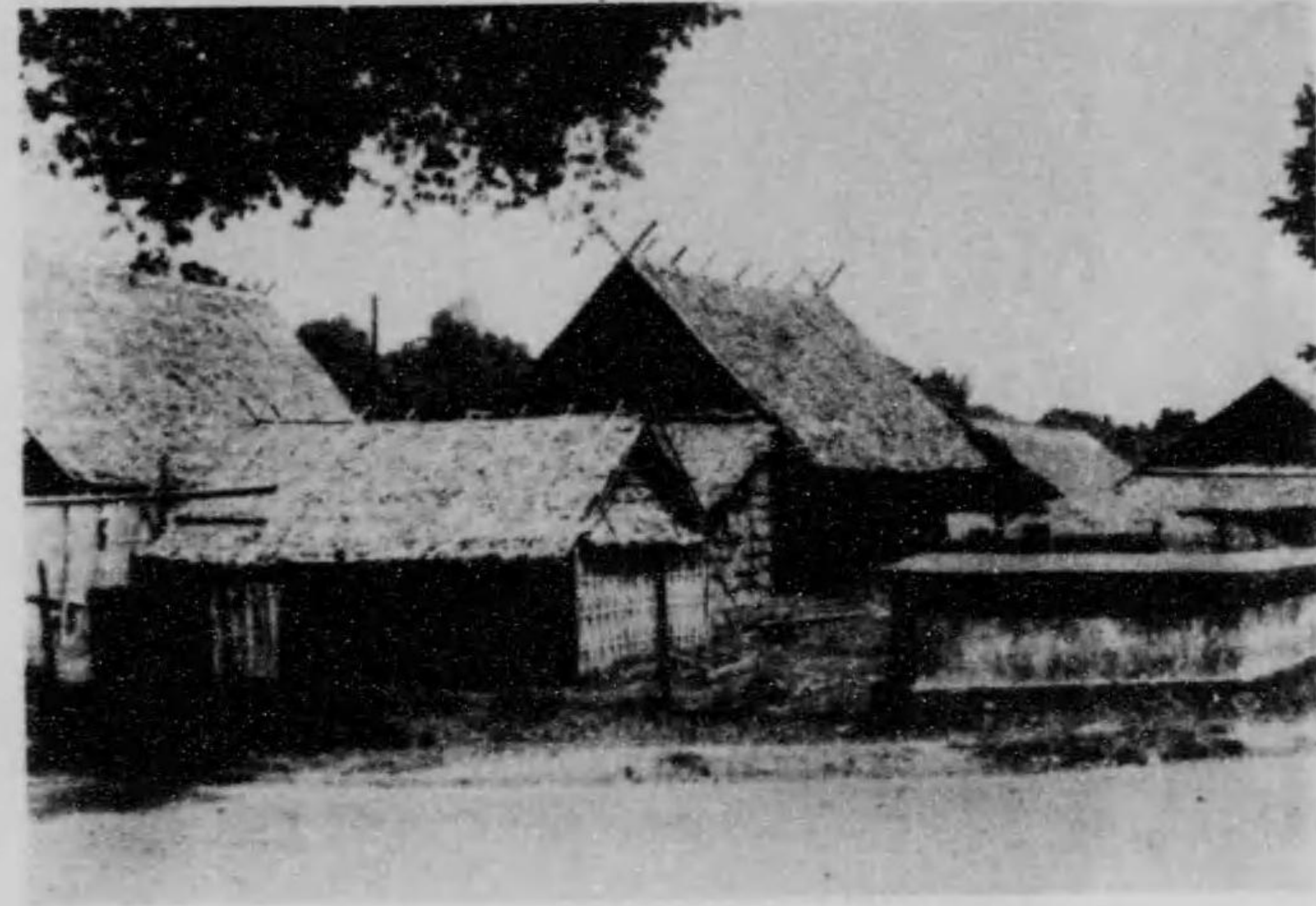
同——胞同我の留在ルサツカマ
 合の數多者力有民官人蘭の地
 きりあ舉の迎歡團光觀てに同

さ ぶ 催 に 角 一 の 園 公
 景 光 の 會 遊 園 し れ





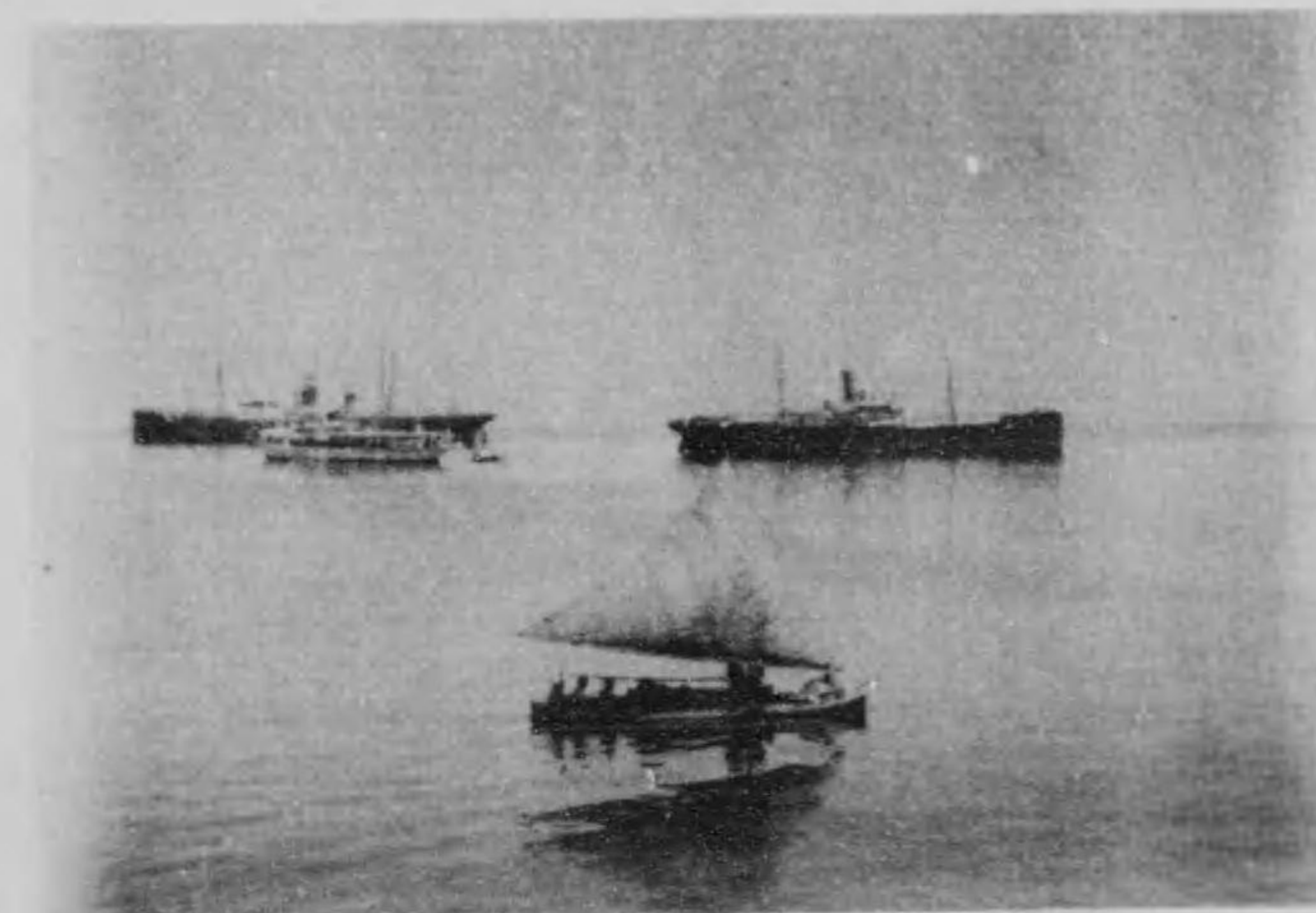
同市の土人賣子



マツカルの土人家の屋



カボンタウの方水面と田稻



マツカルの内港和蘭軍艦と通留獨逸商船



ルテホエチンラオしせ泊宿の行一團光観



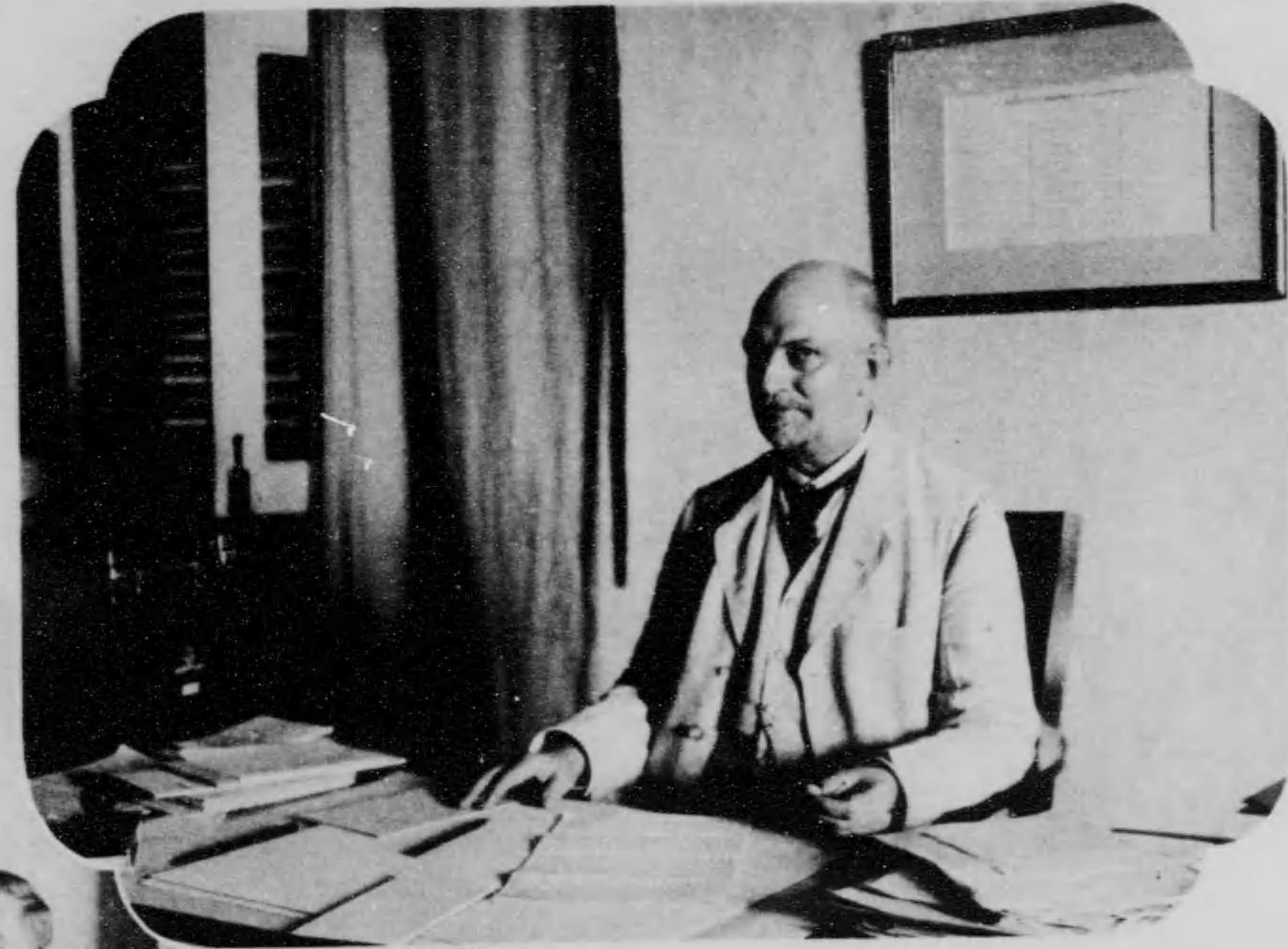
るけ於にれ外町ルサツカマ
一唯上業工、場造製油子椰
か物建的表代の



ジンレオの市ヤパラス
車動自用迎歓とルテホ



影撮同合と團光觀と員委迎歓の表代民官市ヤパラス

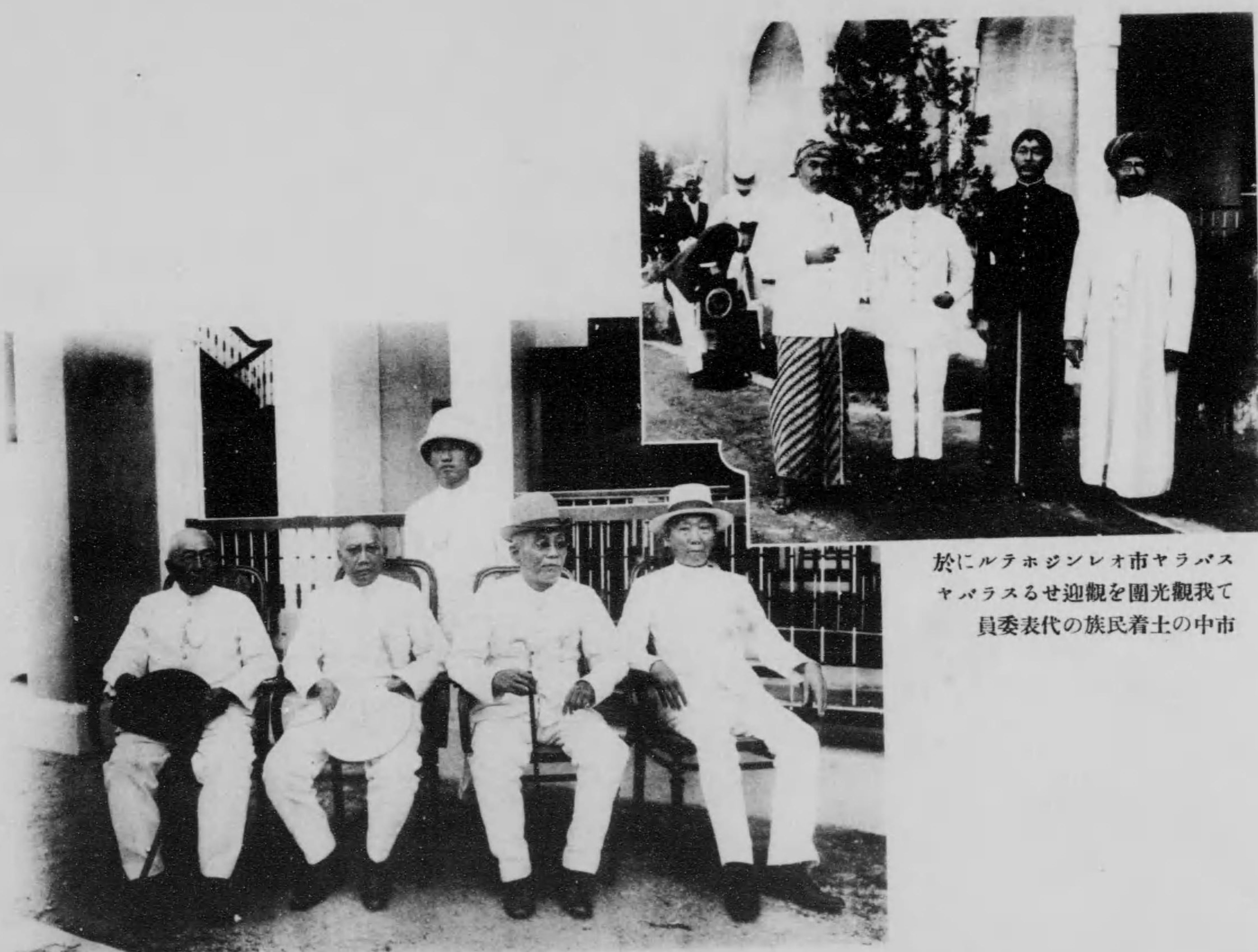


政廳事務室に於けるバラスヤ知事

スラバヤ知事の觀光團歡迎辭の一節——歐洲に於ける慘害極り無き戰爭は蘭領印度諸島の農商工業に至る迄大打撃を及ぼし今や我輸出貿易は新方面を求めて開拓せざるべからず。我諸島と諸外國との關係は尙發展の餘地十分にして此寶庫の開発は日蘭兩國人の双肩に繋がる云々



向つて右は副知事左は秘書官



於にルテホジンレオ市ヤラバス
 ヤパラスるせ迎観を團光觀我て
 員委表代の族民着土の中市

者功成の人那支るけ於に市同



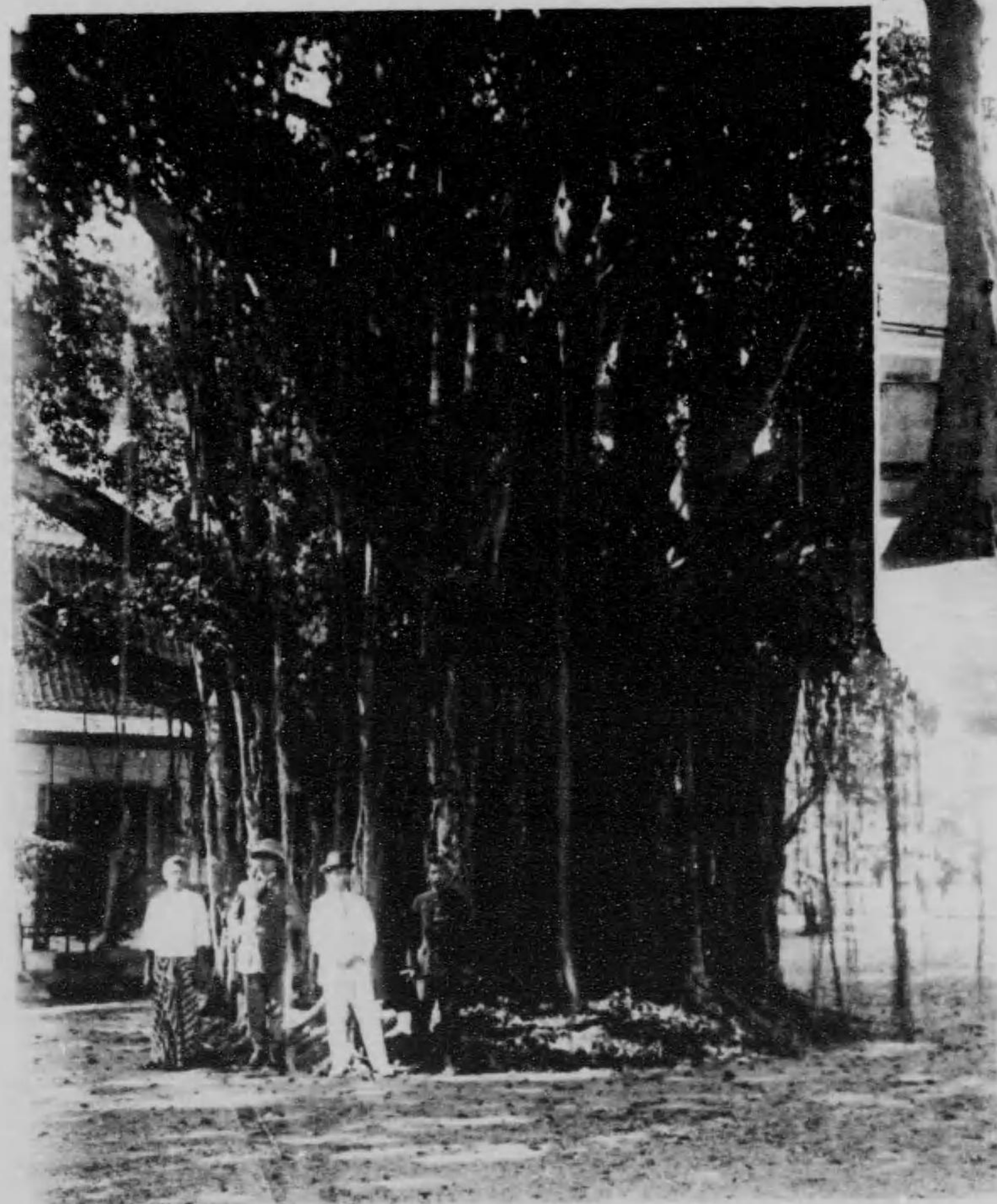
前店の社會産物井三るけ於に市ヤバラス



前店の人土



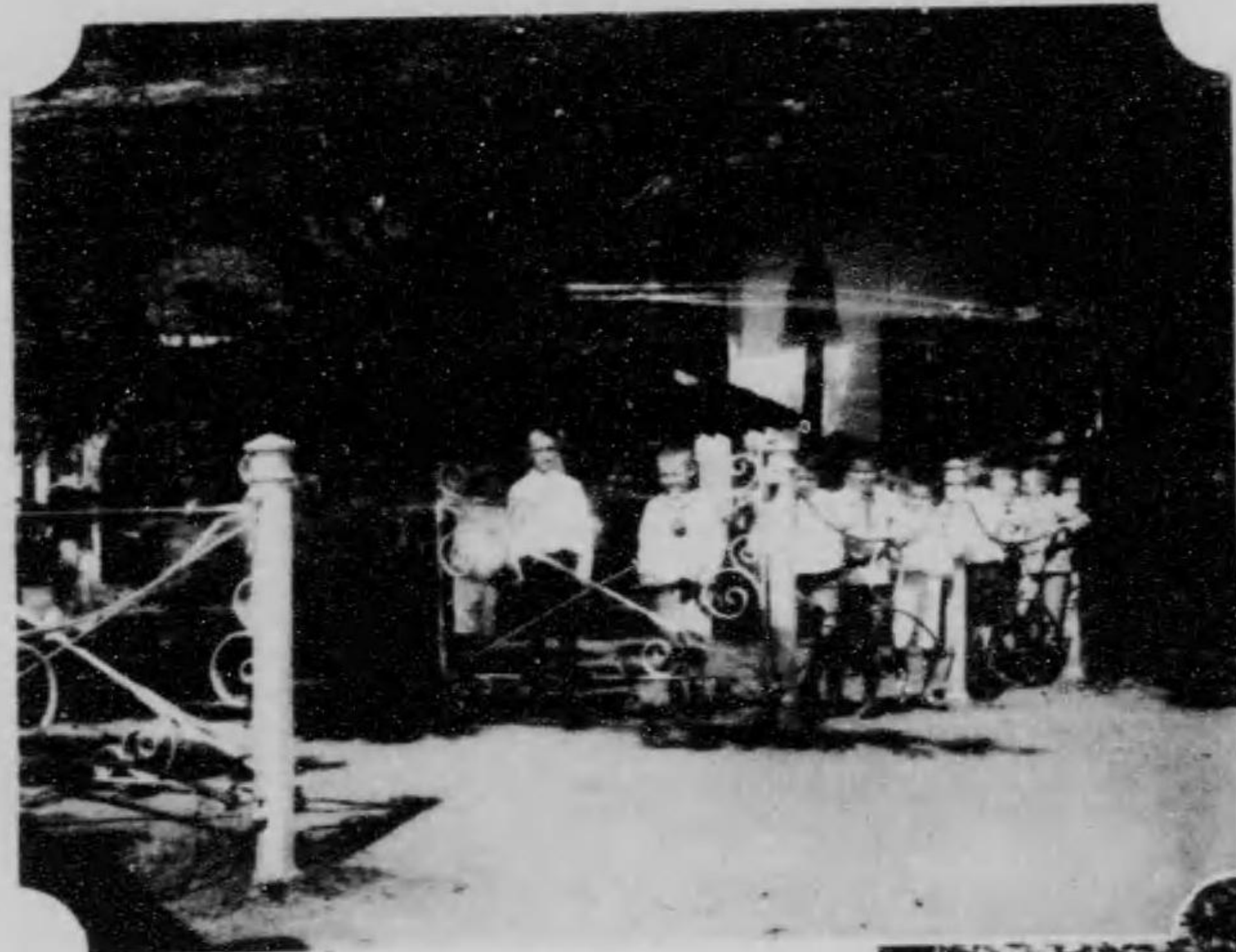
艇輻船人土



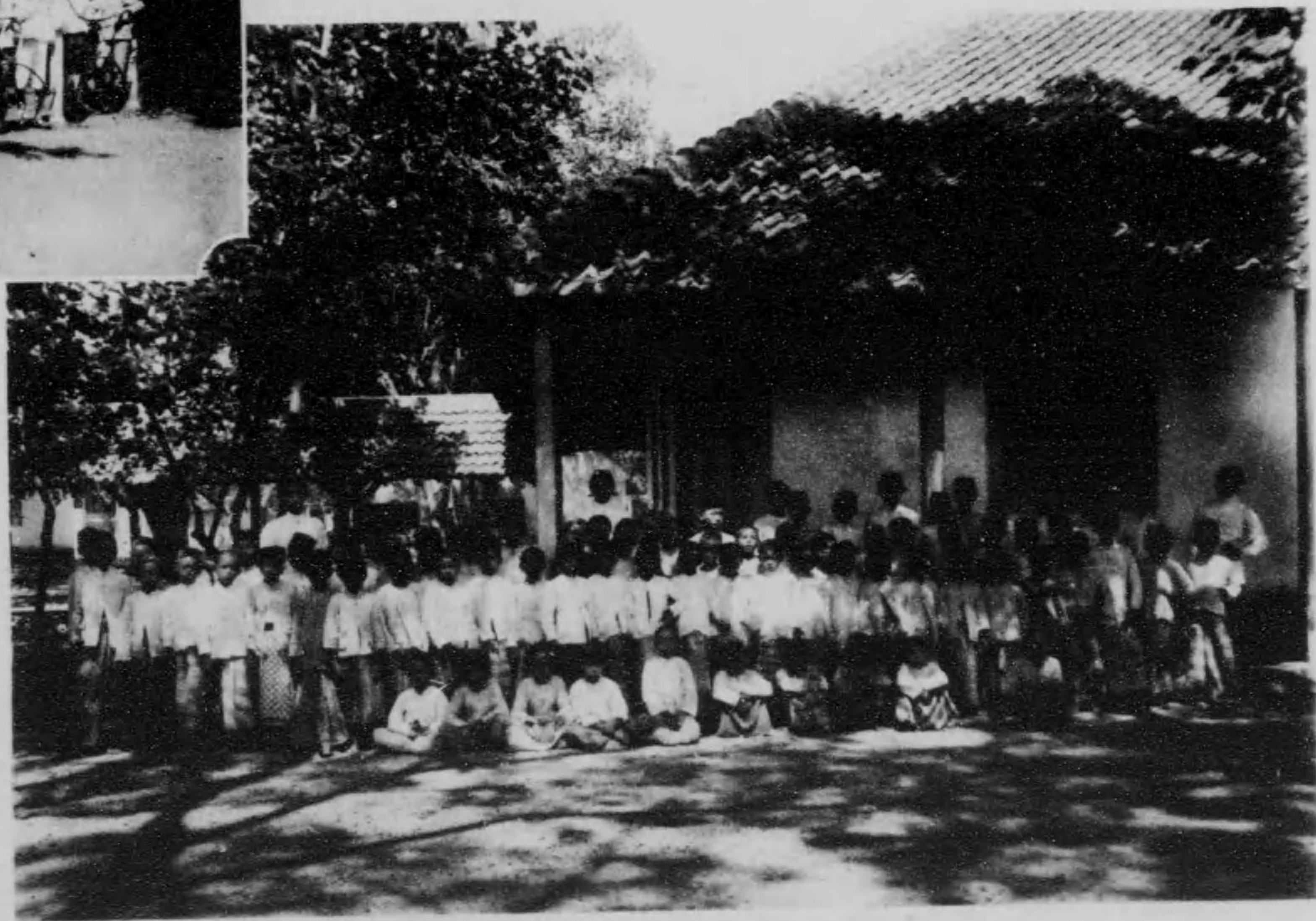
(類種のソローオ)樹大の内邸官の官事理市ヤバラス



卒兵と院病成衛るな市ヤバラス



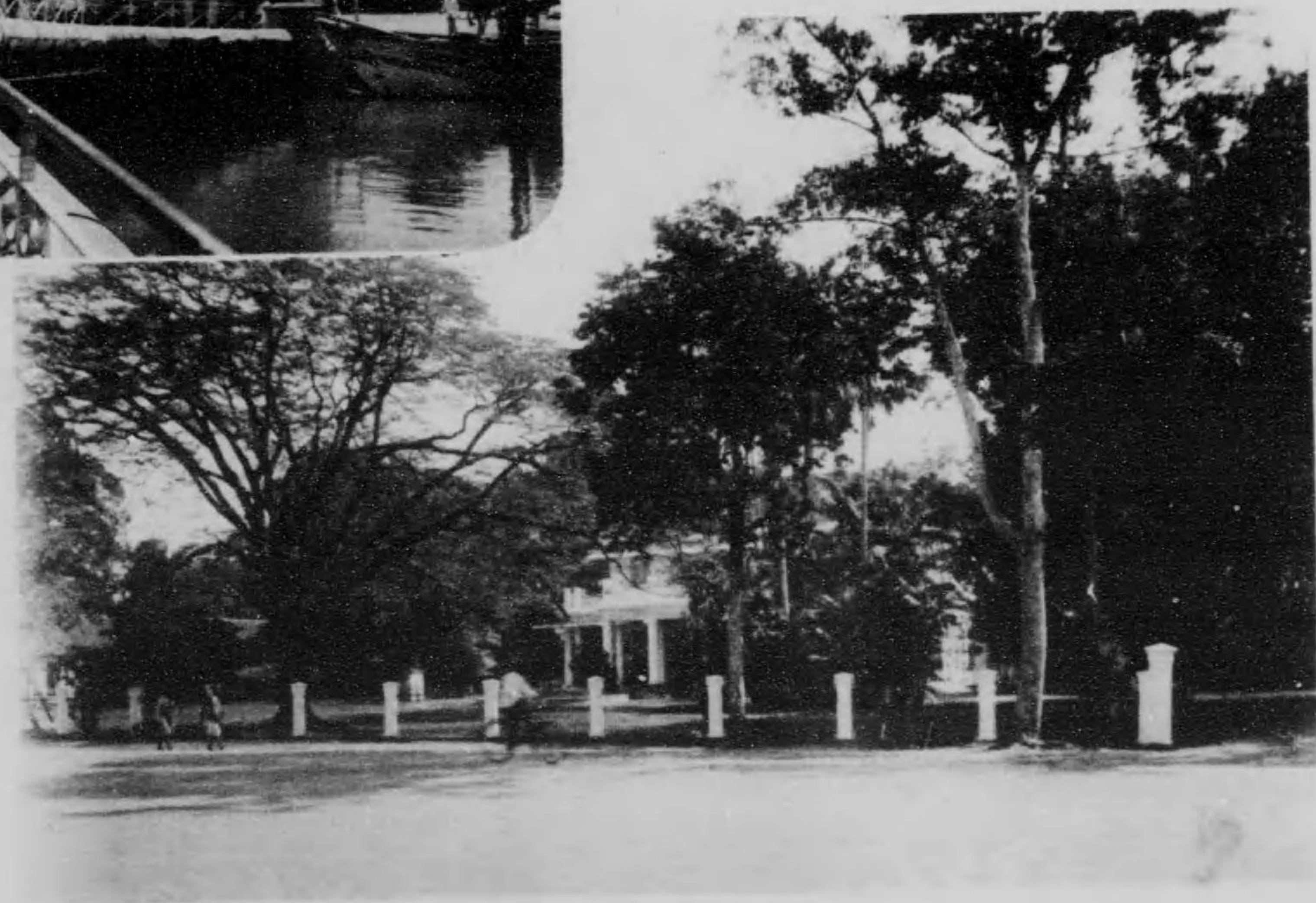
校學小人蘭の市ヤバラス



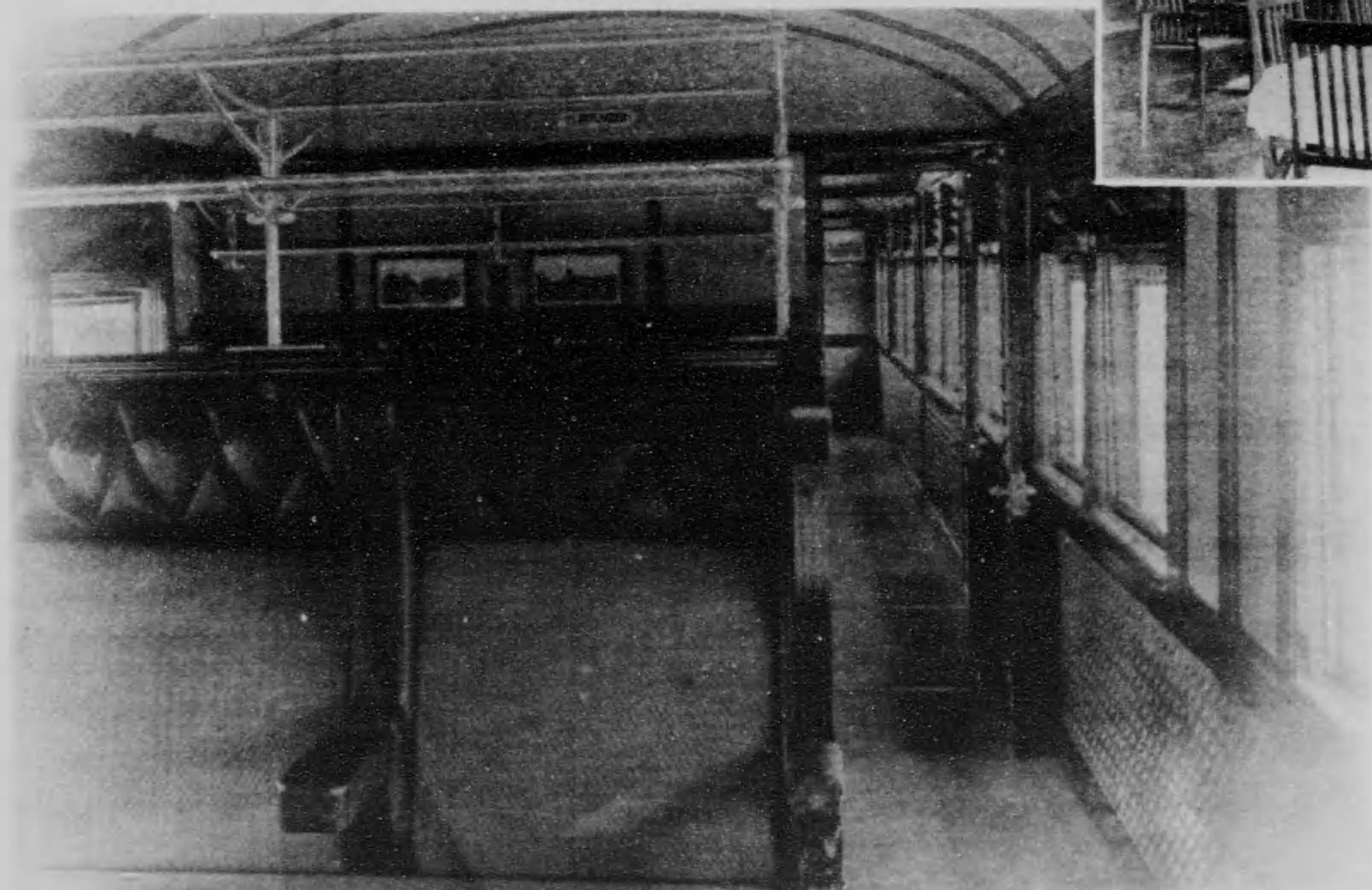
校學小人士るな市ヤバラス



ヤバラス市なる政廳



ヤバラス知事官邸



一等車内の備設座席は革又は藤張りにて顔疊に出來す

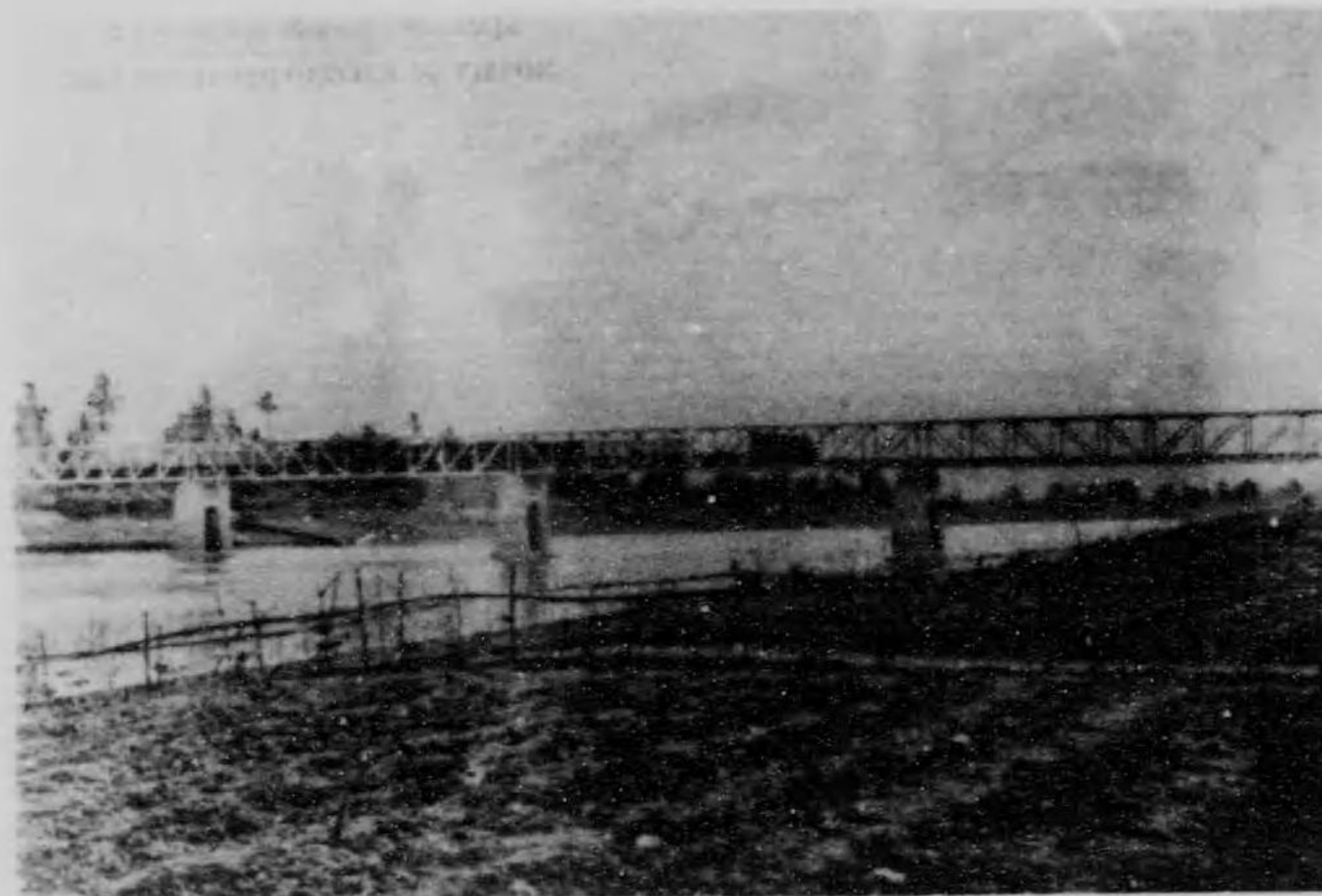


停車場の内の食堂

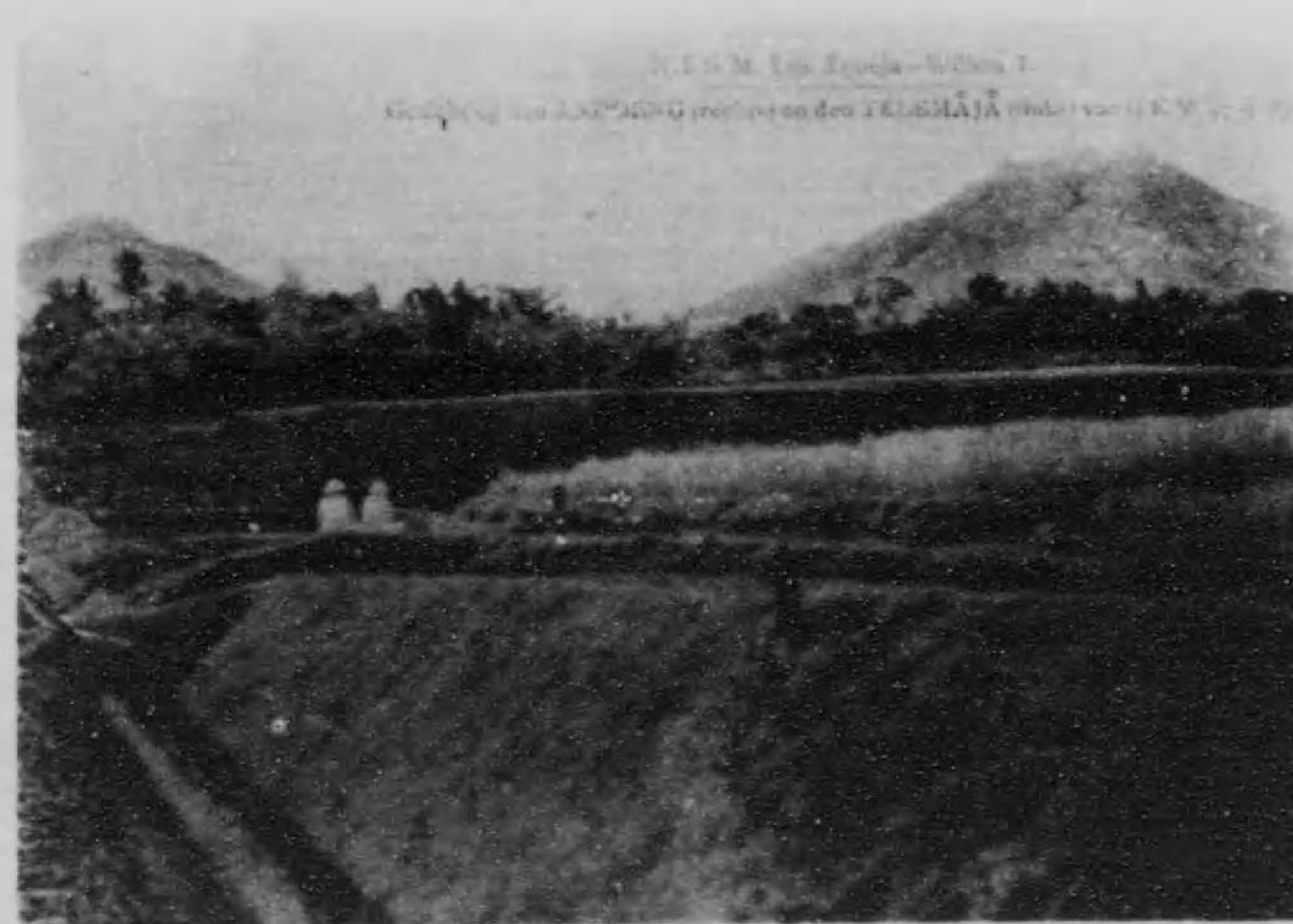
蘭領東印度鐵道は一九一四年の現在官私設合して一七五〇哩、内瓜哇一五四〇哩、スマトラ二一〇哩を有す。數設費一哩に付一六〇強ギルダ。一九一四年の收入四一、八五九、二二〇ギルダ、支出二三、三四二、四二ギルダ、乗客總數四七、三一、三二六人



道鐵と林培栽のクーチ



橋鐵ヤバラス



田稻き無り限望一



場車停

ス
ラ
バ
ヤ
を
發
し
ス
マ
ラ
ン
に
向
ふ
鐵
道
沿
線
の
所
見



臺明燈の口入港ンラマス

スマランには三年前拓殖
博覽會の舉あり日本と瓜
哇の貿易の進張に貢獻少
からざりき



長關稅と室務事關稅のンラマス



スマラン市の光景



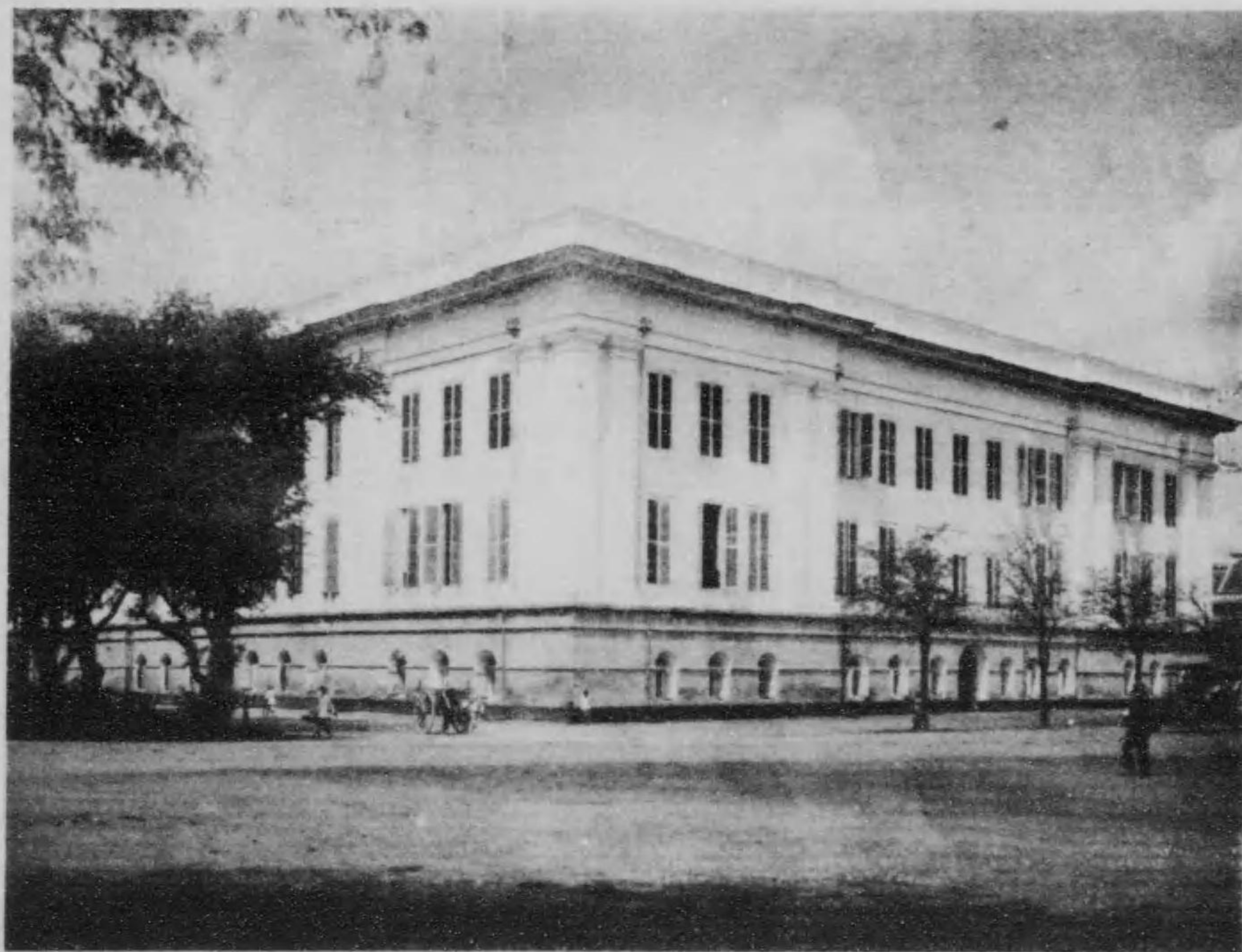
スマラン港水陸連絡

日本人の店舗のある
最も繁昌せる街路



ホ テ ル ヤ ン セ ン

スマラン市は古來
支那人豪商の根據
地とも稱すべき地
にして本邦品輸入
貿易とは密接の關
係あり。臺灣包種
茶の如き大部分は
此港より輸入せら
る。



廳 事 理 ン ラ マ ス



邸 官 其 と 官 事 理 ン ラ マ ス



ス マ ラ シ ン 鐵 道 本 部

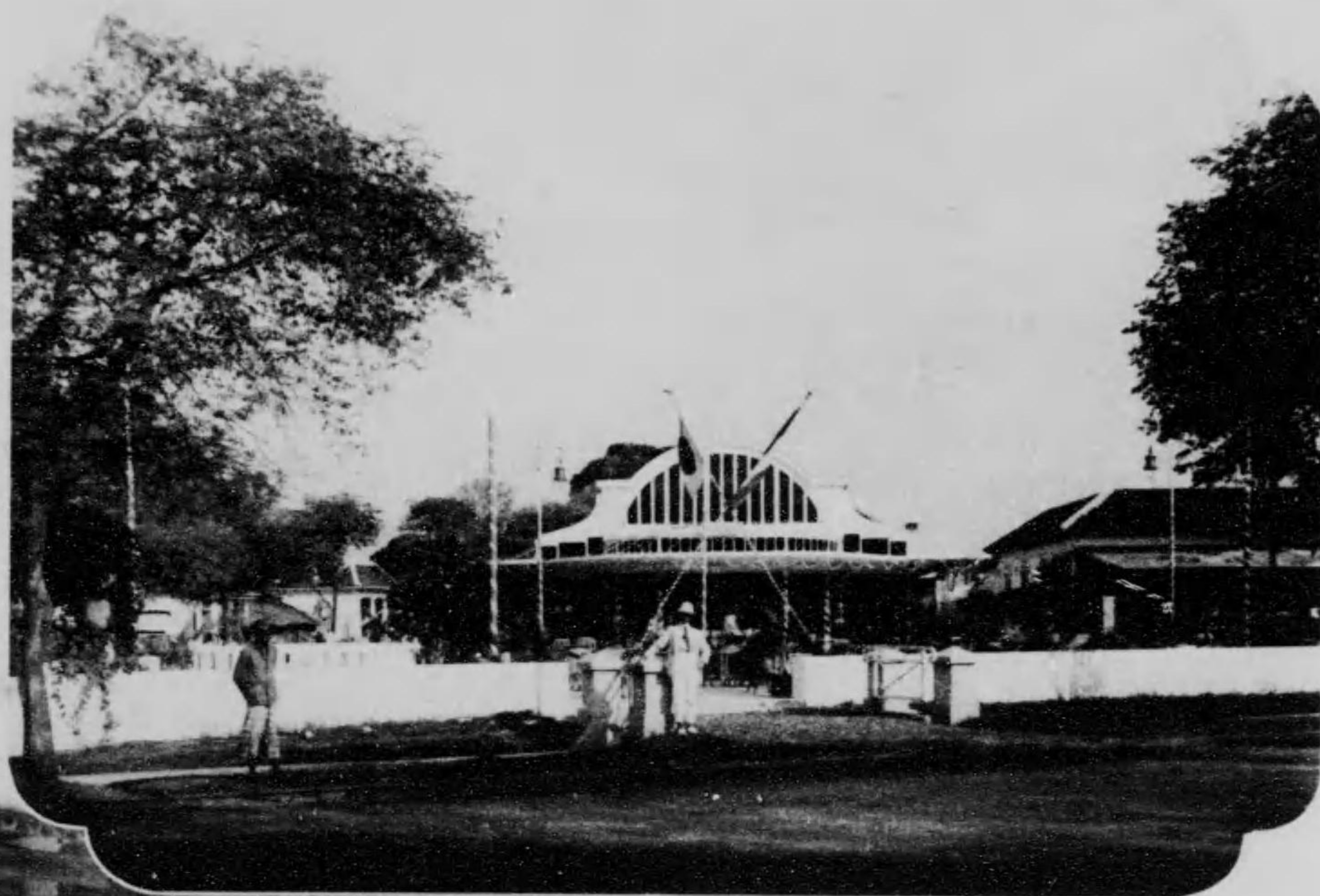
スマラン港は人口約十萬
 爪哇中央部の北岸に位し
 内外諸航路の寄港地たり
 スマラン及ソロ間の鐵道
 は一八六七年開通にて爪
 哇最初の鐵道なり、一部
 は廣軌鐵道より成る



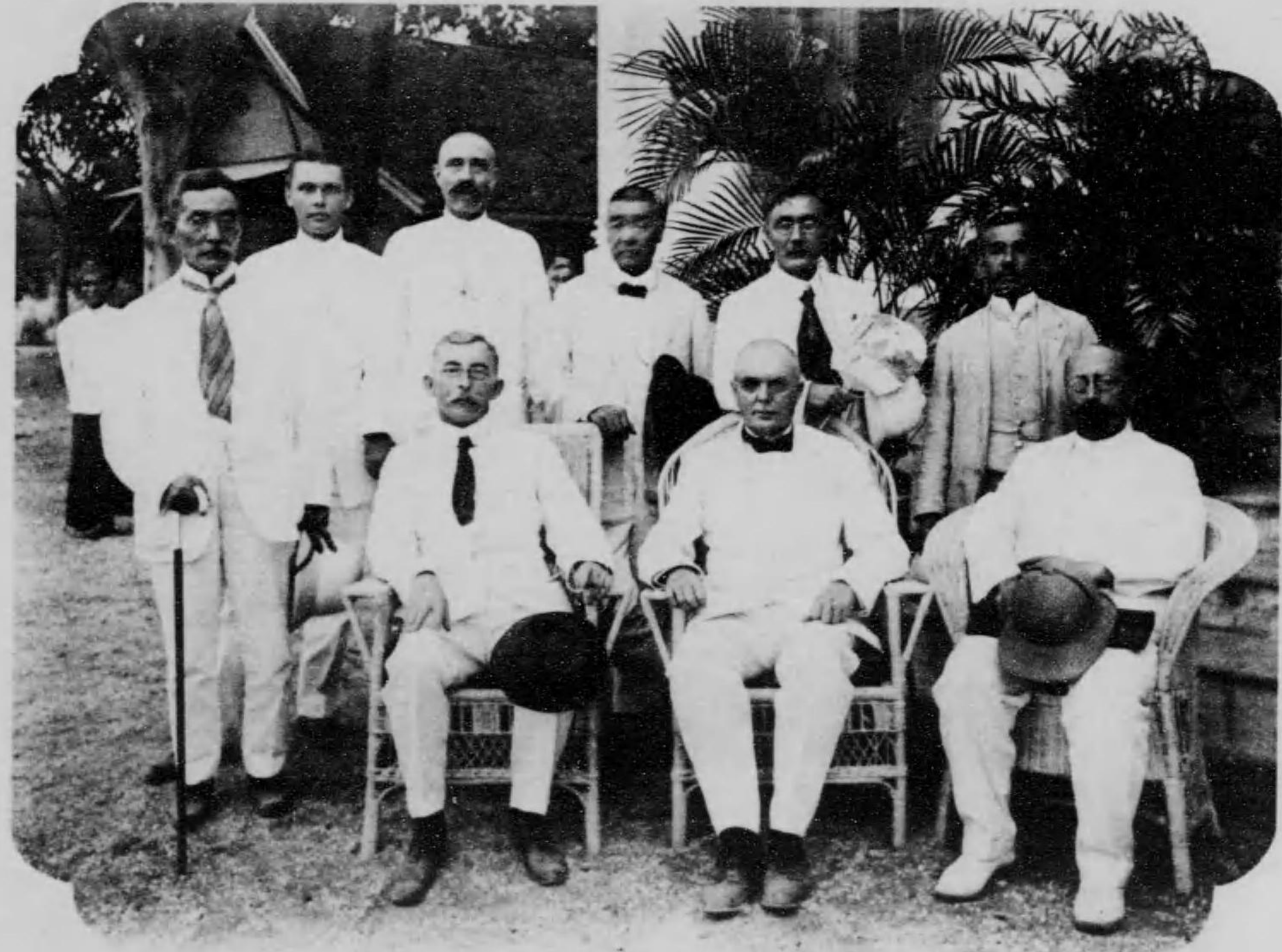
ス マ ラ シ ン 兵 營



問訪の員光觀と宅邸るなンラマスの君秧春郭豪富てしに民籍灣臺



同留在)家業實市ンラマス
場會迎歡團光觀の(共胞



宅社役重場工糖製ルートヤチノオウ
々社同ご志有團光觀るけ於に前關玄
長師技及人配支映春郭長

(圓萬拾五百金本資立創年八〇九一)場工糖製ルートヤチノオウ



同
妃
殿
下



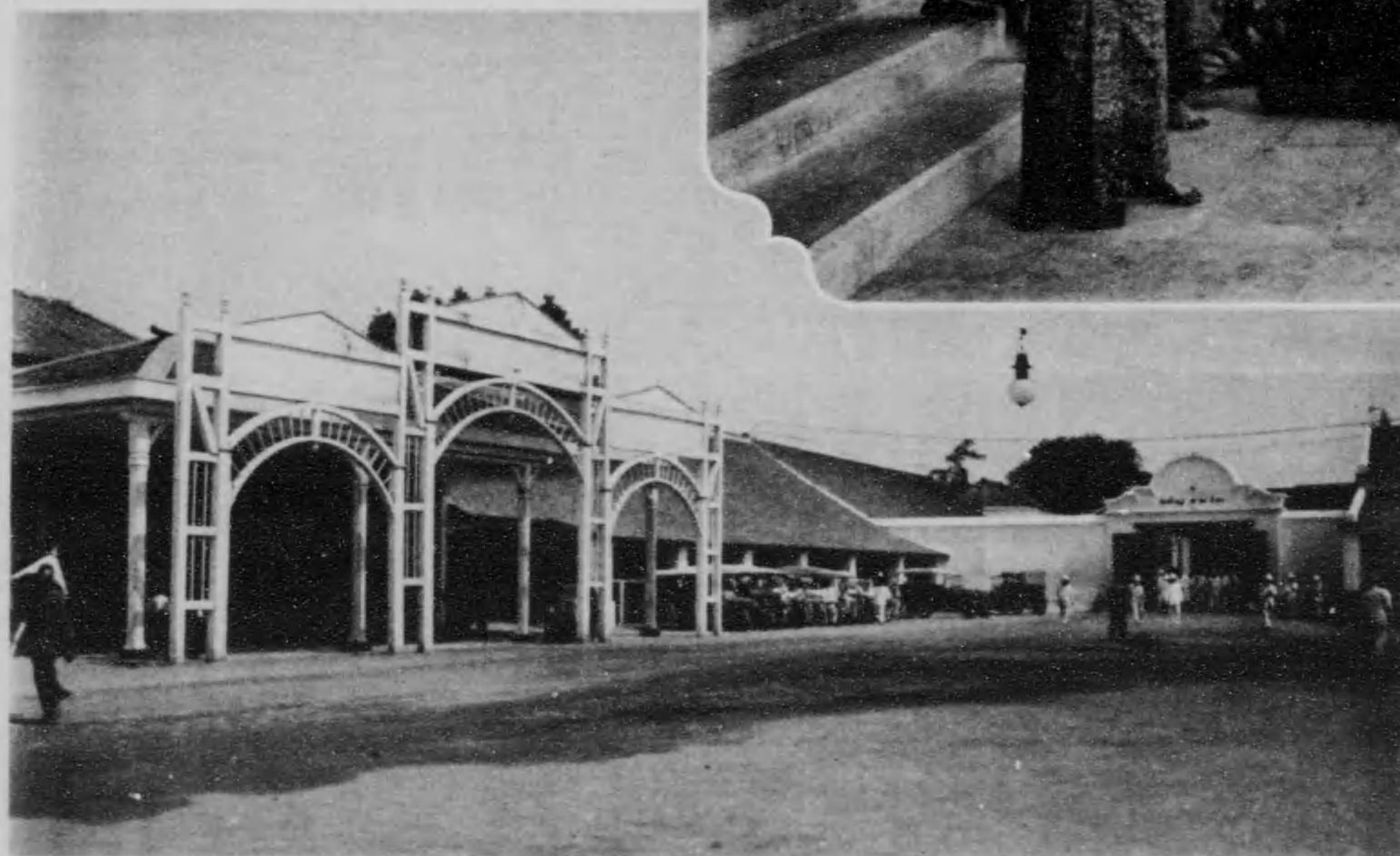
ソ
ロ
の
王
殿
下



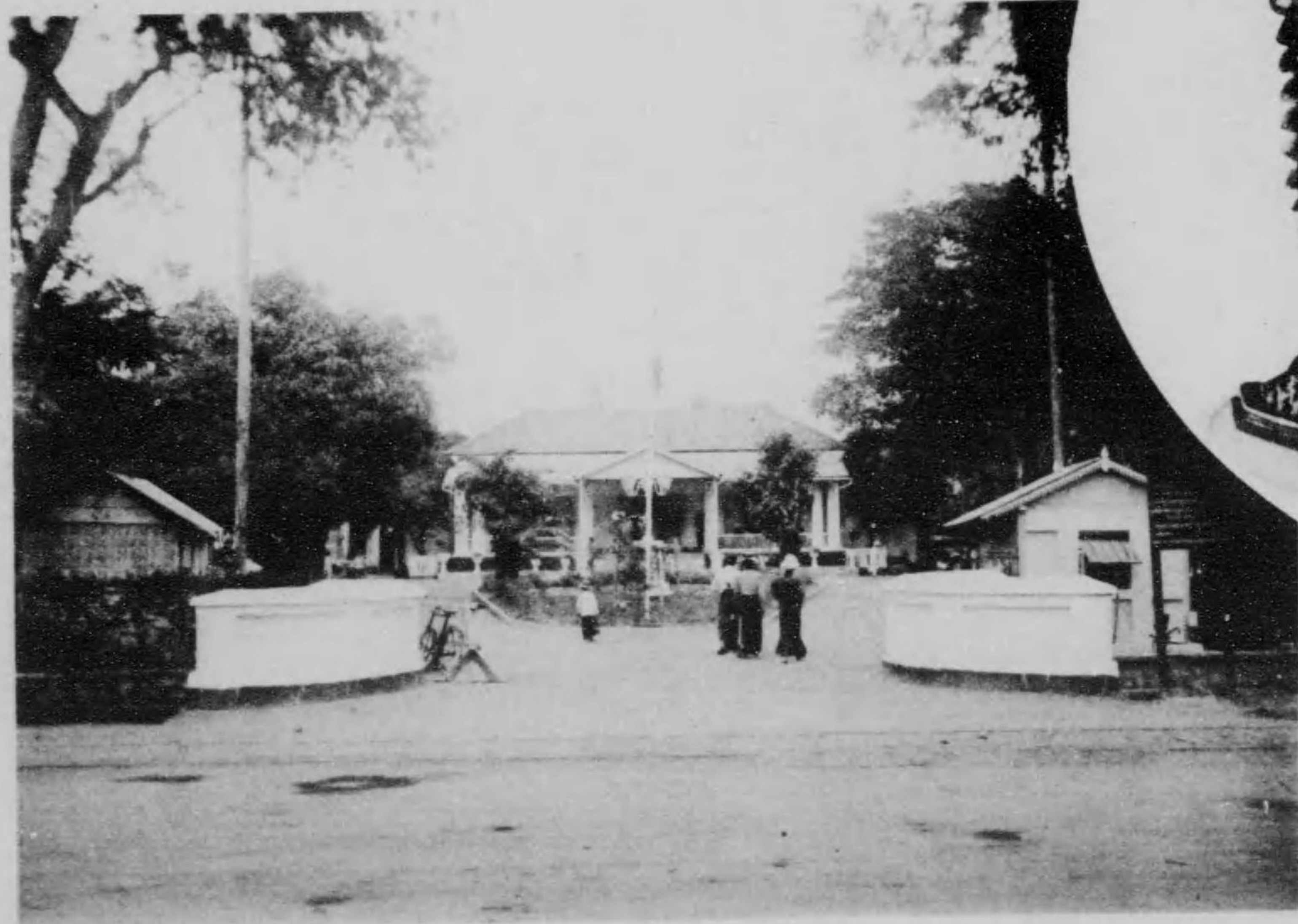
りあつれさ回線は夢き暖き舊の前年百三てし然依はに内城一部一の城王のロソ



官顯はつ立に側左、口入の城王ロソ
りなるたへ迎出を員團光觀の



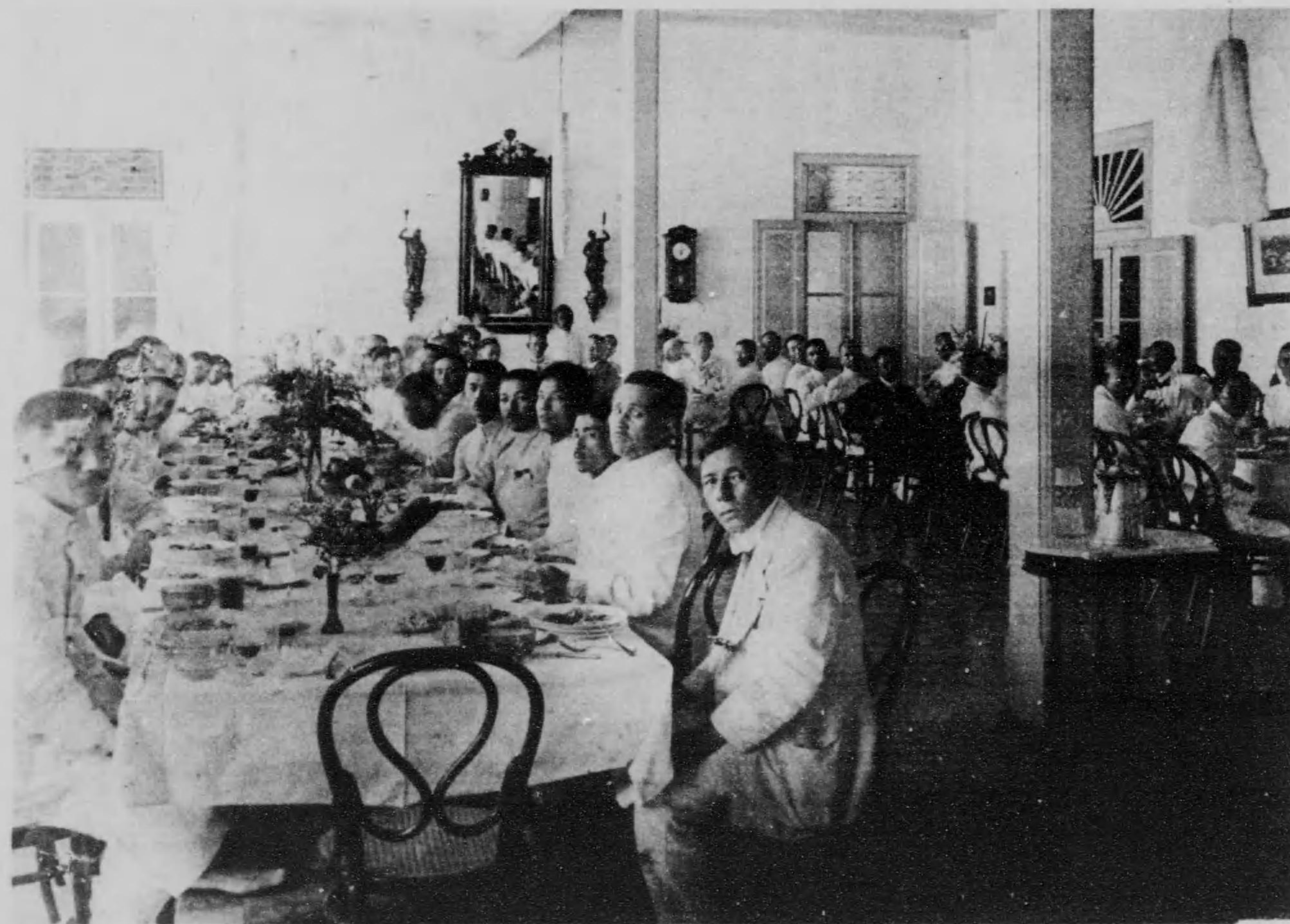
面 前 の 城 王 ロ ソ



口 入 館 物 博 ロ ソ

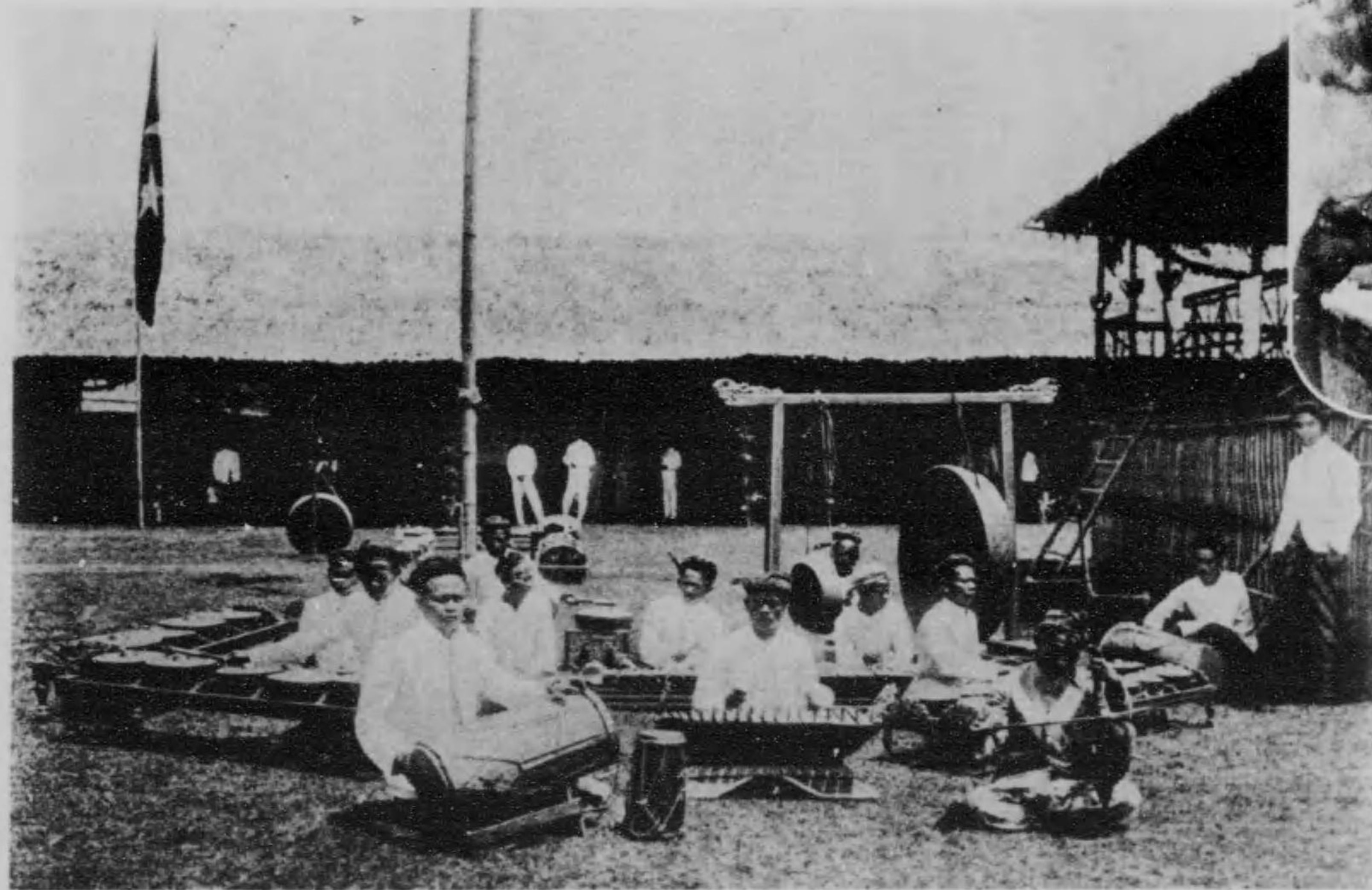


品術美古の付備に館物博ロソ



會待招餐午員團光觀てに家秧春廓ロソ

は士樂てしに類種多は器樂—樂奏の人土哇瓜
 を客名賓大。す發を音美の妙珍てし座土に園庭
 く設に前庭は又傍道を隊樂此す必はに時るゆ迎



上頭其てしと慣習の人土哇瓜
 カドツへる謂所る冠を帽紗に
 様有る着き捲に頭をフーチ



FRANGIPANI AND SAUSAGE-TREE.

熱帯の特色た芳香馥郁た花卉



熱帯地の
 果物の
 類
 マンゴ
 王を稱
 果物を
 に果科
 類を語
 るに足
 らじ
 熱帯地
 の果中
 の王を
 稱せら
 るる南
 國の
 果物を
 味はさ
 るる者
 は共
 に果科
 類を語
 るに足
 らじ



景光の街市ヤジクヨジ



墟廢の城水ヤジクヨジ



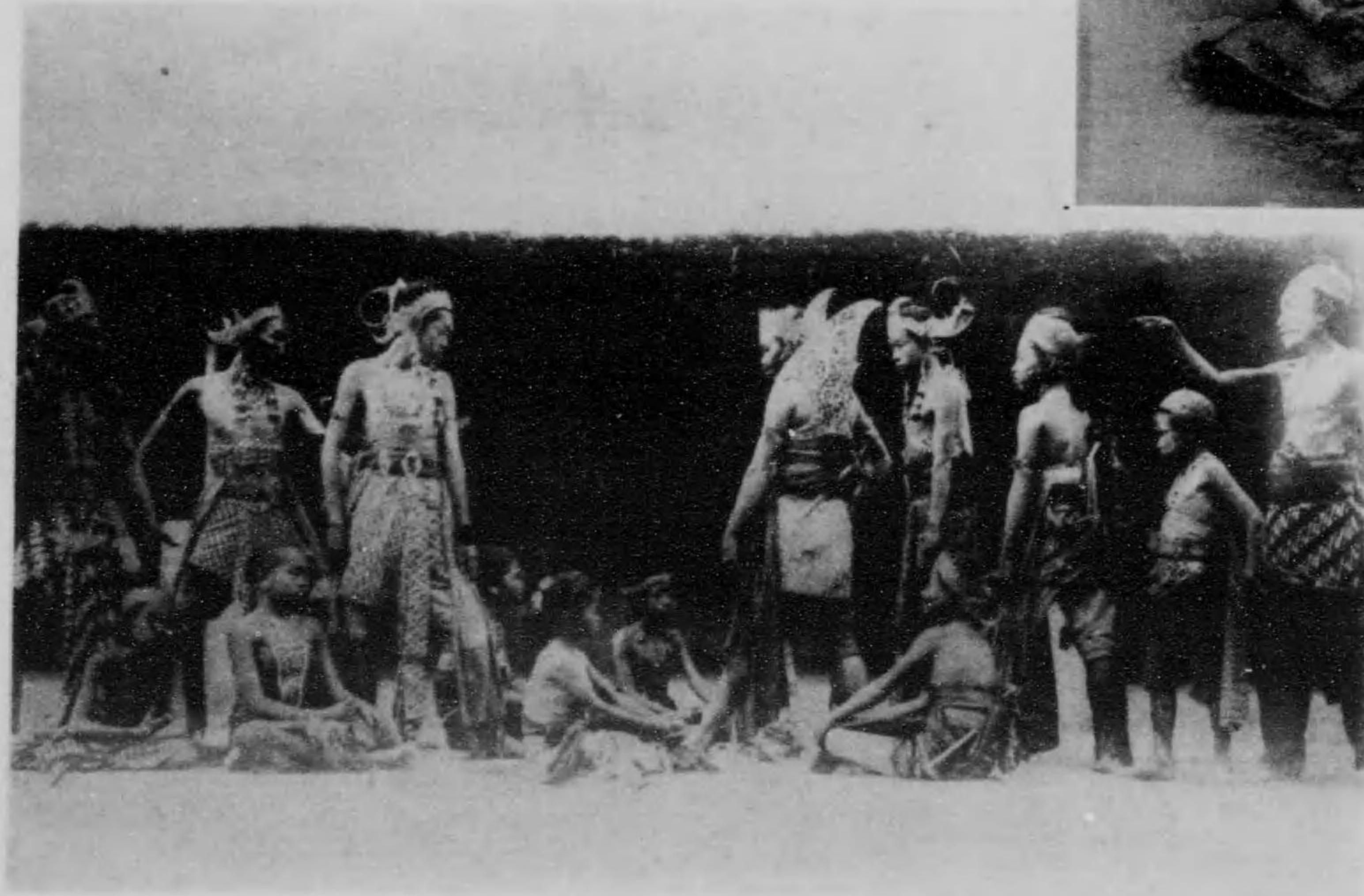
ジョクジャ市なる土人婦庭
前にてサローンに繪を書く
右に立てるは其夫なり



りな名有て以を造製ソーロサに共は町ヤジクヨジび及ロン

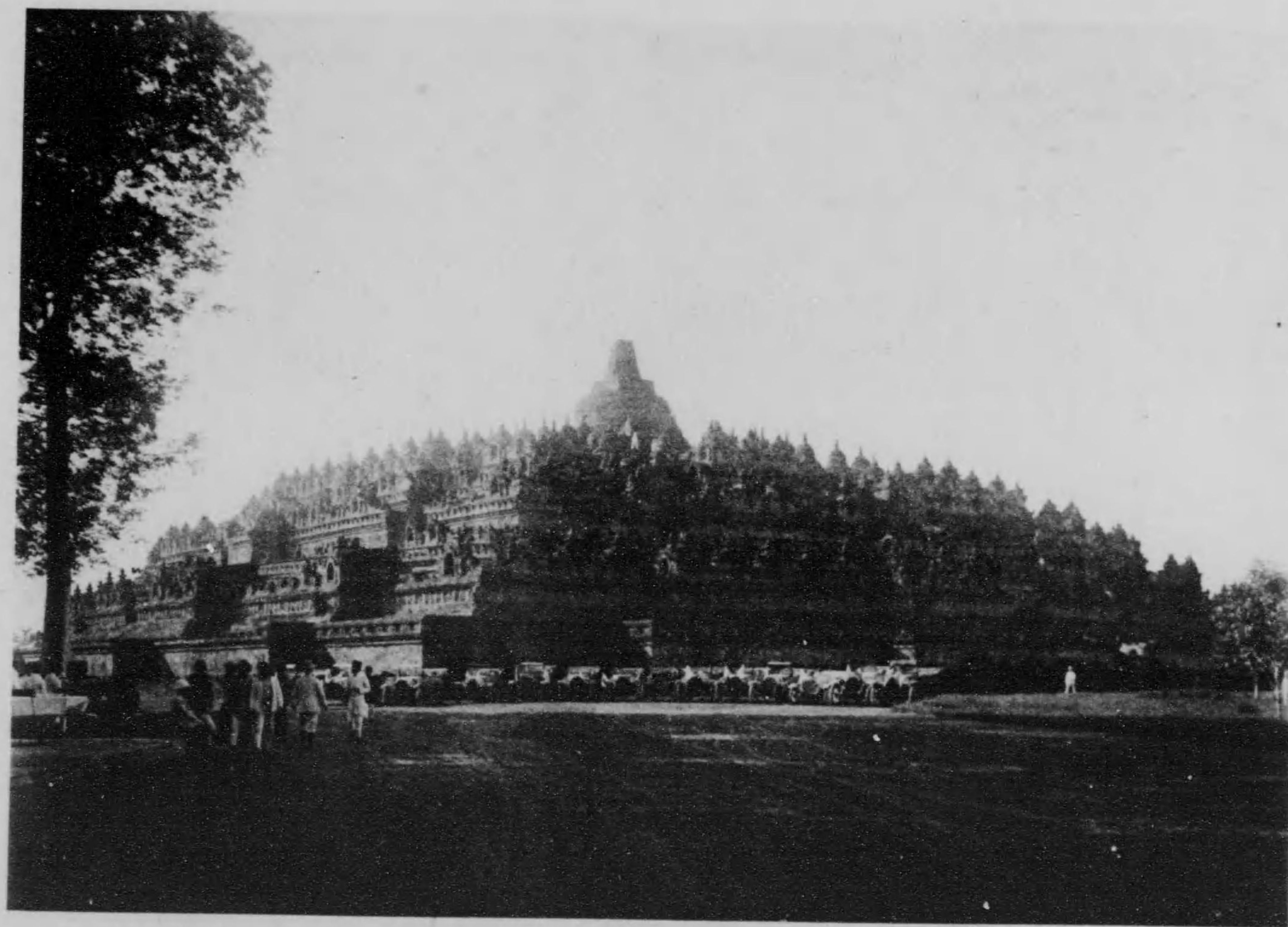


下層社會の婦人は
サロンを高く着け
胸部までを被ひ其
上部は裸體なり。

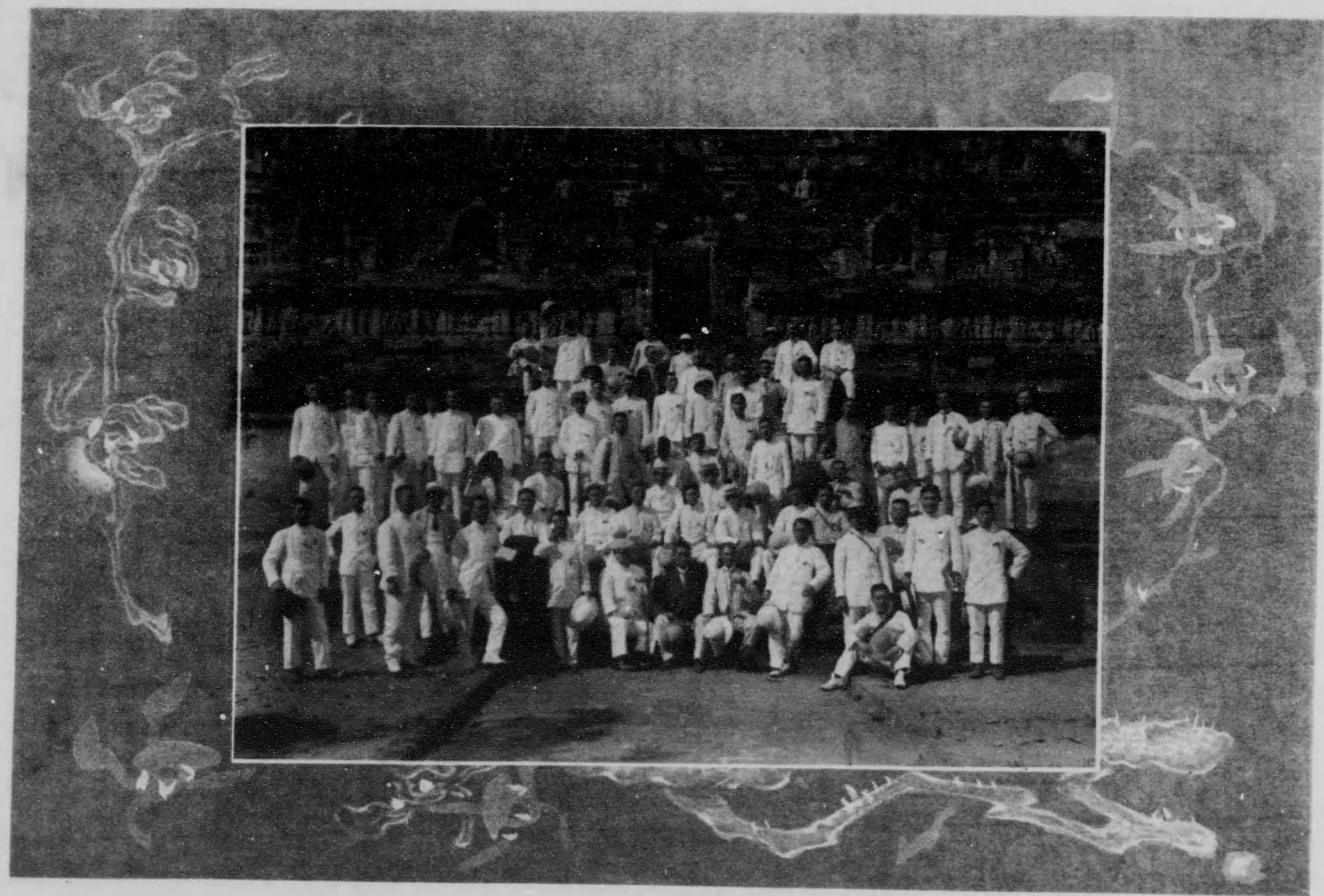


瓜 王族及貴族は毛織物、天鵝
哇 絨又は絹地に美麗なる刺繡
の を施し、之に金銀珠玉を鏤
花 めたるを式服とし又結婚用
婿 の禮服は上下を通し美麗な
と る刺繡を施すを常とするも
花 普通民日常の服裝は極めて
嫁 簡單なり。

瓜哇土人芝居一ヨクジャ



稱と築建の前年百二千そ凡餘間七十さ高の部高最の閣尖塔佛餘間十八各長壁側方四一塔利舎佛のアドボルボ
りへ及に哩三約は長延總の段階及廊行の層各て而りな岩溶の色灰鈍は又トイカラトの質孔多は材壁れらせ



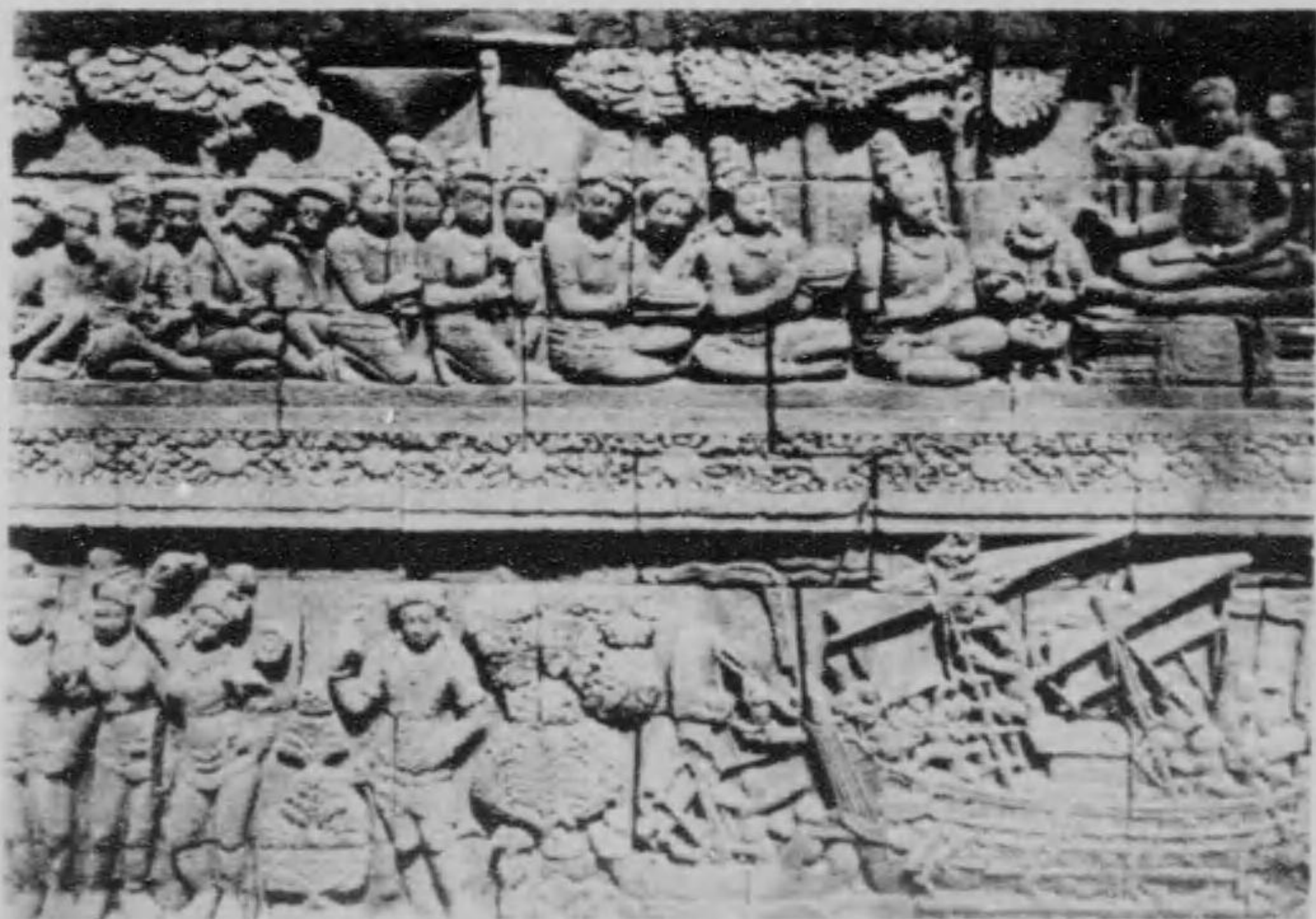
同一團光觀るけ於に前塔利舍佛アホドルボ



塔形鐘るせ立群に上塔同



掩の塔形鐘)像佛石の上塔利舎佛のアドボロボ
(りた似にるせ浴入に桶呂風の陀佛てし落脱蓋



像の等使天は又陀佛の刻凸に面壁側の塔同



子獅造石るけ於に場廣の下塔同



無邪氣な土人小児

女子は凡て頭髪を
 稍や後頭部に結束し
 小形の簪を挿すも櫛
 を用ゆる稀也。青年
 子女は時に香氣を含
 める生花を挿し、耳
 には耳環を飾る中流
 以下に在りては皆跣
 足なり



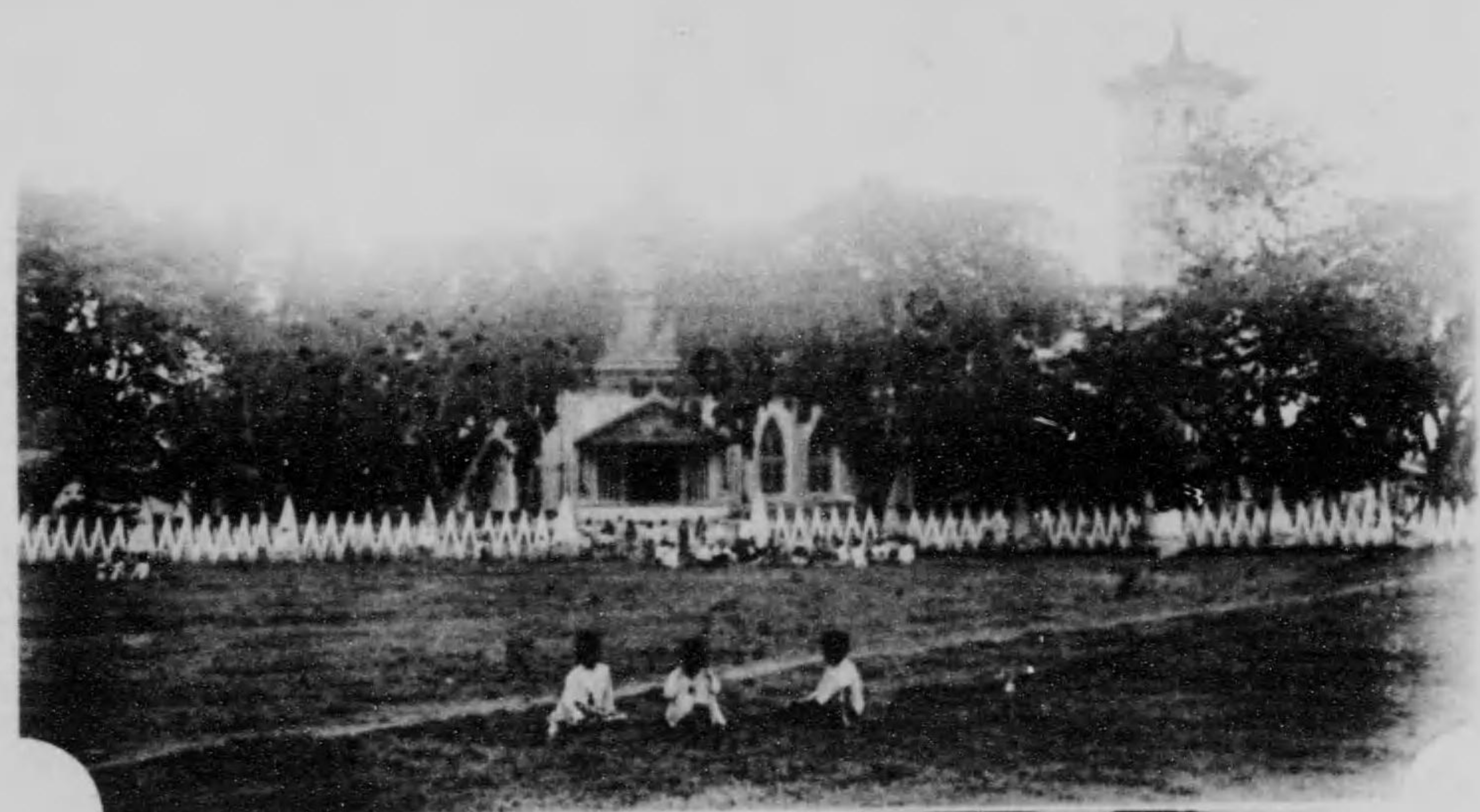
瓜哇の踊り兒



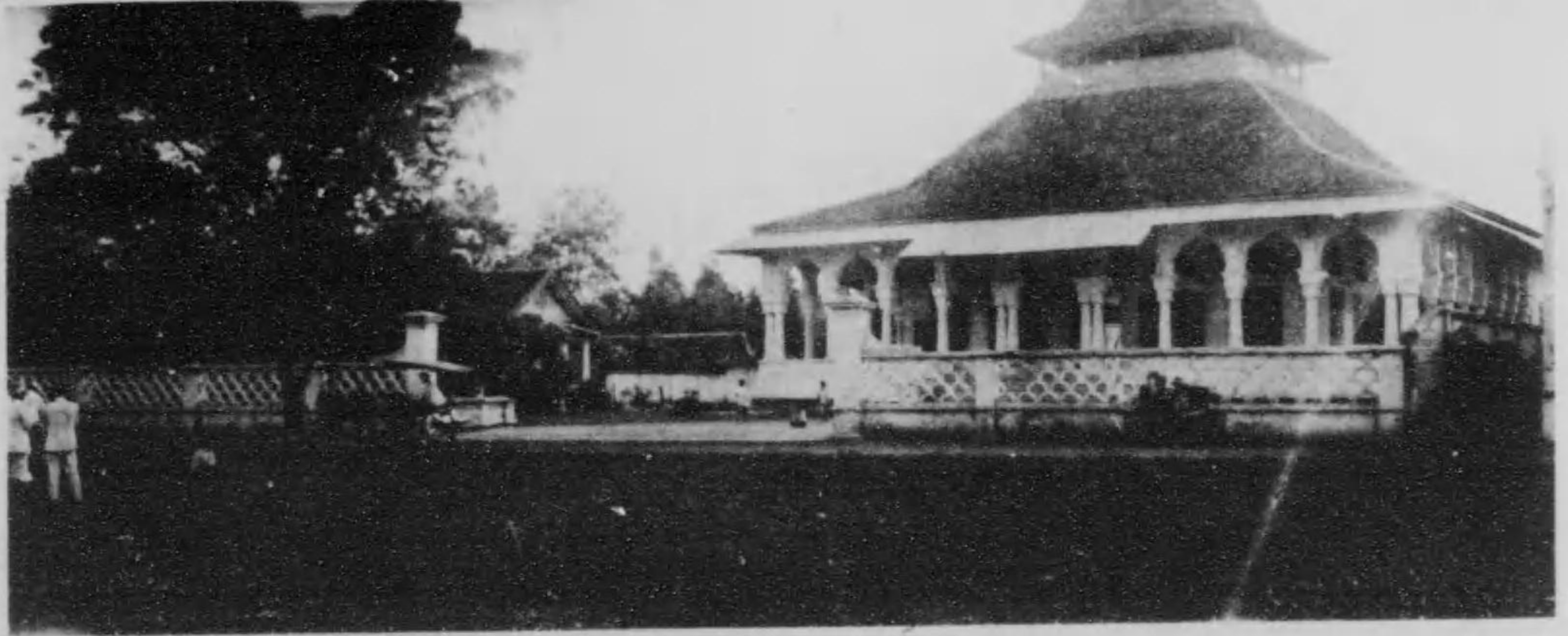
廳政のシドシバ



部一の道越山高るす通にシドシバ



中央爪哇地方には回々教
 信徒多く年々メツカに觀
 巡參拜する者多く、參拜
 團専門引受の船會社ある
 位なり



院 寺 教 々 回 の ン ド ン バ

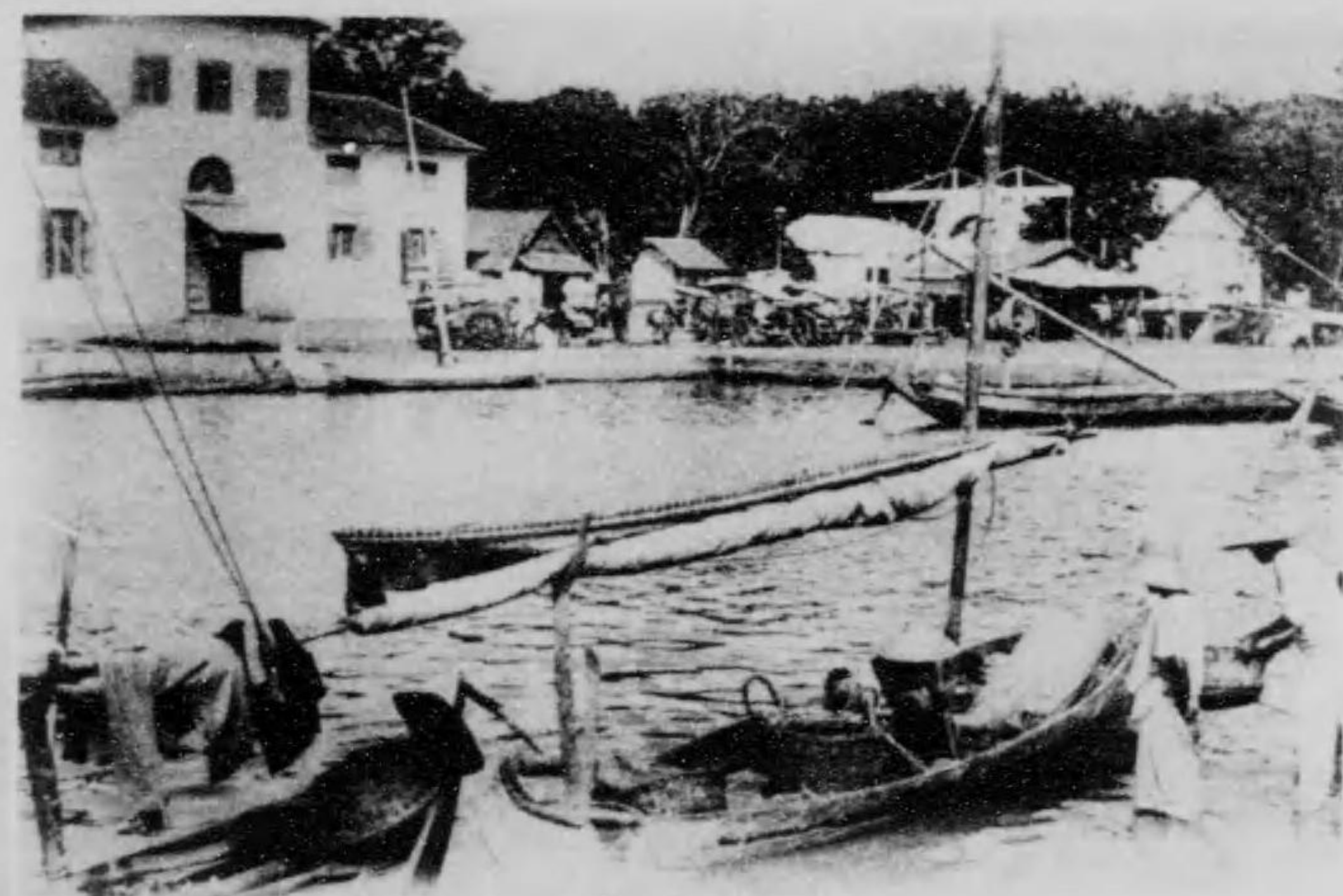
院 寺 教 舊 蘇 耶

アラビア人は爪哇に一萬
 九千二百人餘外領に一萬
 四百十人其數も經濟的勢
 力に於て遙かに支那人に
 及はずと雖も彼等は回々
 教の傳道者たりマホメツ
 トの末裔たるを以て宗教
 上の勢力は實に偉大なり



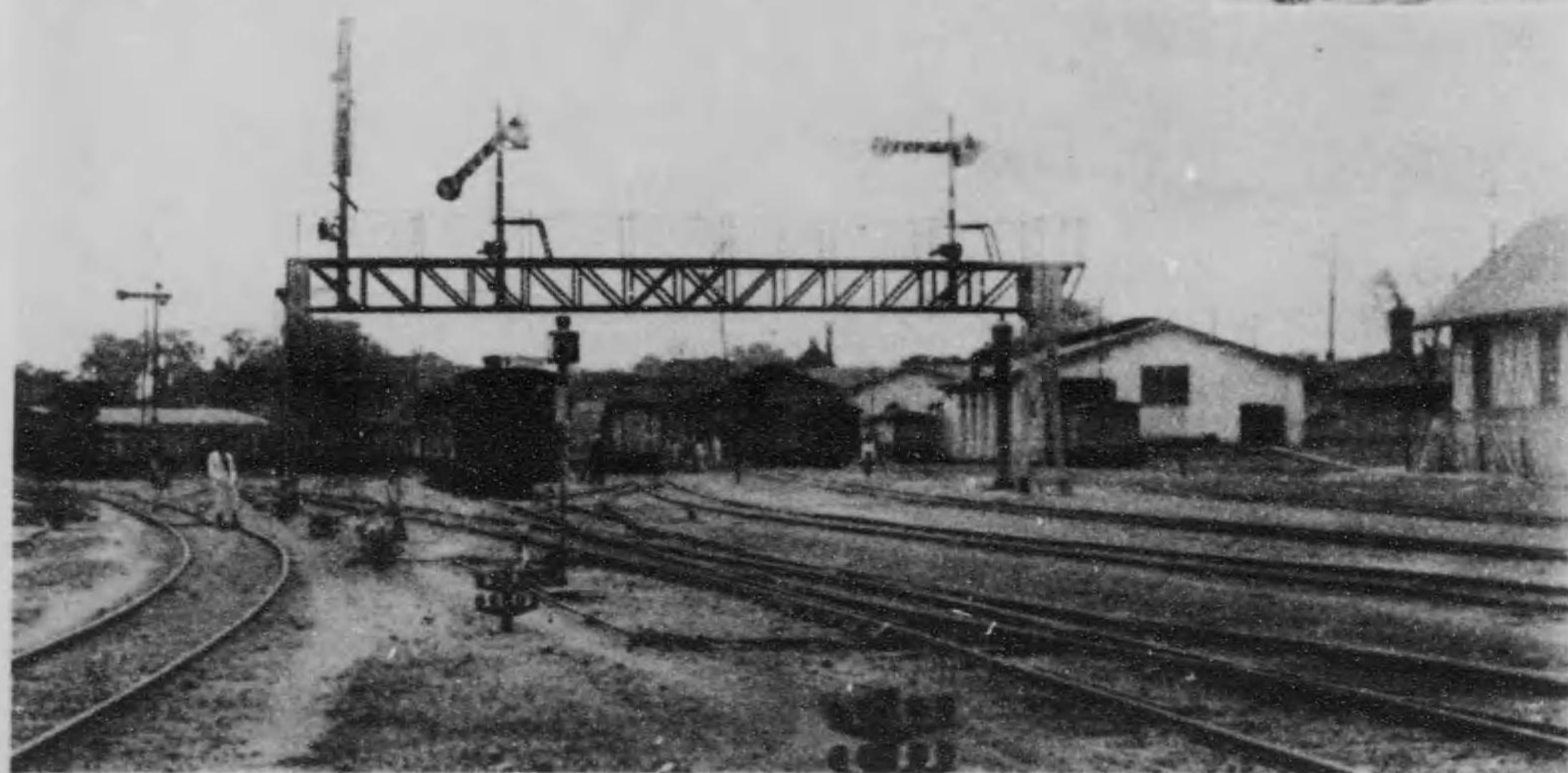
西はバンドン——校學のバンドン
 な區地の要兵てしに地高の哇爪部
 の備防軍陸の哇瓜るなアビタバリ
 るさつ移引く悉に地此は部幹諸

店貨雜の人邦るせ展發に市バンドン



るす通を中市アピタバ
舟人士と景光の岸河

バタビヤは蘭領印度
 の首府にして殖民地
 中央官廳の所在地な
 り其海港をタンジヨ
 ン、プリオクと名く。
 バタビヤ舊市を距る
 約六哩なり、運河鐵
 道及道路を以てバタ
 ビヤに接續す



場車停クオリブソジンタ



門旋凱の外部マヒタバ

バダヒヤと本邦長崎邊とは三百年前より交通貿易行はれたるは史實の示す所の如し、本邦のジャガタラ芋の名は此爪哇より來れりと知るべし

爪哇拓殖史上の三偉蹟
 一、佛の鐵將ダエンデルの百哩餘軍用鐵道の強制築造。
 二、スタンフォード、ラツクルスの地代上納と強制勞働。
 三、ファンデンボツシユの強制耕作法の施行

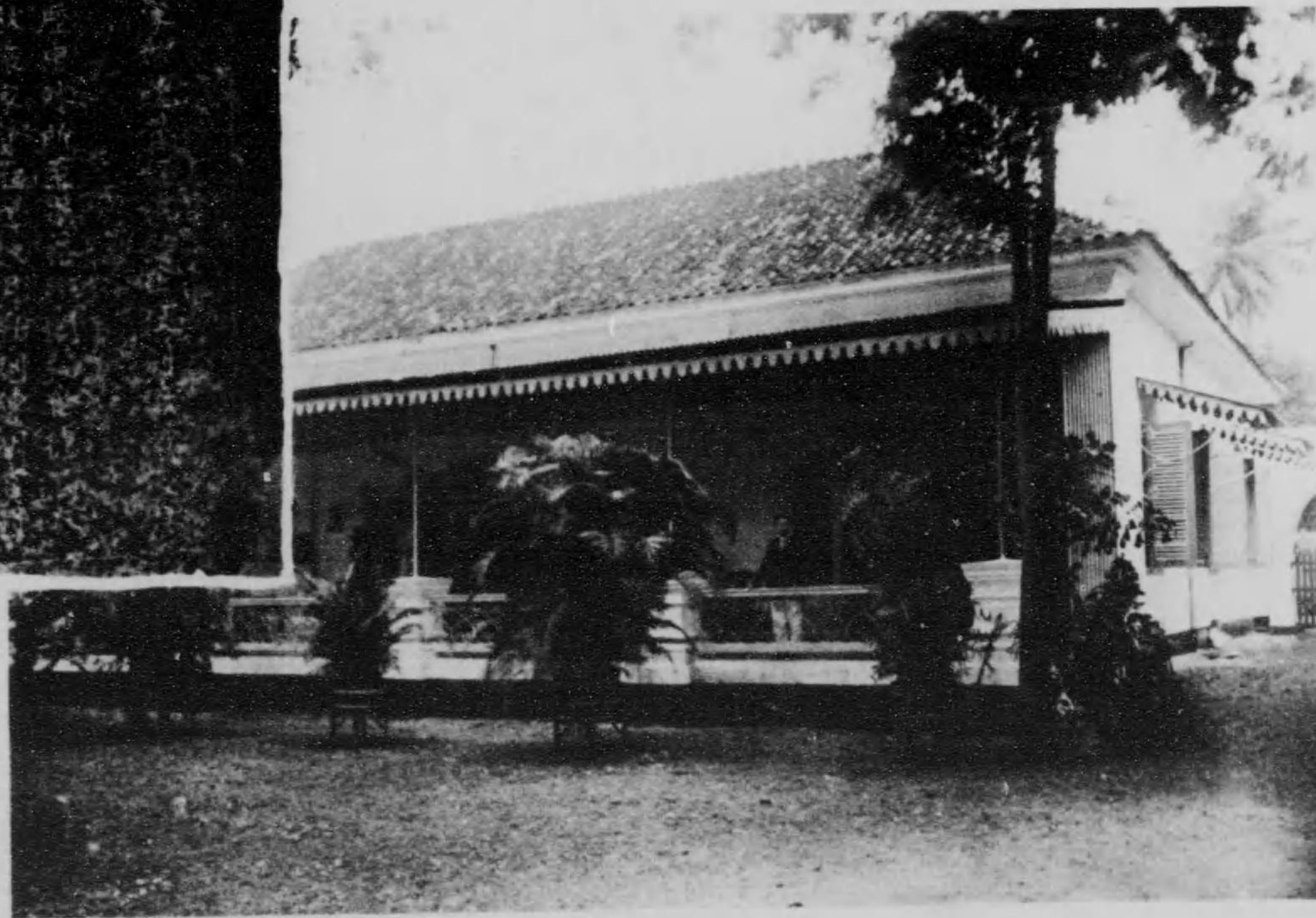


首梟の人扱と道街ラタガヤデ

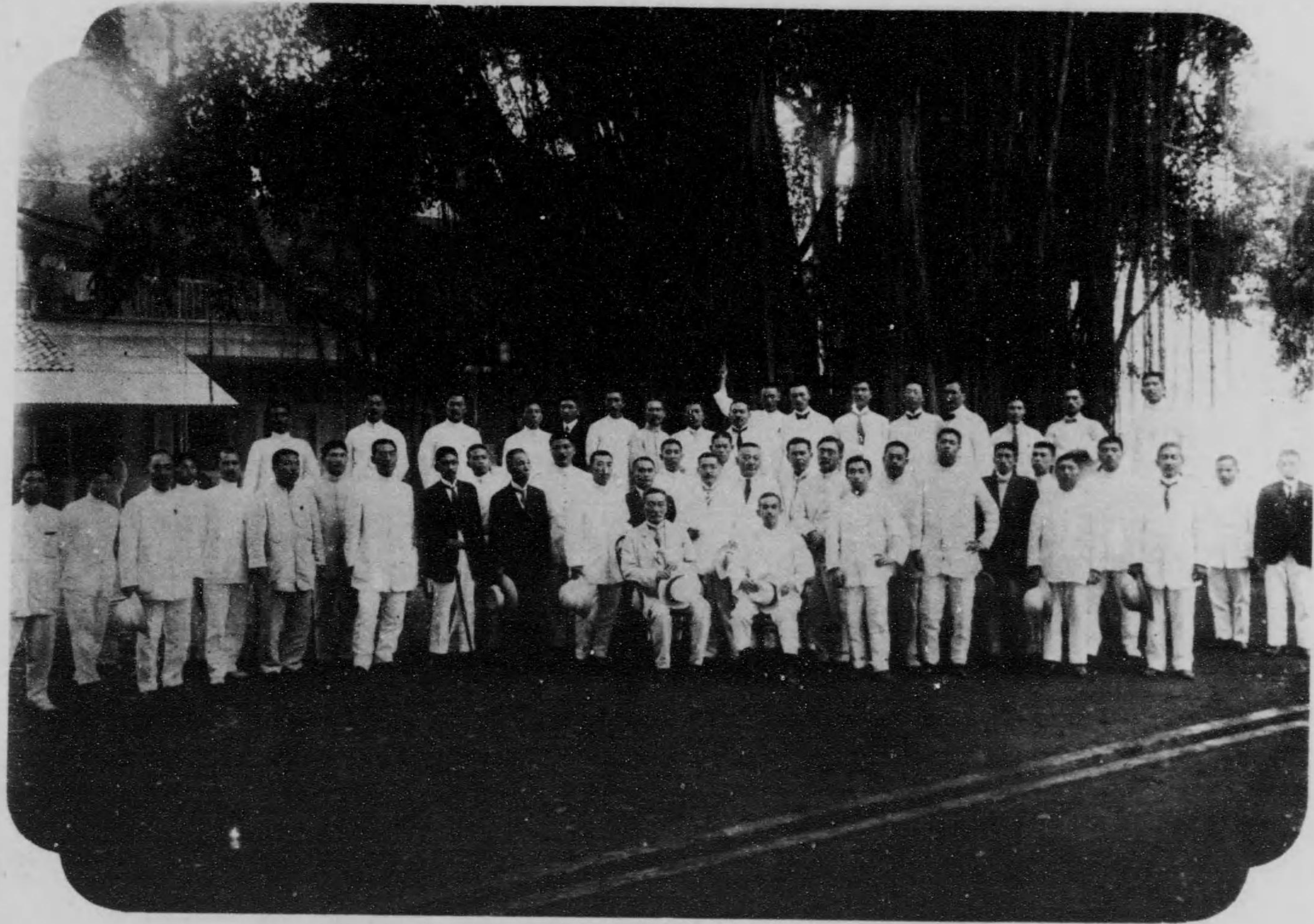


留愛碑は我領事館の前庭に移して保存せらる、長兵衛の碑と稱する、碑の裏面は漢文にて、表面は和蘭文なり、邦人長兵衛と云ふが此地に來り蘭人の爲めに盡力の事蹟を記したるものと解せらる、長兵衛は西暦一六〇五年長崎に生れ、一六五五年パタビアに客死せりと云ふ。

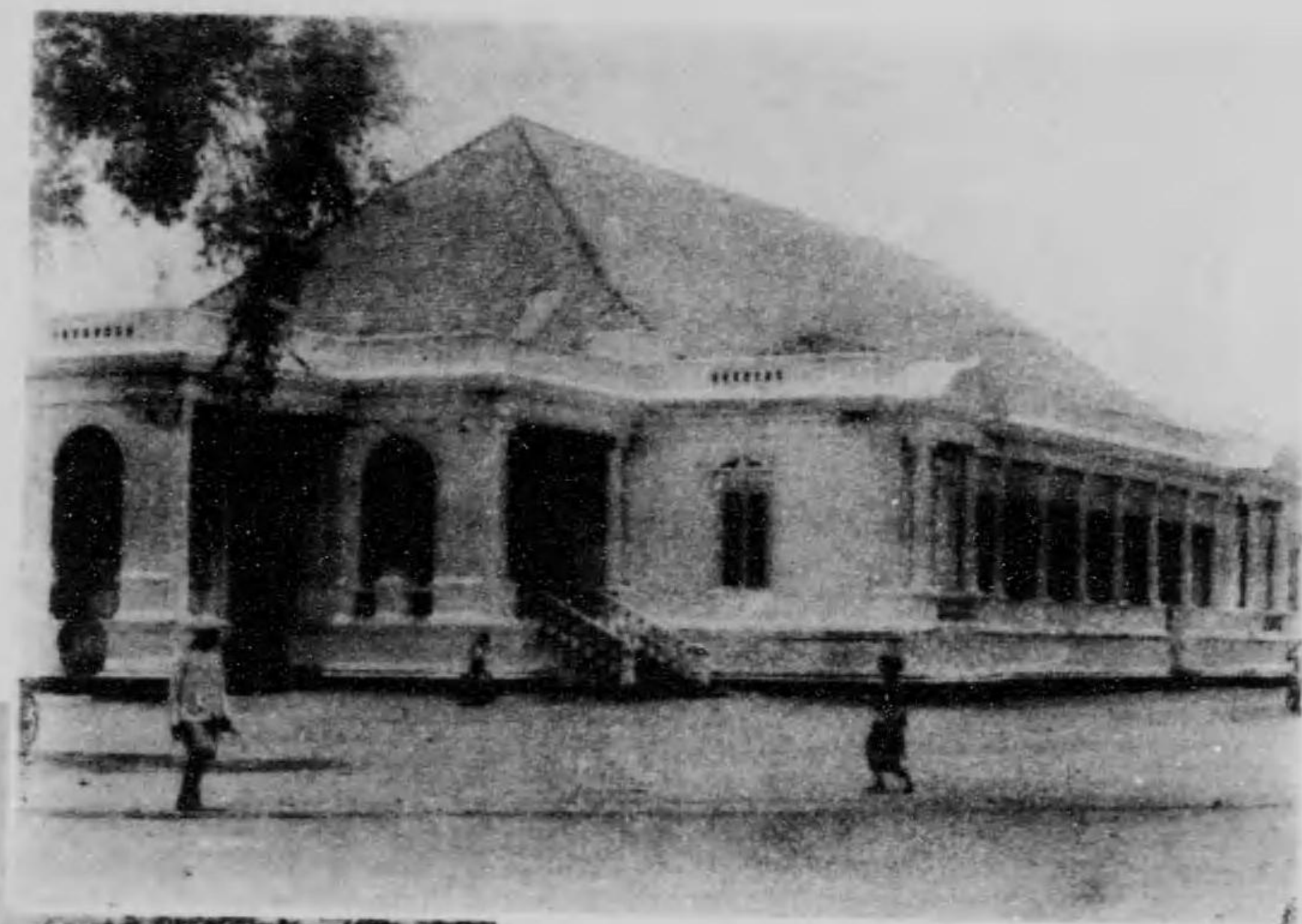
領事館庭園に建てられたる留愛碑



バタビアの大日本帝國領事館と松本領事



影撮念記團光觀の下樹大前庭スデンイルテホ市ヤビタバ



はに内館——館術美のヤビタバ
 然燦碧丹るめ鏤て以を石寶銀金
 地各他其品術美の來古哇瓜るた
 工細るれ成りよ巧技の有固人士
 前年千に眞し列陳集蒐を等作傑
 の常非の化文術美來馬るけ於に
 むしせ見想を歩進

パタビア市は上下二部に大別
 し舊市の部を普通パタビアと
 稱しウエルトフレードンは新
 市街の稱呼なり歐洲人住居區
 域に屬す一九一二年調査人口
 總數十六万三千人内歐洲人一
 万五千人支那人三万人土人十
 一万五千人亞刺比亞人千八百
 人なり



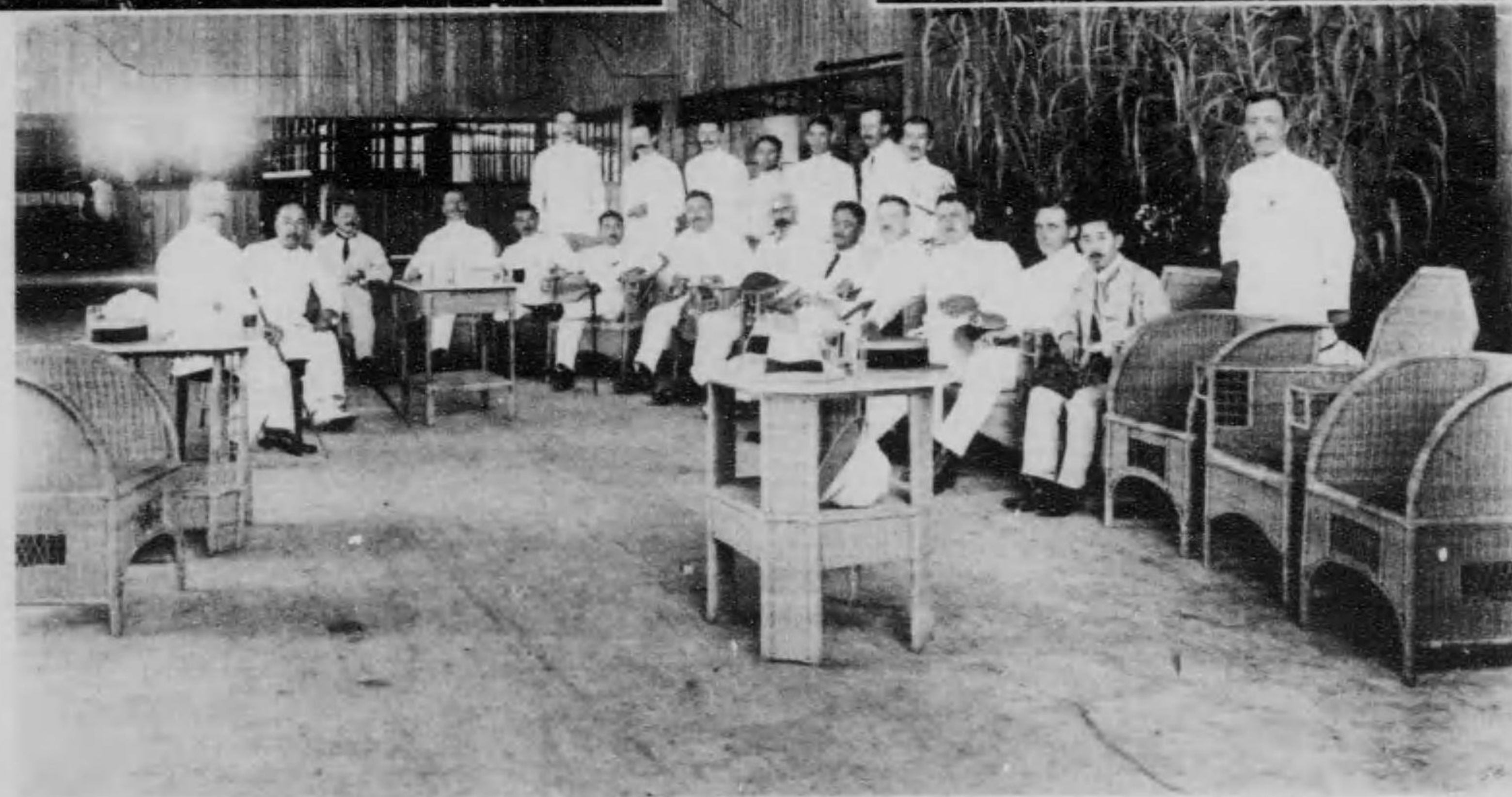
道 街 の ン デ ー レ フ ト ル エ ウ



園茶上山

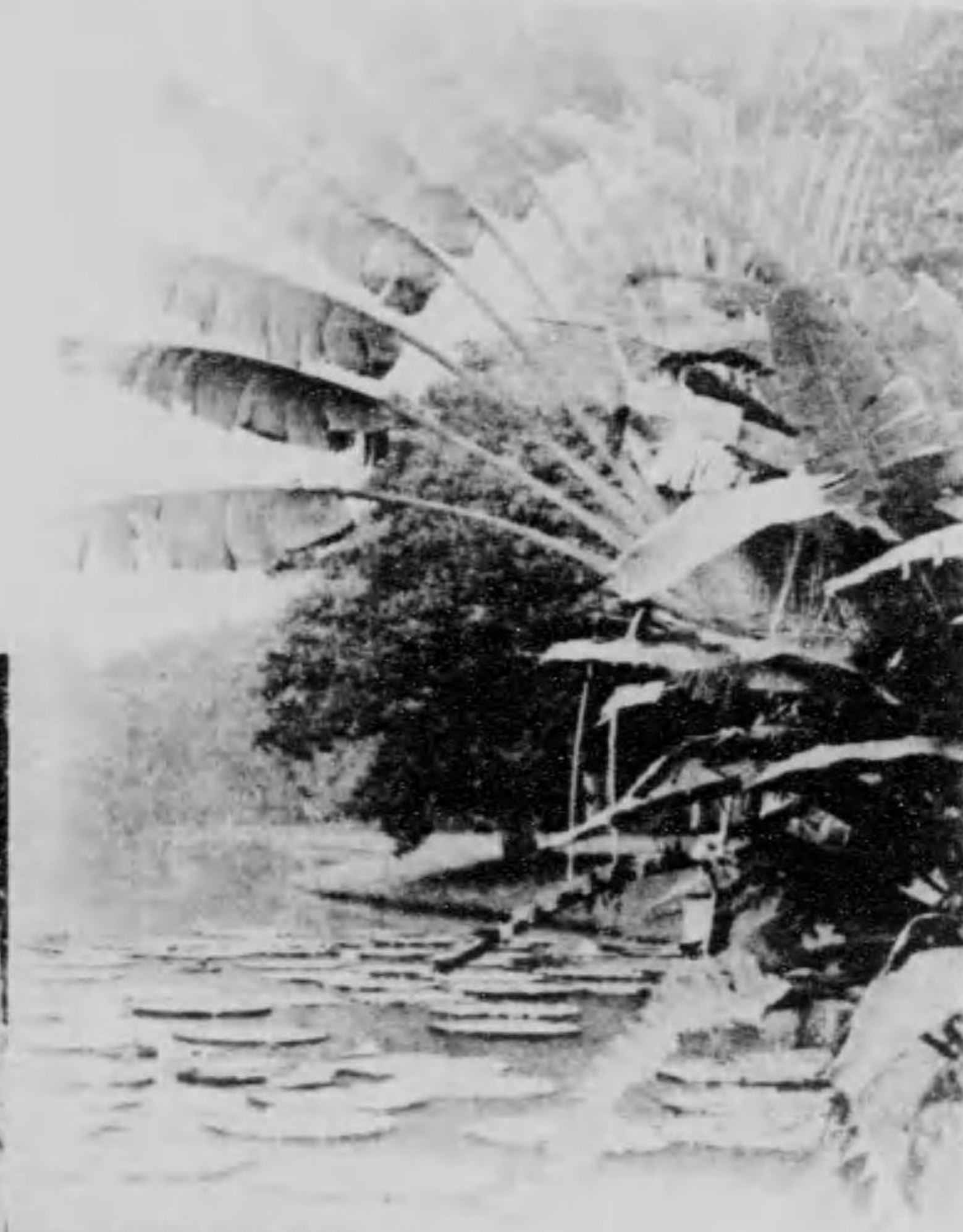


場工茶製



事領本松と行一團光觀内場茶製のソラ1ボ

園中には熱帯園の
重要な喬木樹種
大部分を占め實用
攀援植物、灌木類、
草花類、水生植物
羊齒類、蘭屬、耐
陰植物を栽培し簇
葉植物羊齒類の苗
圃あり。有用植物
一萬種を藏す。園
内景趣雄大四時花
絶へず眞に南洋の
仙境と稱すべし



池蓮と子椰扇



ウニベアの内園物植グルゾンテイバ

植物園内の風致に富める池邊に白壁の總督官邸あり、蘭領東印度主宰者の居る所なり

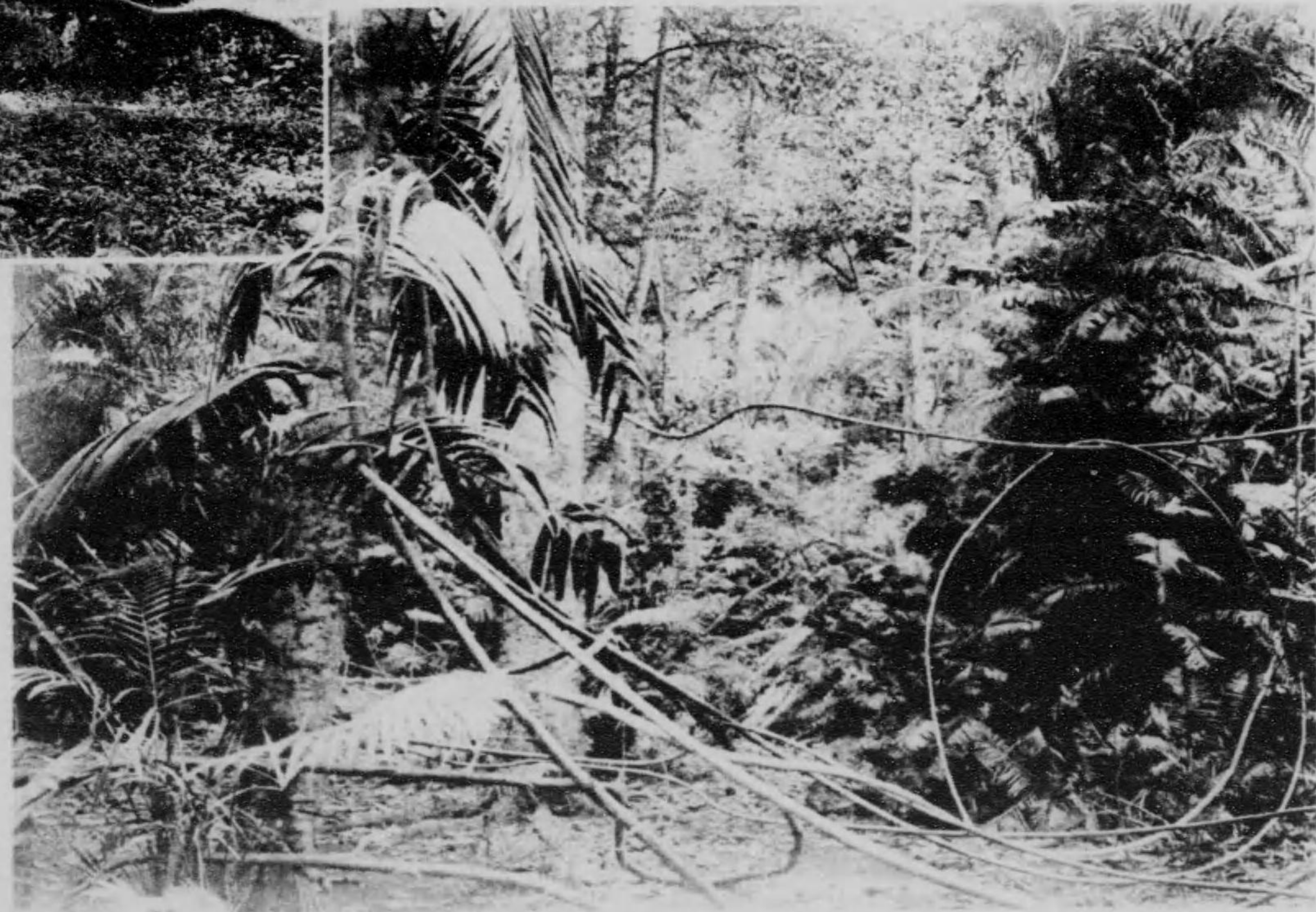


蓮池と總督官邸



種果花無るす有を根氣

此植物園は一八一七年創設せられ
 一八六八年經濟植物園及農學校設
 立せらる。園は海拔二六五米の高
 地に在り霧深く氣候温暖、廣さ約
 五十八町歩餘にして熱帶植物園と
 しては世界第一と稱せらる瓜哇の
 農産業今日の發達が此植物園に負
 ふ所極めて多大なり

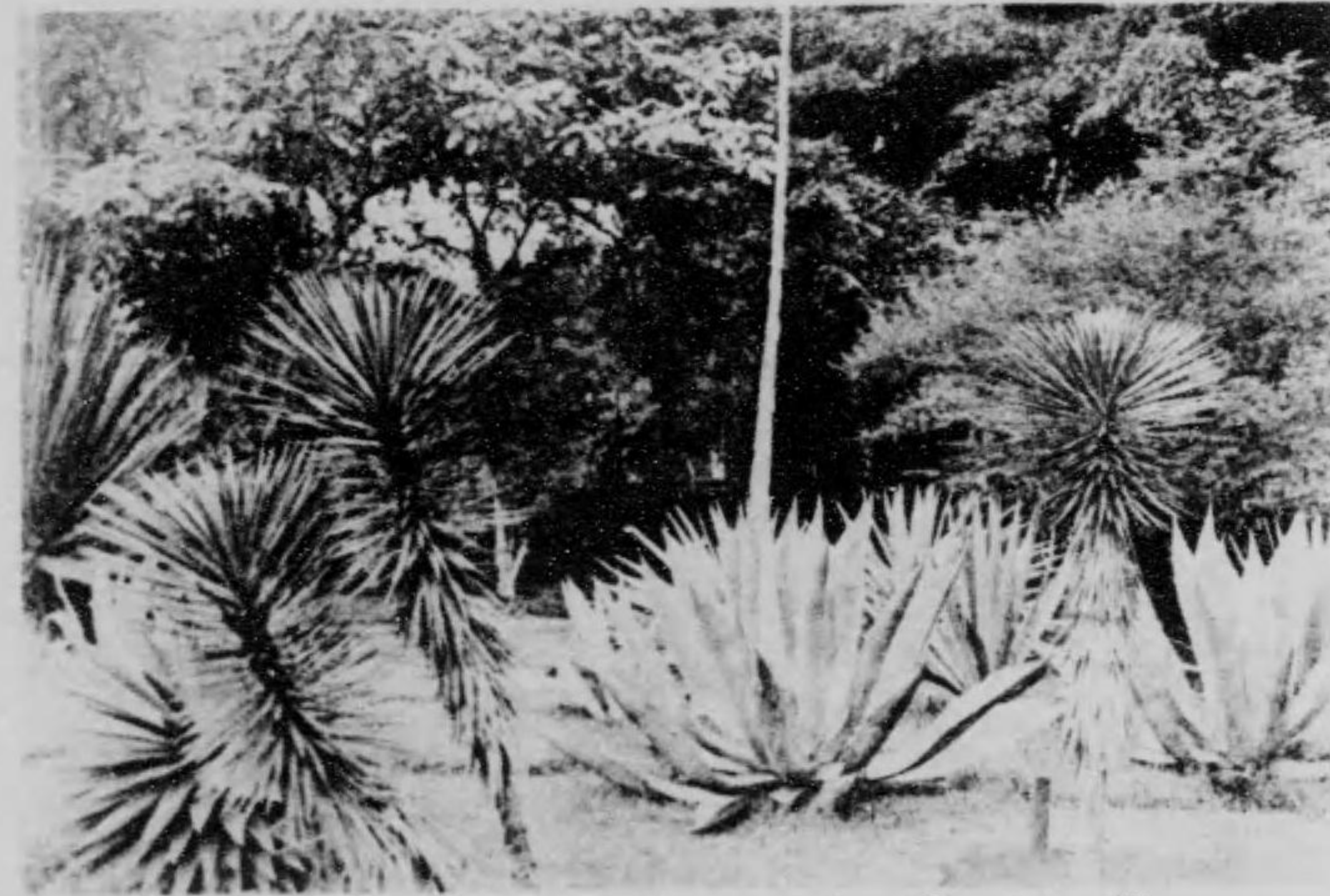


部の畑藤の内園物植グルゾンテイバ

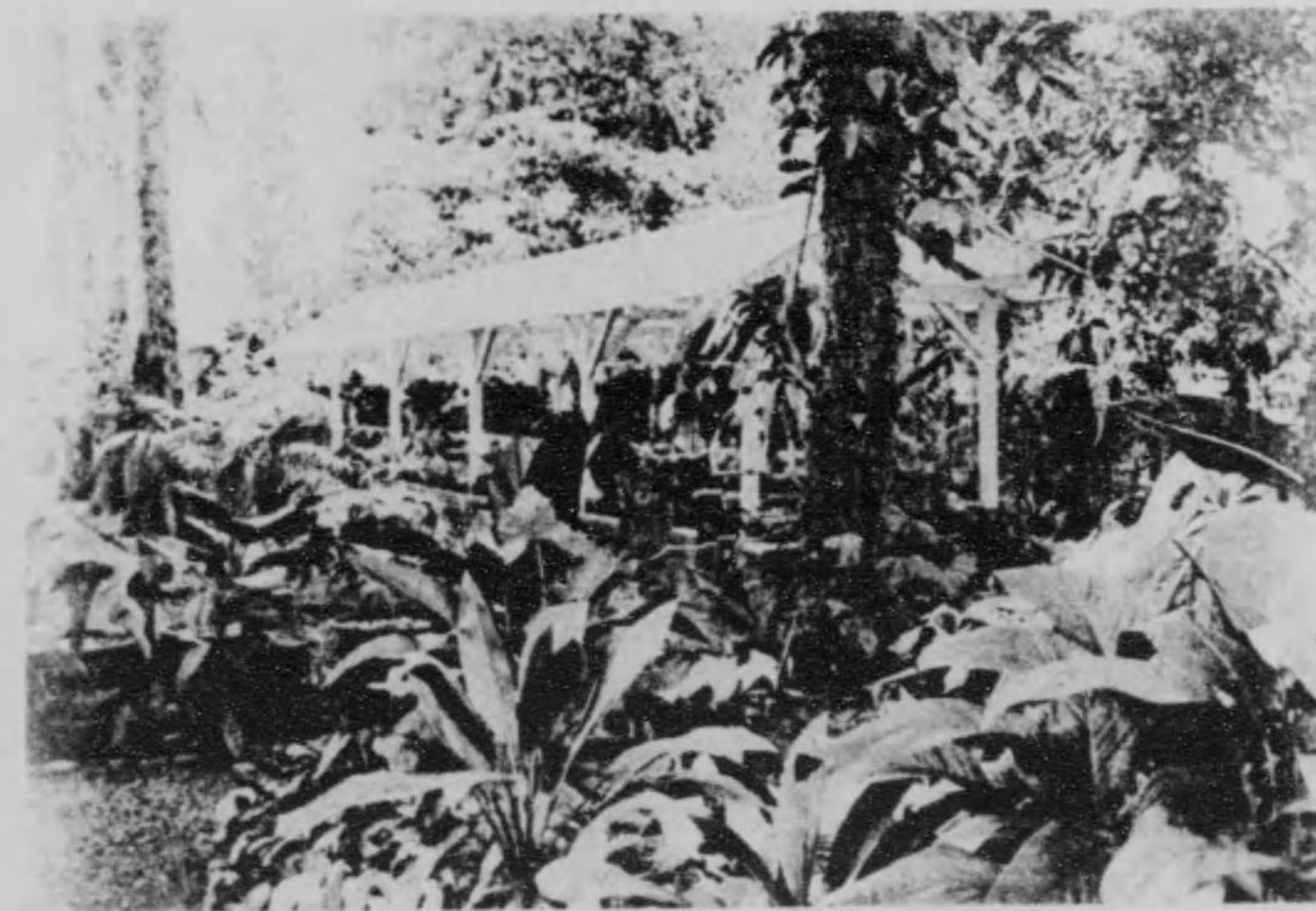
君三充家道と生年十林樹樟内園物植山高スターボチ



しに属附の園物植グルゾンテイバは園物植山高スターボチ
す有を坪萬百二林生原属附に外の坪萬百八積面て



蘭糸カツユと蘭舌龍



部一の圃苗内園グルゾンテイバ



シンガポールの大日本帝國領事官邸



同領事官邸庭園に於ける遊會、内外多人來集し我觀光員と握手交話す



宅社の店支社會産物井三るけ於にアーボガンシ



宅社の店支行銀灣臺るけ於にアーボガンシ



開新字邦るけ於にアーボガンシ
長社藤古と社聞新々日洋南



事領井藤と館事領國帝るけ於にアーボガンシ
長團木高び及士博戸渡新

スタムフオドローラツフ
 ルスガスマトラの副太
 守たる時東洋に於ける
 英國勢力の保全の必要
 上シンガポアの獲得
 に着眼しけるが一八一
 九年二月六日同島に英
 國旗始めて翻りぬ



アンリダンマのアーボガンシ



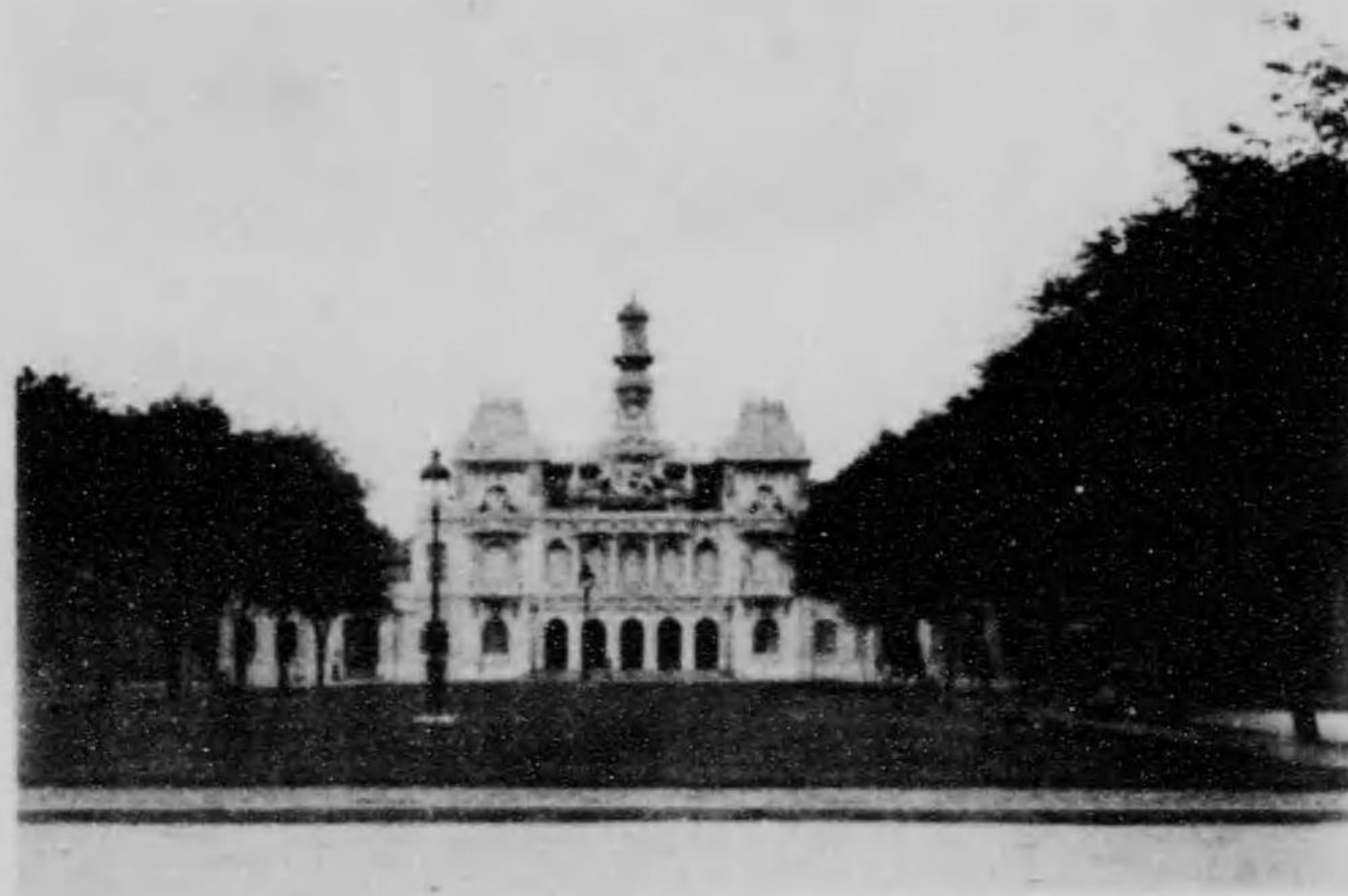
船河と家住の人來馬るけ於にアーボガンシ



馬來獅の子(シボガンアにて撮影)



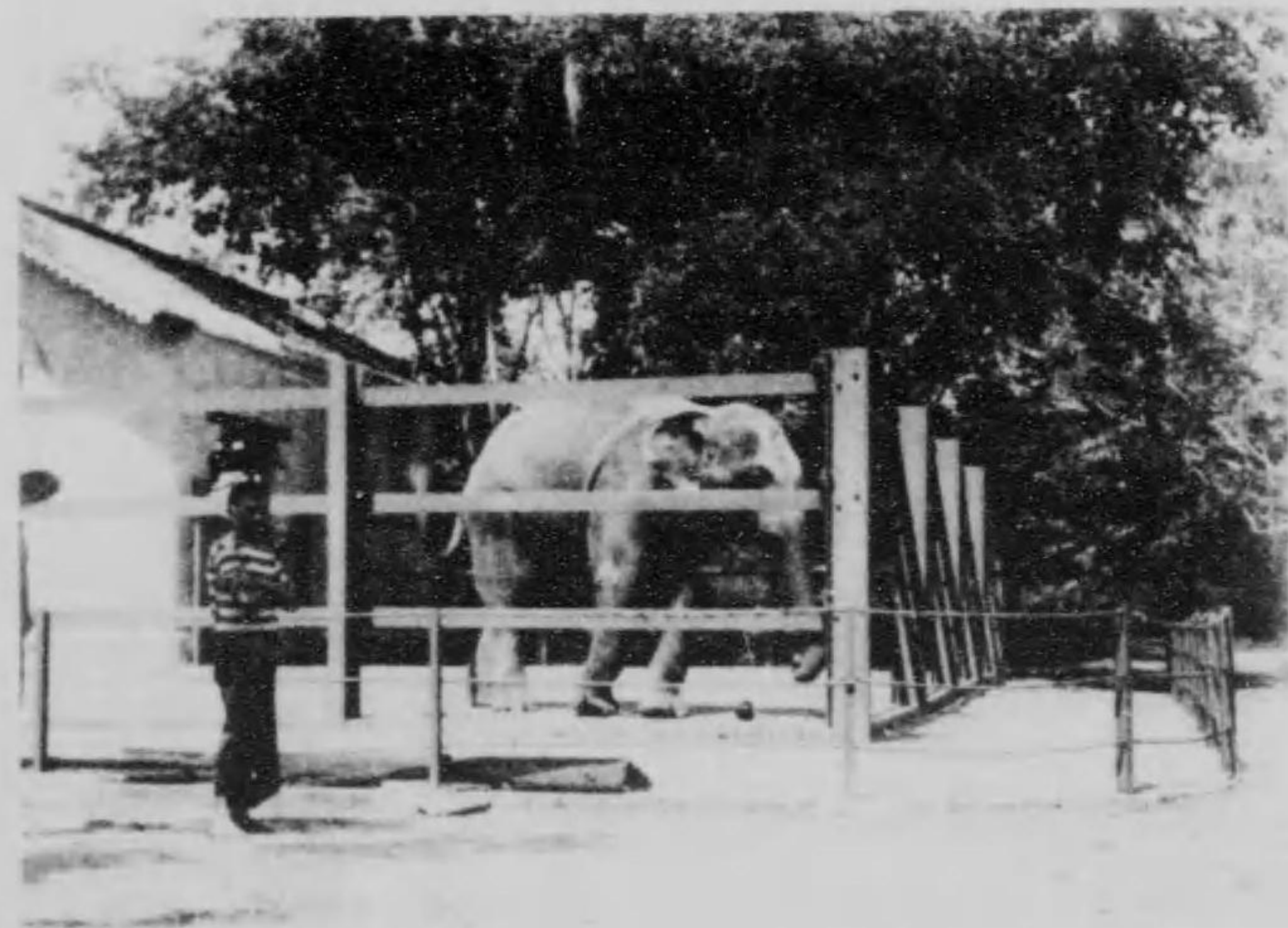
シボガンアに於ける馬來土人の娘



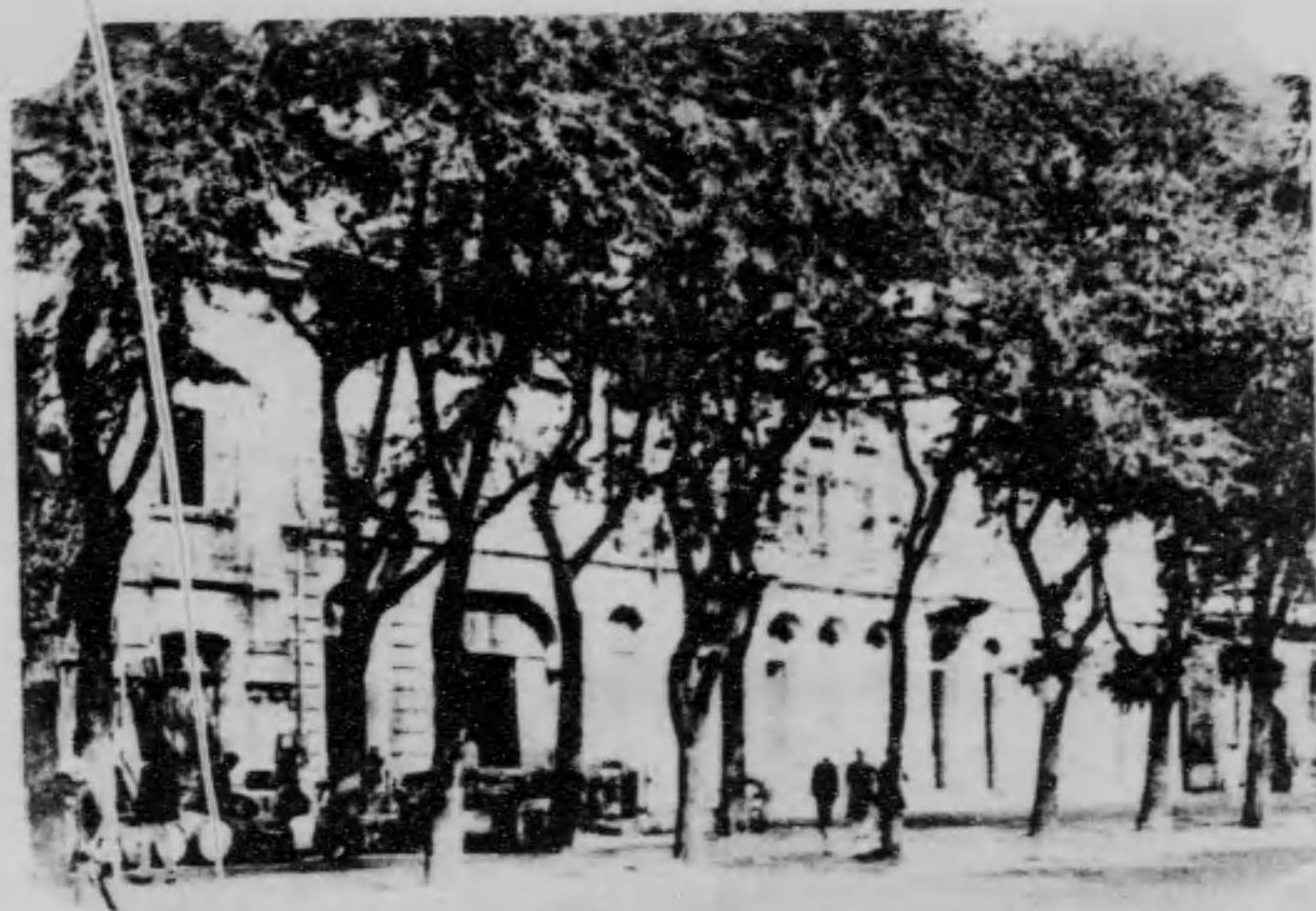
西貢の總督府官邸。最も壯大にして
建築費數百萬元に上る、其他副總督
官邸、高等會議所、高等裁判所、農
商會議所、郵便電信局あり、二百萬
法を費して建てる旅館あり



角一の園物植

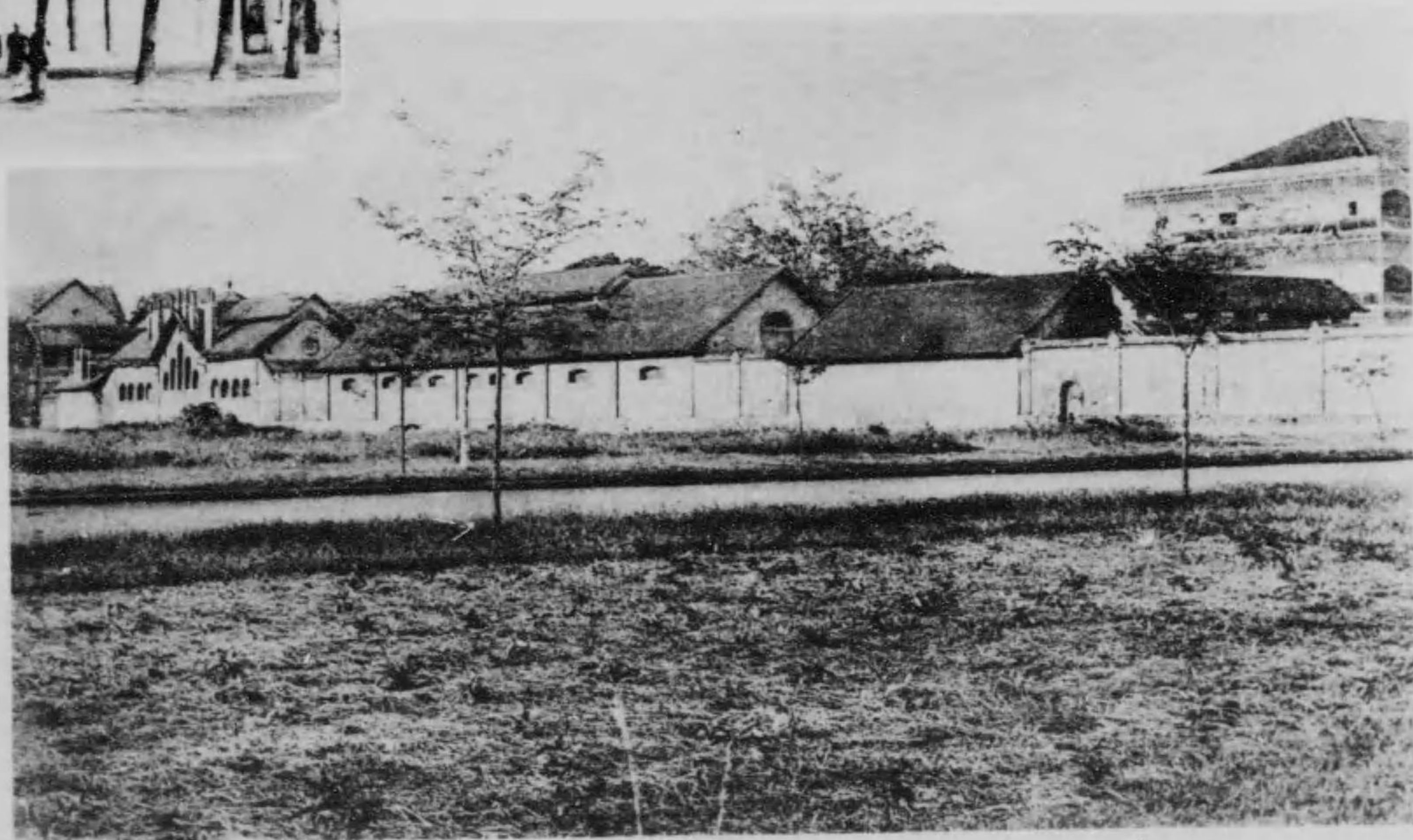


象巨の園公のンゴイサ

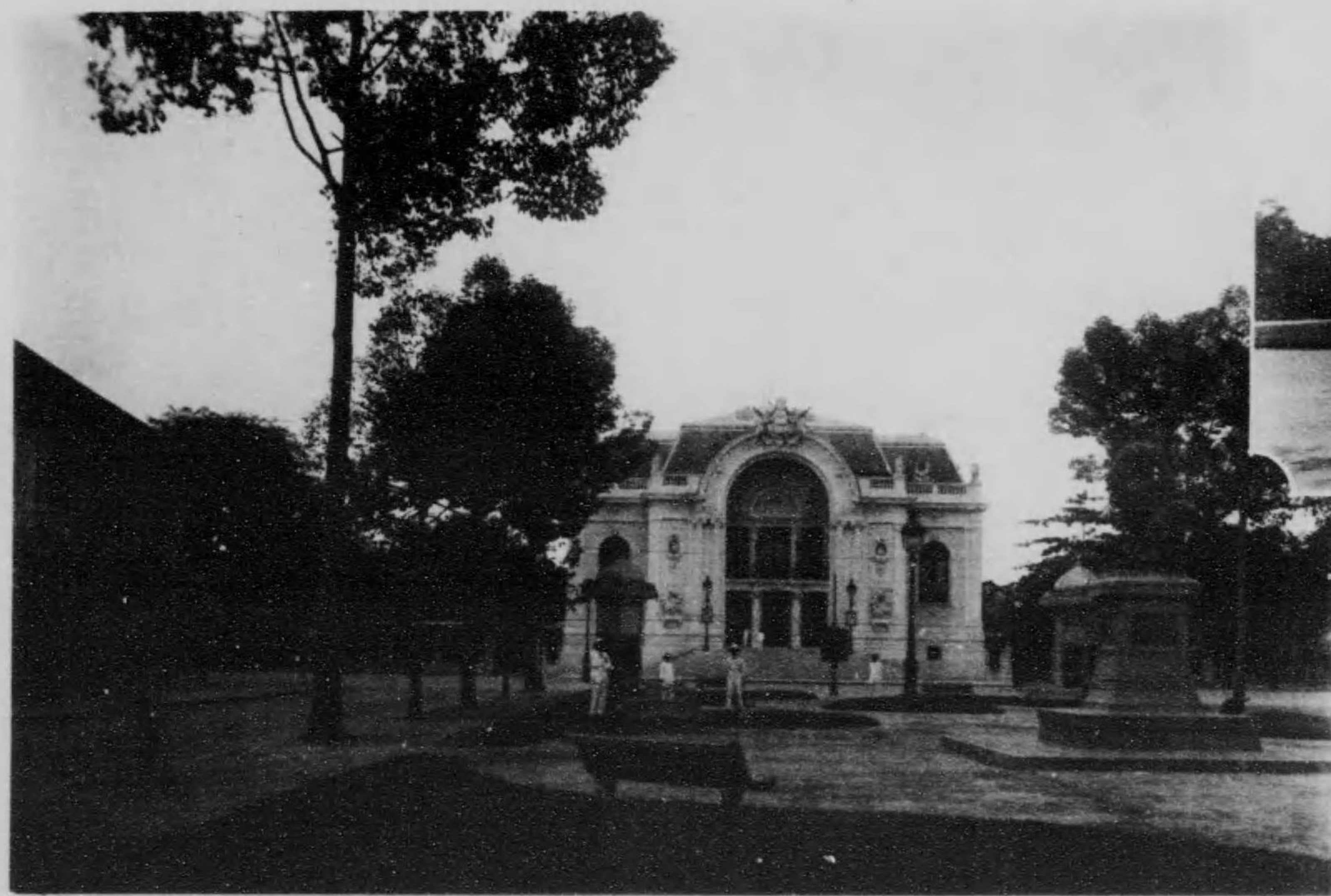


社聞新のンゴイサ

西貢は交跡支那第一の
都會にして西貢河に跨
り市街は華麗にして道
路廣く兩側には蒼然た
る常磐木あり、港内を
分ちて軍港及商港とす
商港は對外貿易の中心
なり。



營兵のンゴイサ



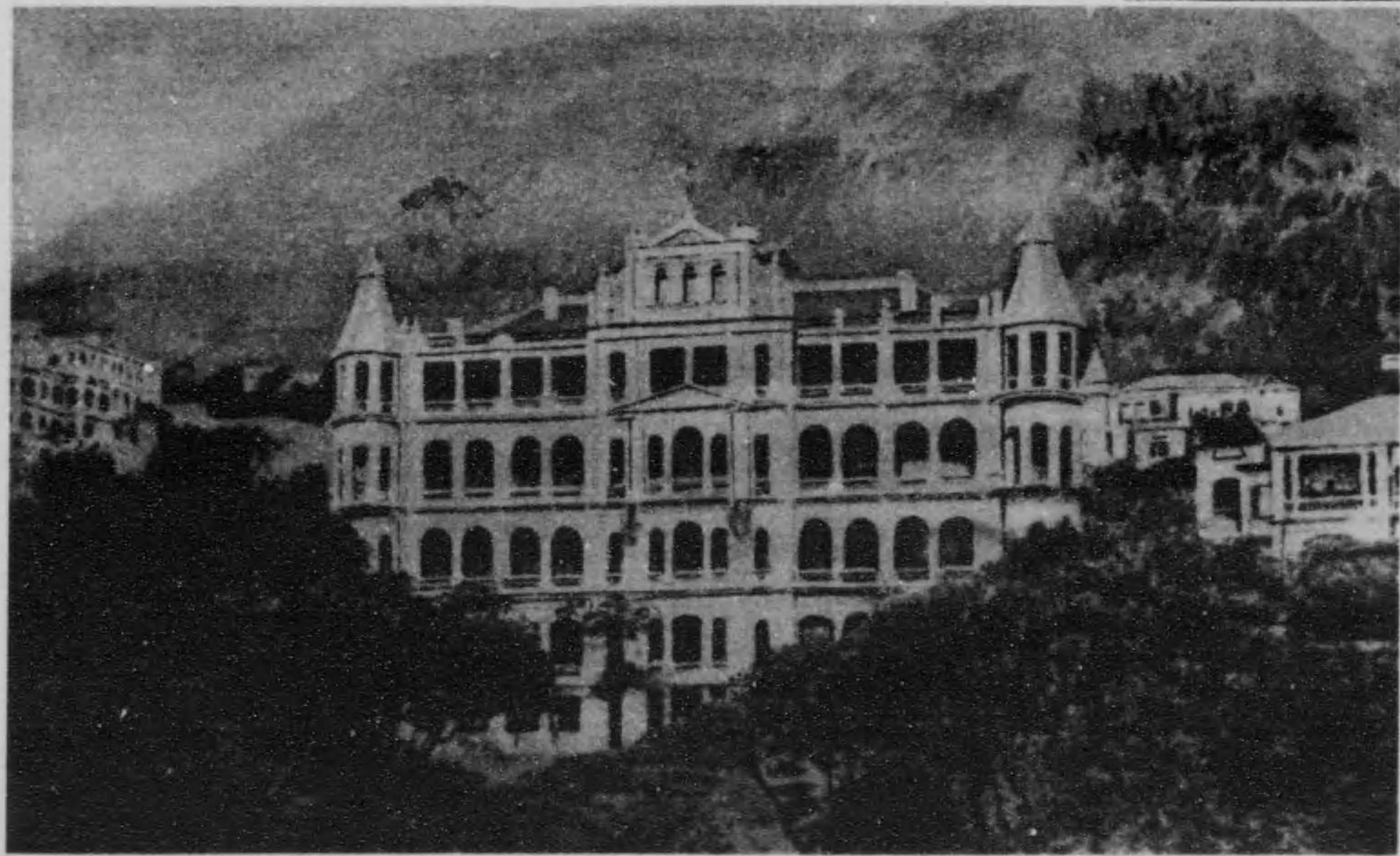
寺院の壯觀

西貢市立劇場二萬法以て築せられたる二年三回の開演す

に所此は數多の所米精りあに所の哩四西の貢西、殿宮のンローヨシ
りな人那支は分七内の萬七口人ンローヨシ。るらせ設建



西貢河はセントジエームス
岬より四十哩の大船巨舶の
湖航に可なり。

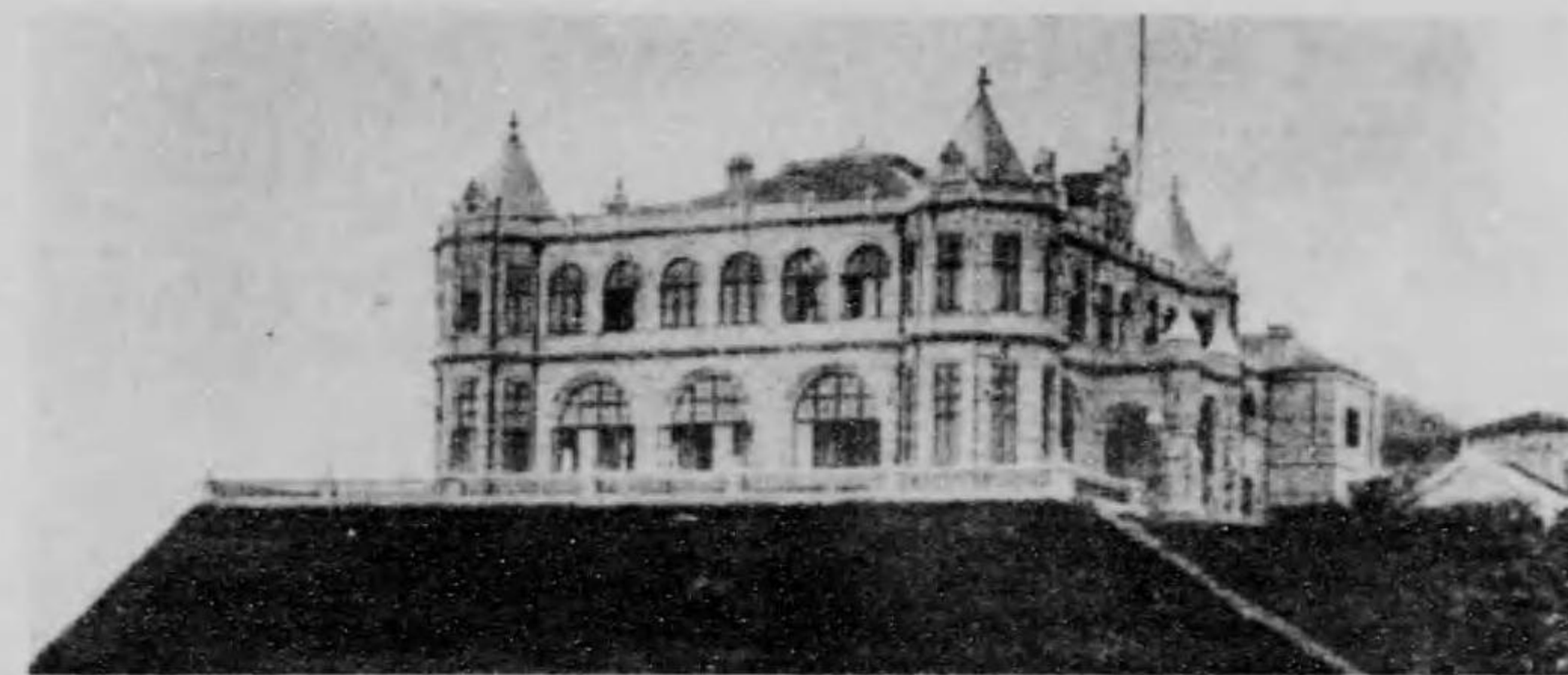


香港の港光景
 香港灣は東西に長く南北狭く
 して度表十平方哩、水深は
 商船錨地平均三十呎乃至五
 十呎、對岸は九龍と稱す石
 材に富む。

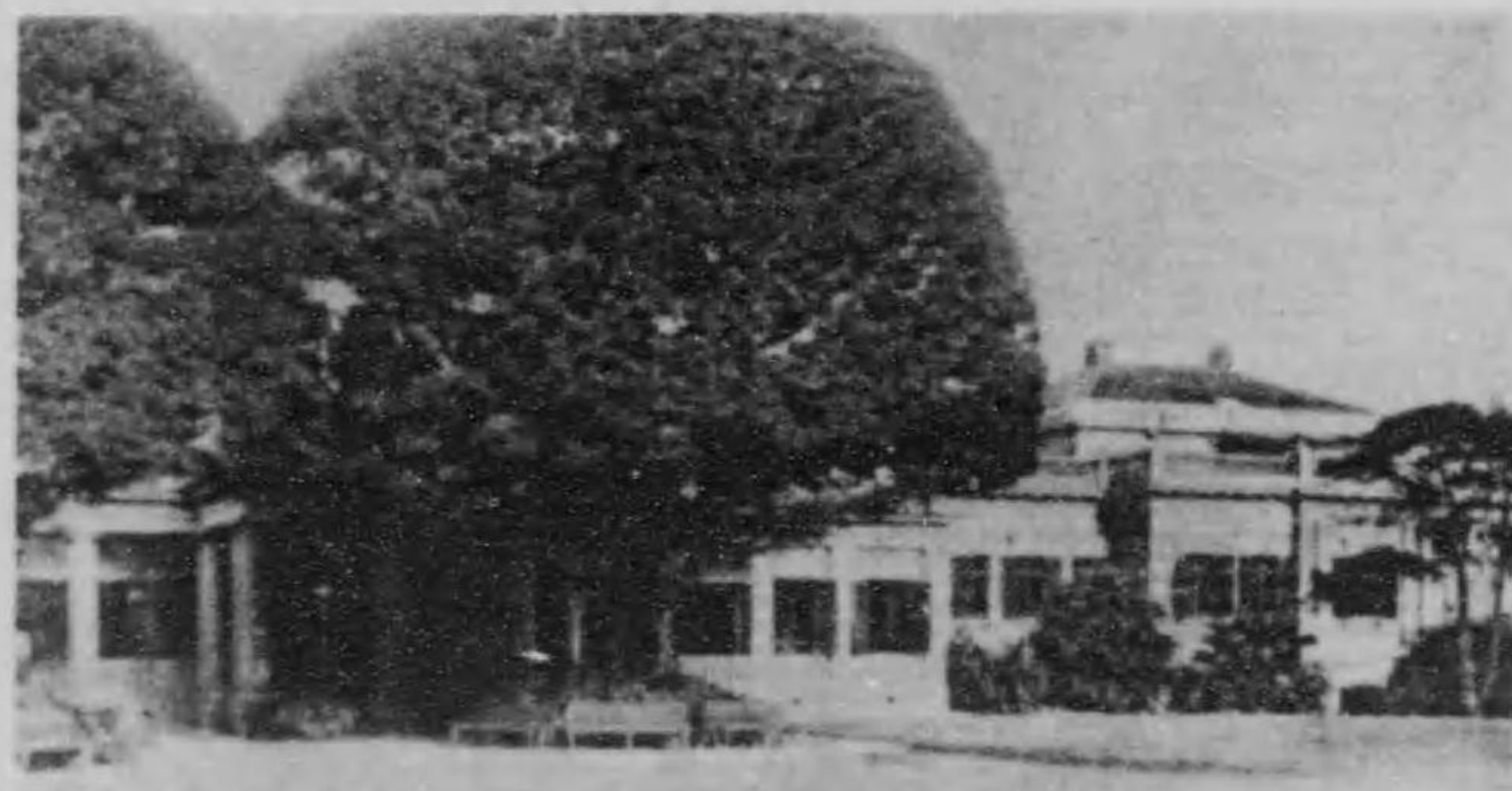
香港山上なるビクターホテル



像銅の皇女リトクイヅ



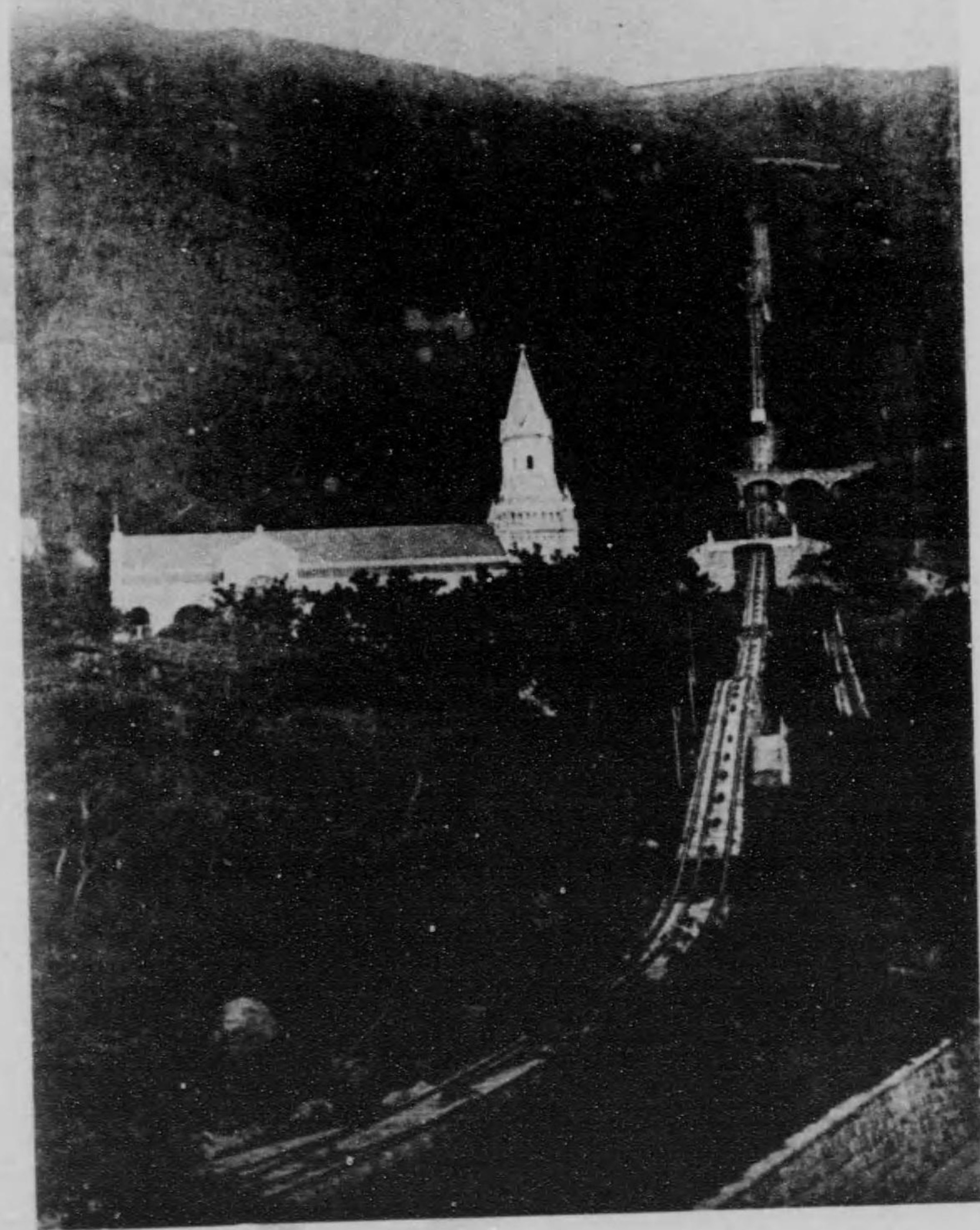
邸別督総るけ於に上丘港香



府督總港香



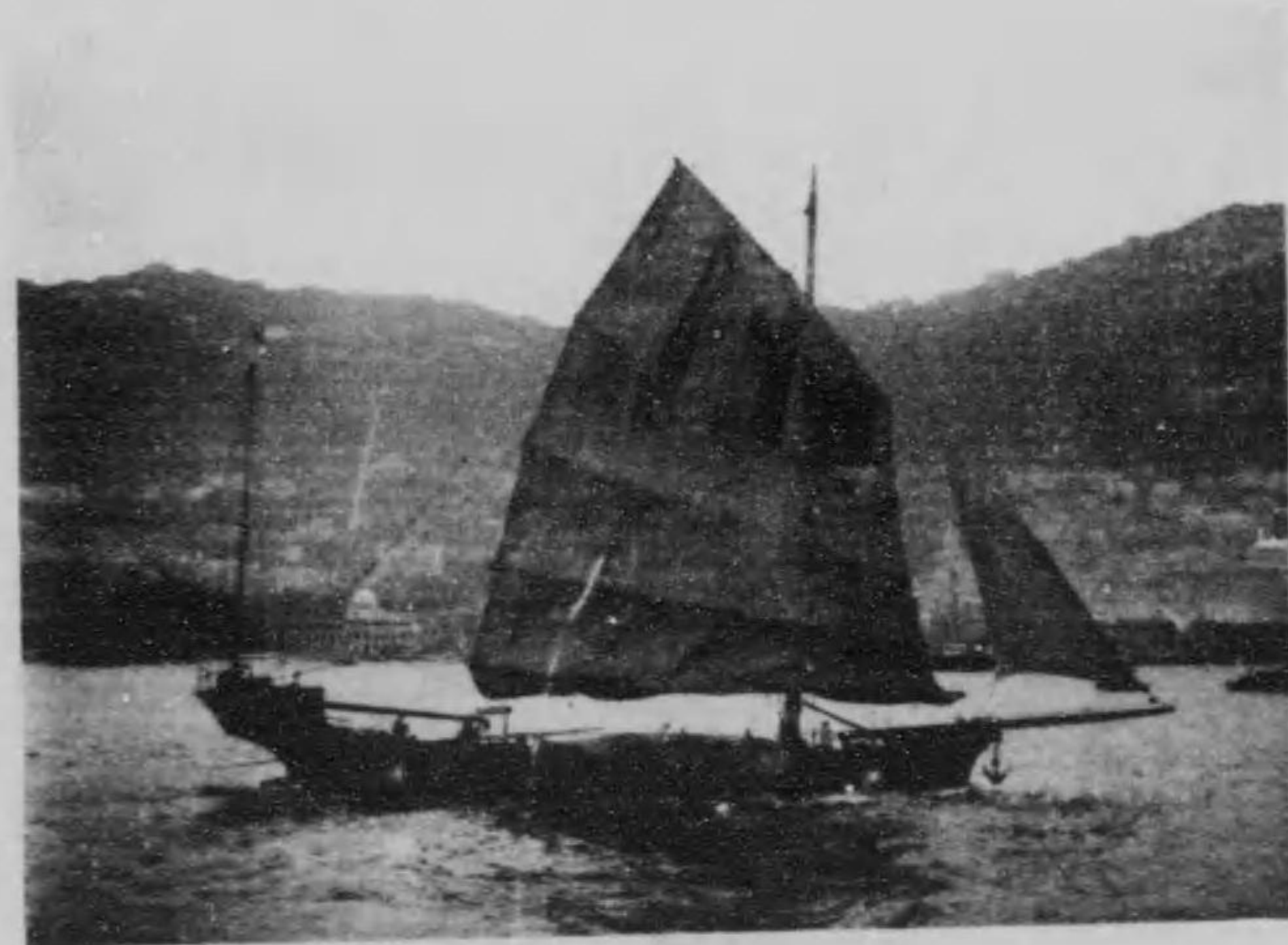
像念記の侯トオノンコ



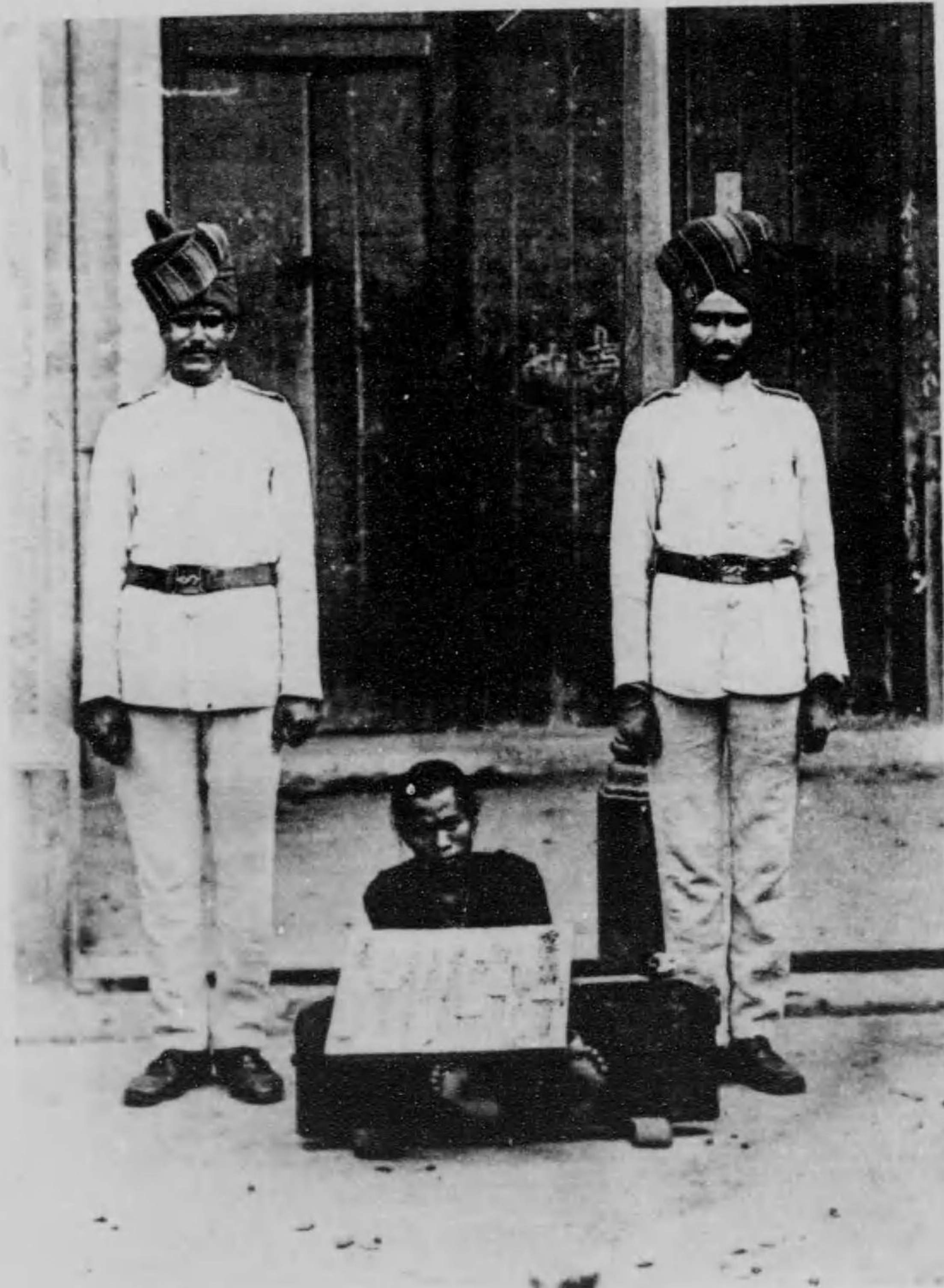
香 港 山 行 電 車



香 港 市 街 と 電 車



香港の港景と土人船



香港獄舎、獄吏と受刑者



す陸上に港香園光観



景光の灣港香の好晴奇雨